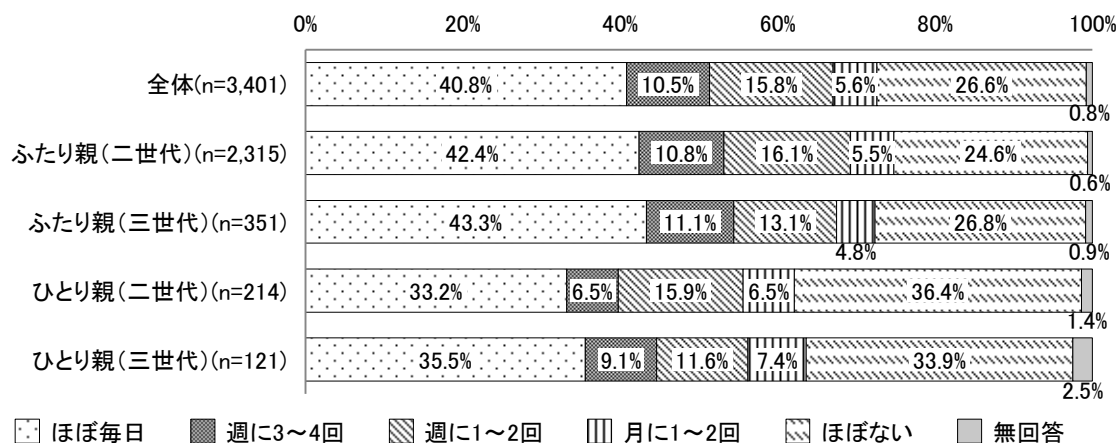


世帯タイプ別にみると、小学生では、有意な差がみられなかった。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「ほぼ毎日」とする割合が高くなっている。

図表 259 一緒に朝食をたべる：単数回答（Q23A）（世帯タイプ別）

<中学生> (p<.01)



2) 一緒に夕食をたべる

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 86.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3～4 回」が 6.0%となっている。

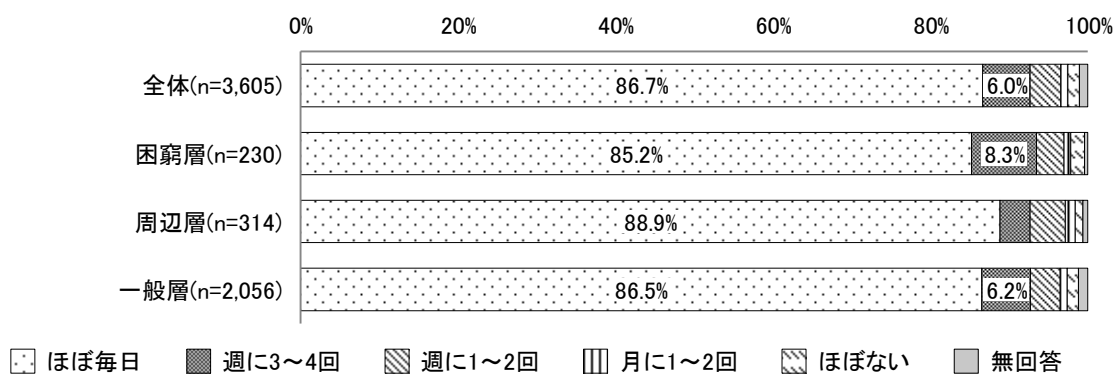
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 85.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 88.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 86.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 74.2%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3～4 回」が 13.6%となっている。

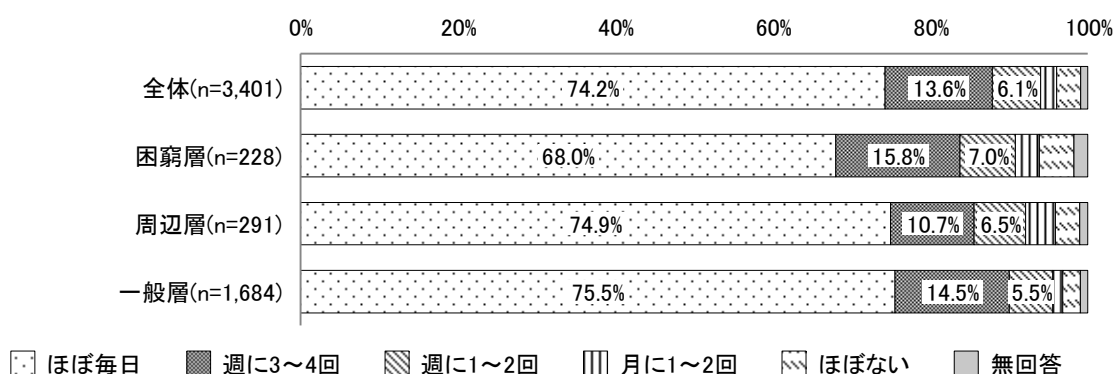
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 68.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 74.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 75.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 260 一緒に夕食をたべる：単数回答（Q23B）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q23B 一緒に夕食をたべる					
		ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	ほぼない	無回答
全体	3,605	86.7	6.0	3.9	0.9	1.5	1.1
困窮層	230	85.2	8.3	3.5	0.9	1.7	0.4
周辺層	314	88.9	3.8	4.5	1.3	1.0	0.6
一般層	2,056	86.5	6.2	3.8	0.9	1.4	1.2

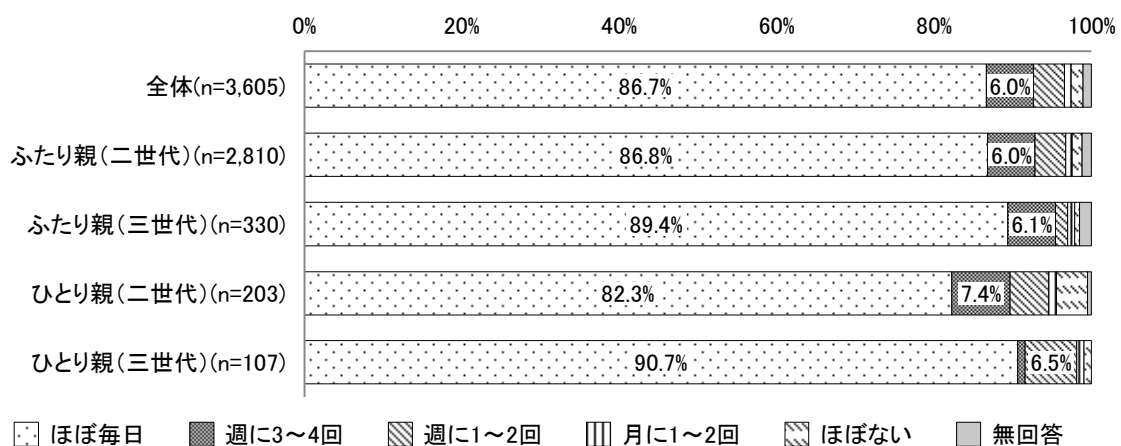
<数値表：中学生>

	合計	Q23B 一緒に夕食をたべる					
		ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	ほぼない	無回答
全体	3,401	74.2	13.6	6.1	2.0	3.1	0.9
困窮層	228	68.0	15.8	7.0	3.1	4.4	1.8
周辺層	291	74.9	10.7	6.5	3.8	3.1	1.0
一般層	1,684	75.5	14.5	5.5	1.2	2.3	1.0

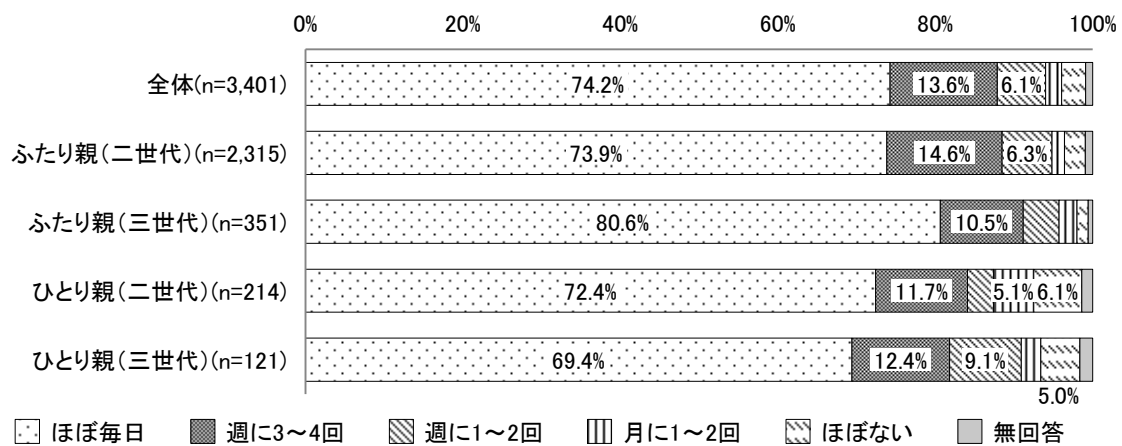
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「ほぼ毎日」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「ほぼ毎日」とする割合が低くなっている。

図表 261 一緒に夕食をたべる：単数回答（Q23B）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



< 中学生 > (p<.01)



< 数値表：小学生 >

	合計	Q23B 一緒に夕食をたべる					
		ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	ほぼない	無回答
全体	3,605	86.7	6.0	3.9	0.9	1.5	1.1
ふたり親 (二世世代)	2,810	86.8	6.0	3.9	0.8	1.3	1.2
ふたり親 (三世世代)	330	89.4	6.1	1.5	0.9	0.6	1.5
ひとり親 (二世世代)	203	82.3	7.4	4.9	1.0	3.9	0.5
ひとり親 (三世世代)	107	90.7	0.9	6.5	0.9	0.9	0.0

< 数値表：中学生 >

	合計	Q23B 一緒に夕食をたべる					
		ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	ほぼない	無回答
全体	3,401	74.2	13.6	6.1	2.0	3.1	0.9
ふたり親 (二世世代)	2,315	73.9	14.6	6.3	1.6	2.6	1.0
ふたり親 (三世世代)	351	80.6	10.5	4.6	2.3	1.4	0.6
ひとり親 (二世世代)	214	72.4	11.7	3.3	5.1	6.1	1.4
ひとり親 (三世世代)	121	69.4	12.4	9.1	2.5	5.0	1.7

3) 勉強をみてもらう

小学生の「全体」では、「ほぼない」が 22.4%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 22.1%となっている。

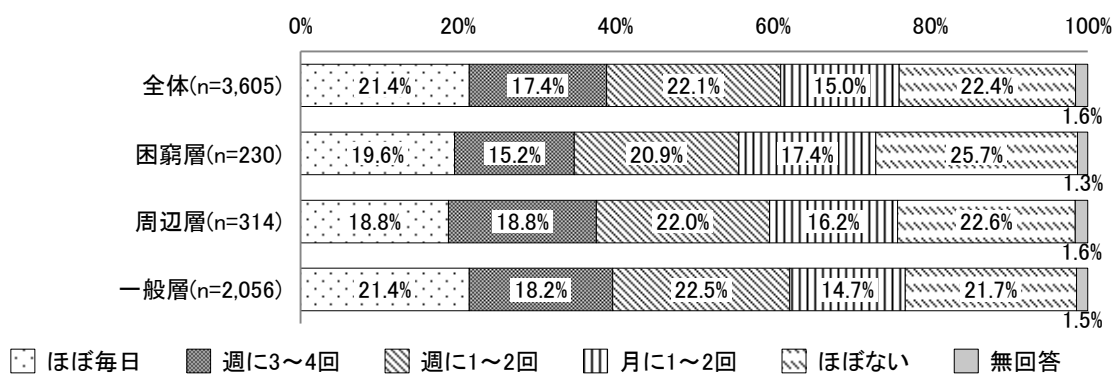
「困窮層」では、「ほぼない」が 25.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼない」が 22.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に 1～2 回」が 22.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼない」が 52.5%でもっとも割合が高く、次いで「月に 1～2 回」が 20.2%となっている。

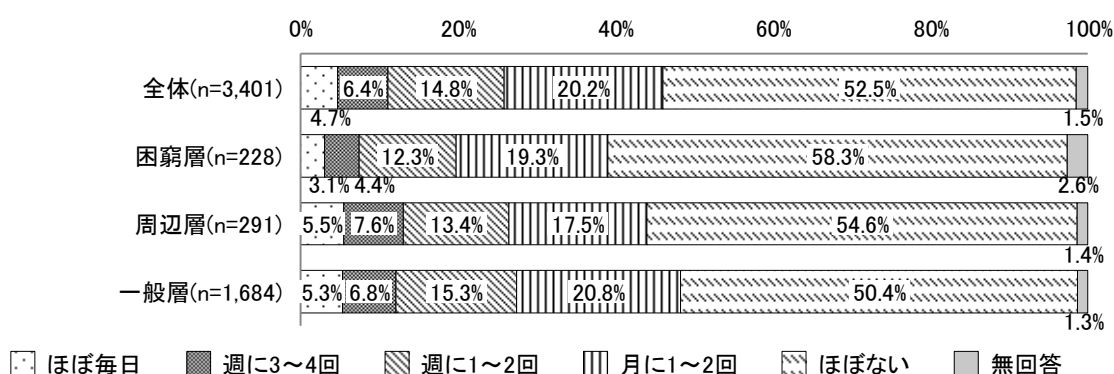
「困窮層」では、「ほぼない」が 58.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼない」が 54.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼない」が 50.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 262 勉強をみてもらう：単数回答（Q23C）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



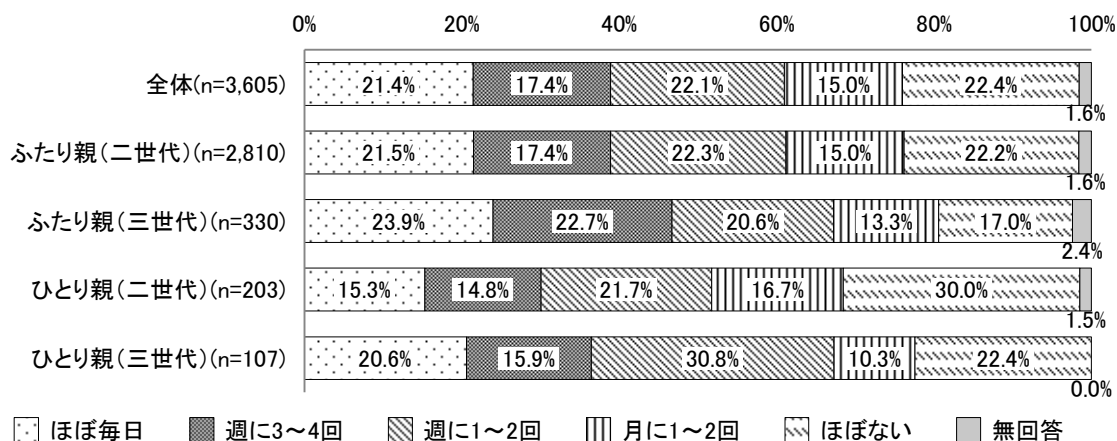
<中学生>（有意差なし）



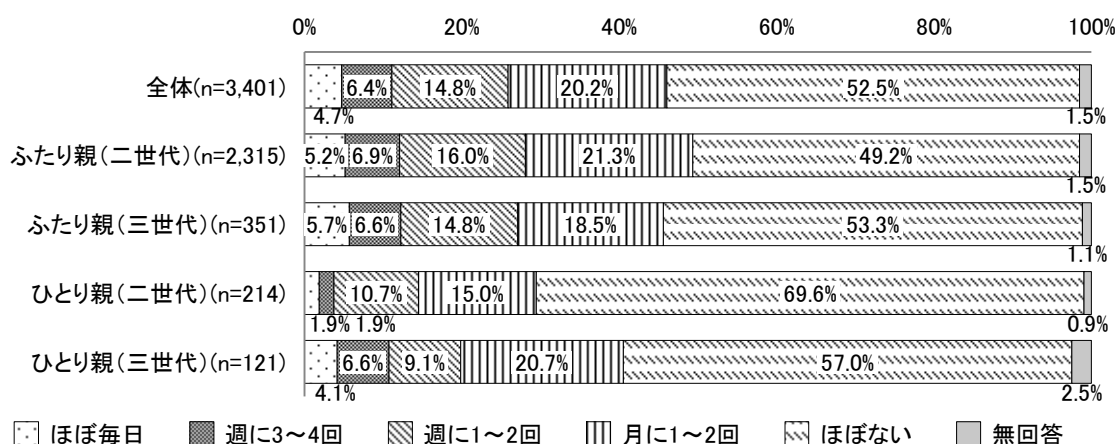
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「ほぼない」とする割合が高くなっている。

図表 263 勉強をみてもらう：単数回答（Q23C）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



4) 一緒に遊んだり体を動かしたりする

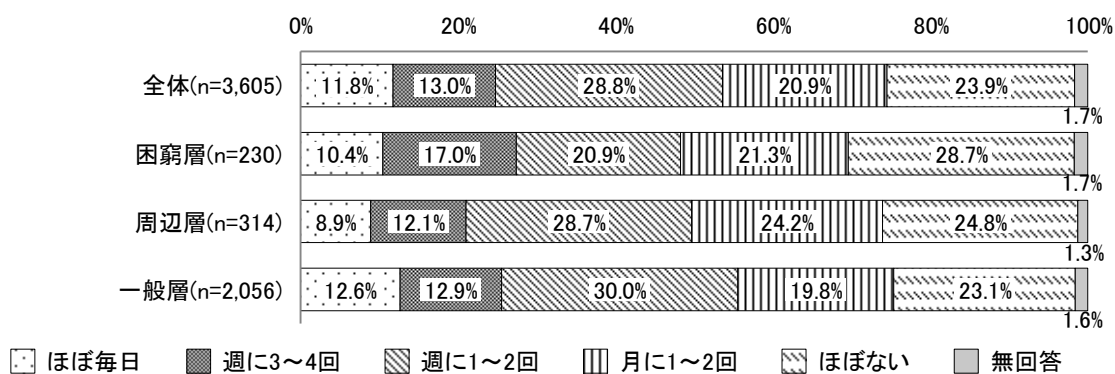
小学生の「全体」では、「週に 1～2 回」が 28.8%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼない」が 23.9%となっている。

「困窮層」では、「ほぼない」が 28.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に 1～2 回」が 28.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に 1～2 回」が 30.0%でもっとも割合が高くなっている。

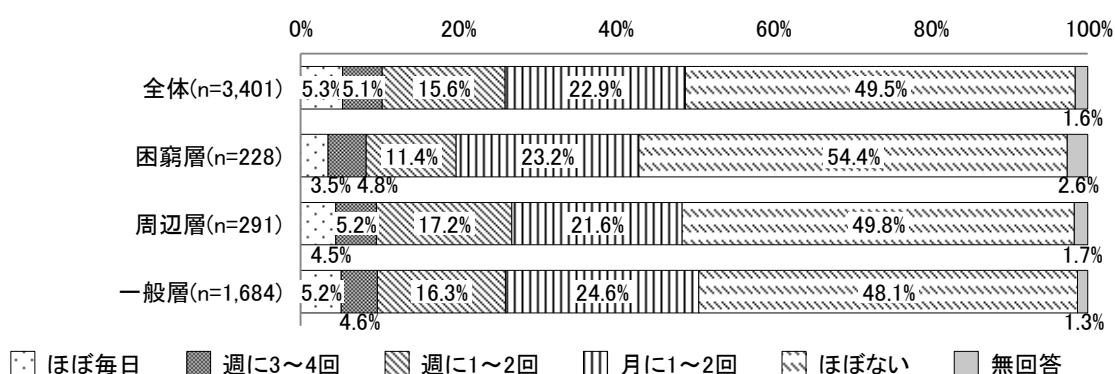
中学生の「全体」では、「ほぼない」が 49.5%でもっとも割合が高く、次いで「月に 1～2 回」が 22.9%となっている。

「困窮層」では、「ほぼない」が 54.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼない」が 49.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼない」が 48.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 264 一緒に遊んだり体を動かしたりする：単数回答（Q23D）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）

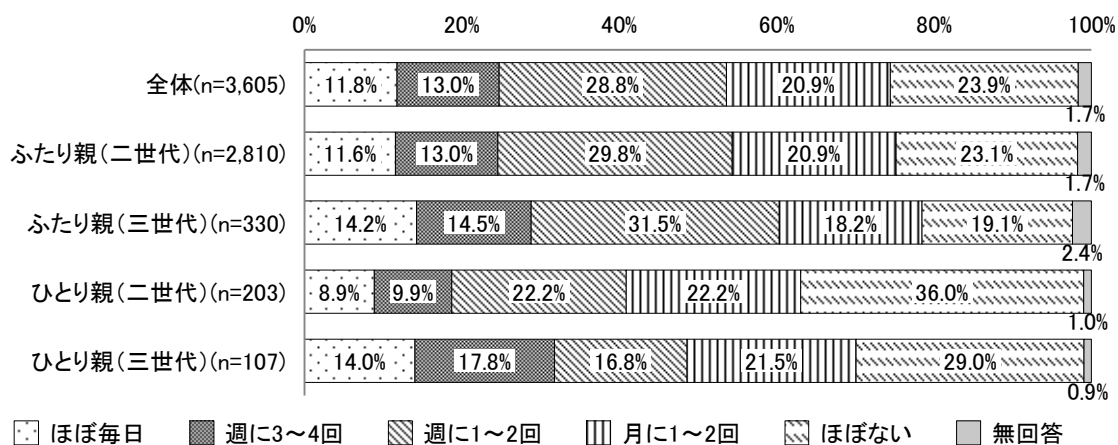


＜中学生＞（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「ほぼない」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 265 一緒に遊んだり体を動かしたりする：単数回答（Q23D）（世帯タイプ別）
 ＜小学生＞（ $p<.01$ ）



5) 学校生活の話をする

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 48.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3～4 回」が 19.4%となっている。

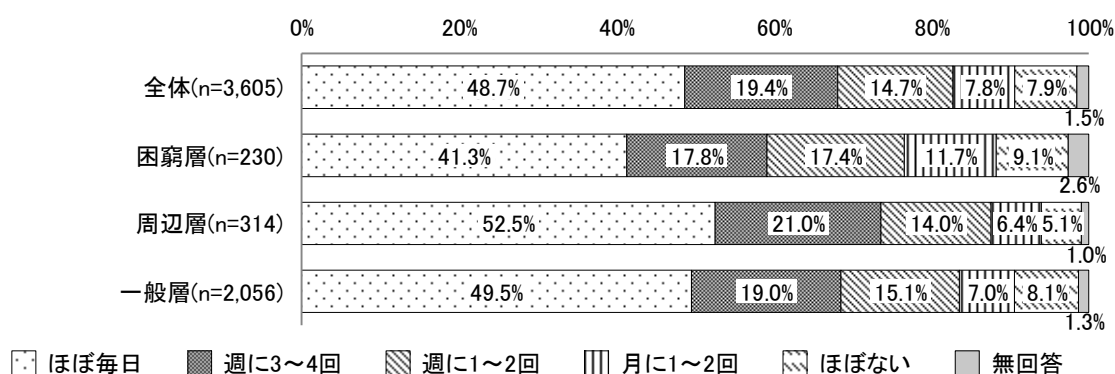
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 41.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 52.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 49.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 39.6%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3～4 回」が 22.4%となっている。

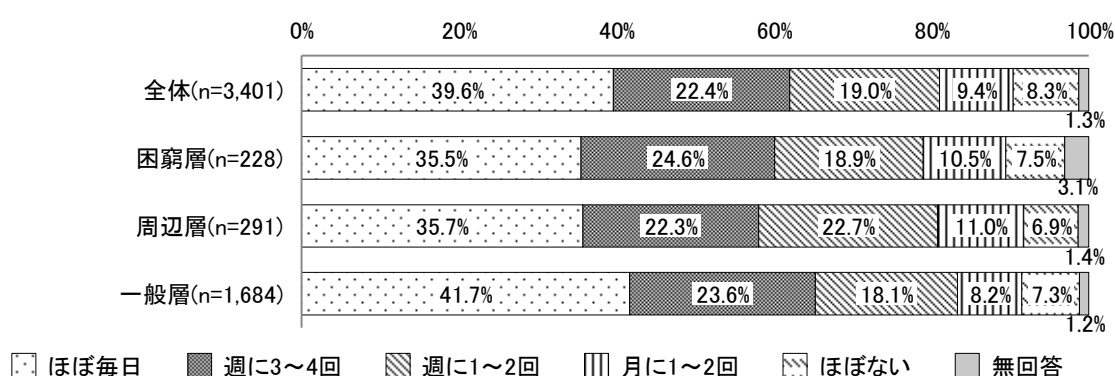
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 35.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 35.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 41.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 266 学校生活の話をする：単数回答（Q23E）（生活困難度別）

<小学生> (p<.05)



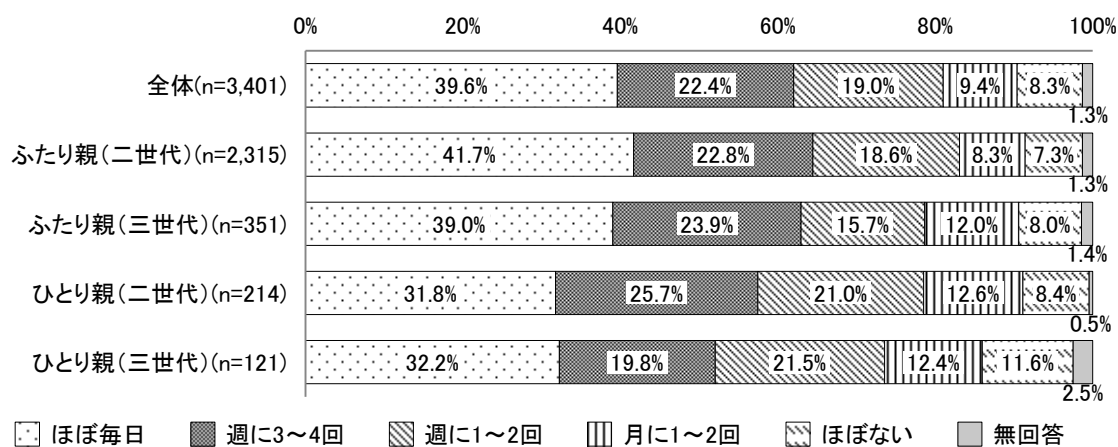
<中学生> (有意差なし)



世帯タイプ別にみると、小学生では、有意な差がみられなかった。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「ほぼ毎日」とする割合が低くなっている。

図表 267 学校生活の話をする：単数回答（Q23E）（世帯タイプ別）

<中学生> (p<.05)



6) ニュースなど社会のできごとについて話す

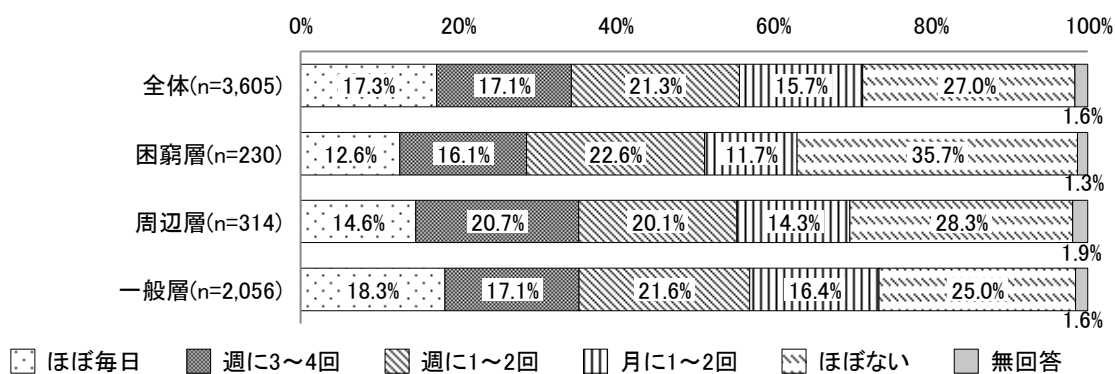
小学生の「全体」では、「ほぼない」が 27.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 21.3%となっている。

「困窮層」では、「ほぼない」が 35.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼない」が 28.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼない」が 25.0%でもっとも割合が高くなっている。

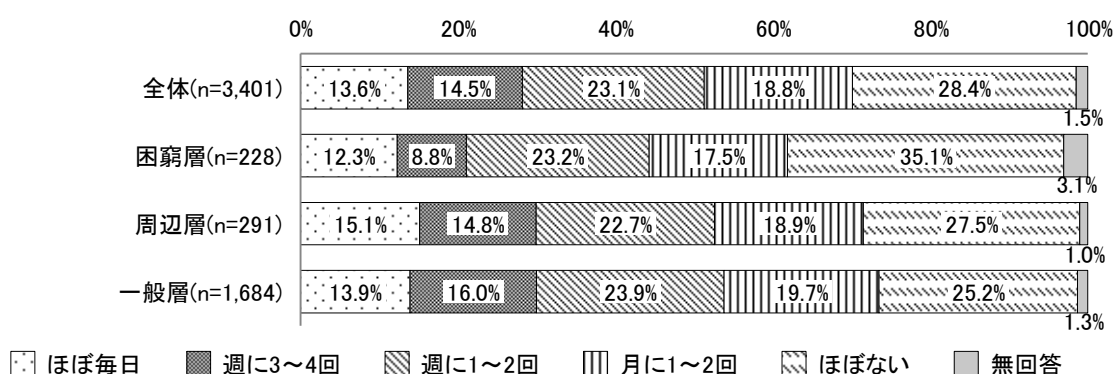
中学生の「全体」では、「ほぼない」が 28.4%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 23.1%となっている。

「困窮層」では、「ほぼない」が 35.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼない」が 27.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼない」が 25.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 268 ニュースなど社会のできごとについて話す：単数回答（Q23F）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）

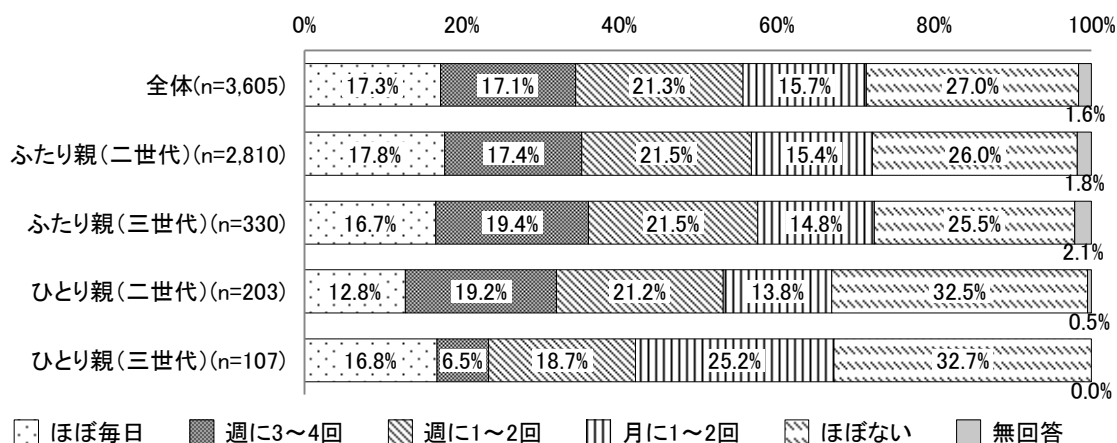


＜中学生＞（ $p<.05$ ）

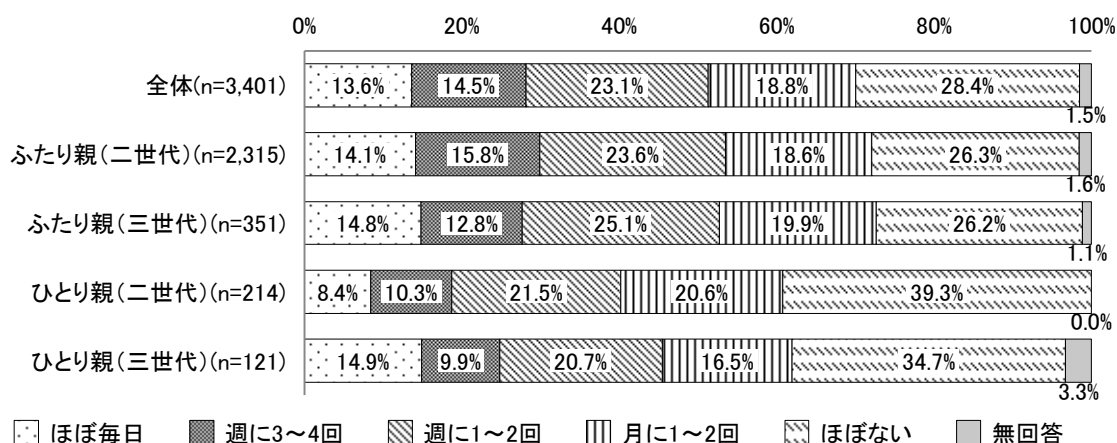


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「ほぼ毎日」とする割合が高くなっている。

図表 269 ニュースなど社会のできごとについて話す：単数回答（Q23F）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.05$ ）



<中学生>（ $p<.01$ ）



7) 一緒に料理をする

小学生の「全体」では、「月に1～2回」が36.2%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼない」が28.5%となっている。

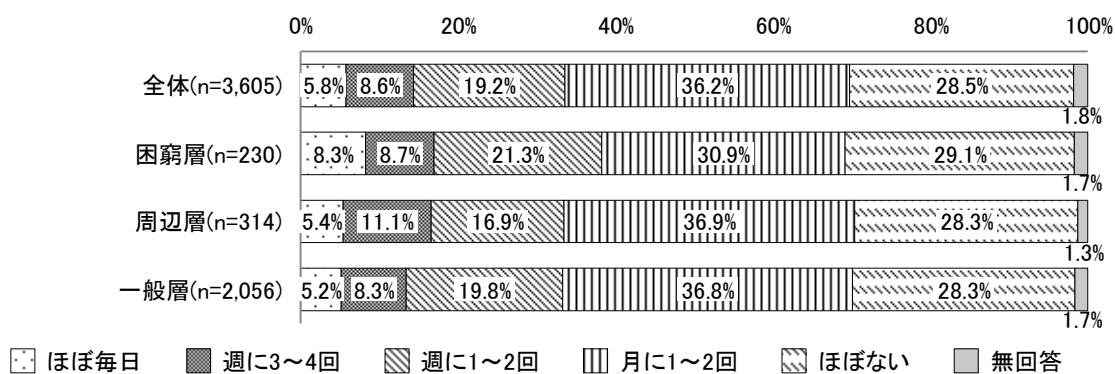
「困窮層」では、「月に1～2回」が30.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「月に1～2回」が36.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「月に1～2回」が36.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼない」が49.2%でもっとも割合が高く、次いで「月に1～2回」が30.5%となっている。

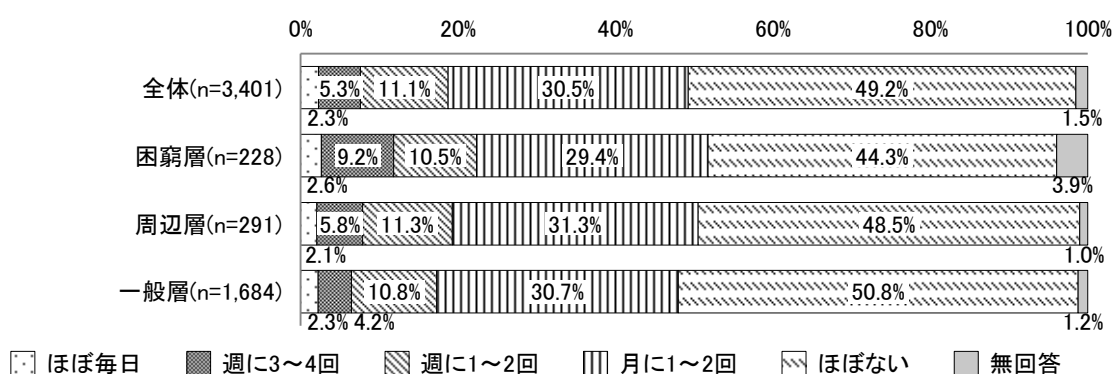
「困窮層」では、「ほぼない」が44.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼない」が48.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼない」が50.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 270 一緒に料理をする：単数回答（Q23G）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



8) 一緒に外出する

小学生の「全体」では、「週に 1～2 回」が 45.5%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3～4 回」が 21.1%となっている。

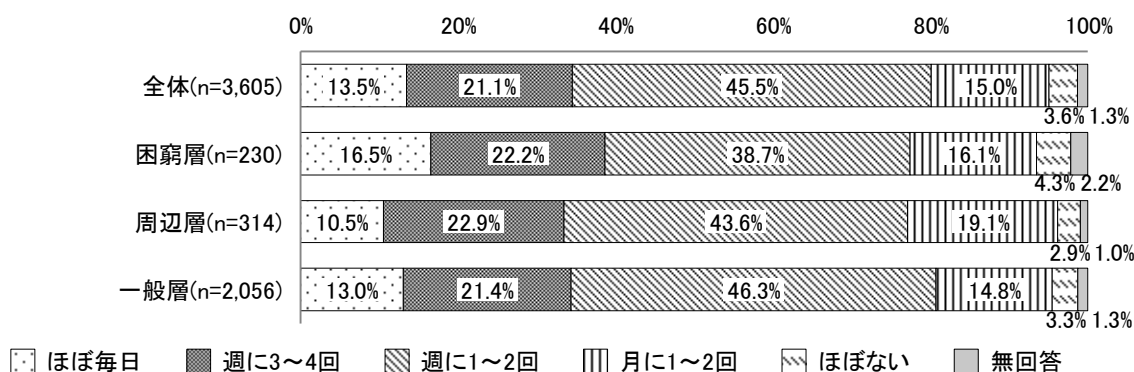
「困窮層」では、「週に 1～2 回」が 38.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に 1～2 回」が 43.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に 1～2 回」が 46.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「週に 1～2 回」が 42.2%でもっとも割合が高く、次いで「月に 1～2 回」が 29.0%となっている。

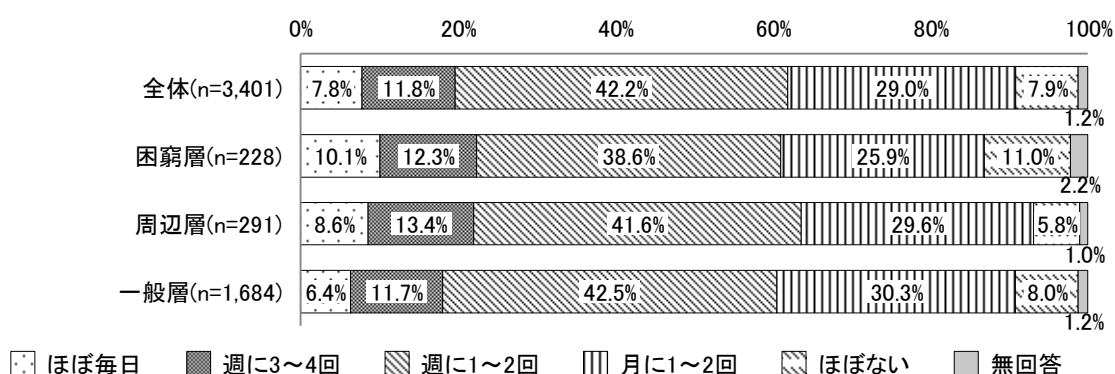
「困窮層」では、「週に 1～2 回」が 38.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に 1～2 回」が 41.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に 1～2 回」が 42.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 271 一緒に外出する：単数回答（Q23H）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



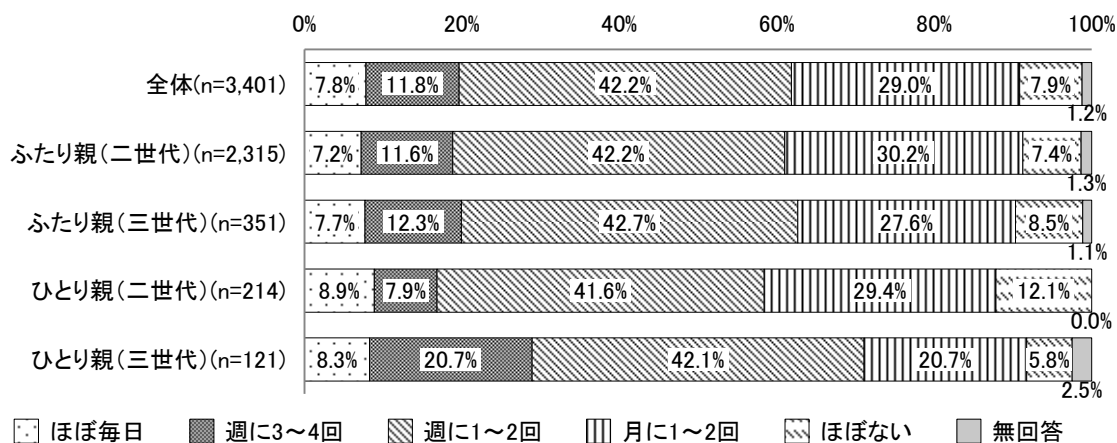
<中学生>（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、有意な差がみられなかった。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「ほぼない」とする割合が高くなっている。

図表 272 一緒に外出する：単数回答（Q23H）（世帯タイプ別）

<中学生> (p<.05)



9) ゲーム機で遊ぶ

小学生の「全体」では、「毎日1～2時間」が25.5%でもっとも割合が高く、次いで「毎日2時間以上」が22.2%となっている。

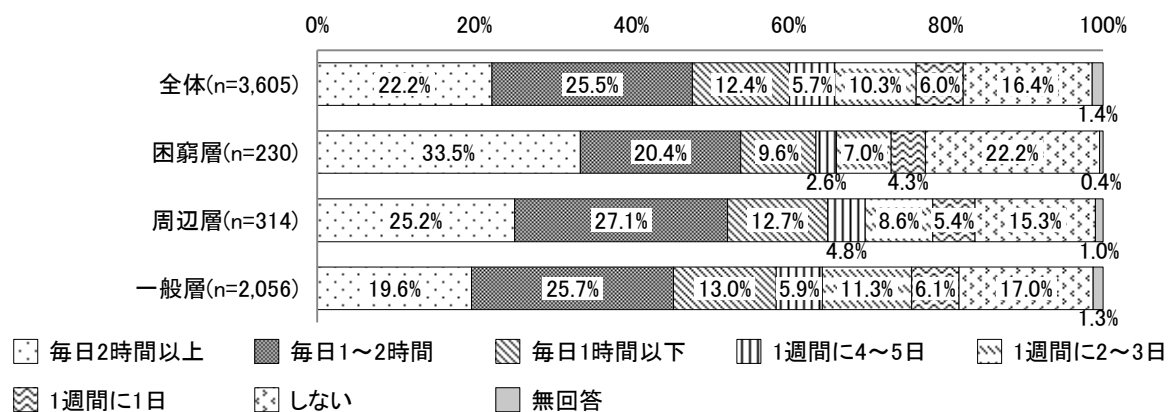
「困窮層」では、「毎日2時間以上」が33.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日1～2時間」が27.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日1～2時間」が25.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「しない」が25.9%でもっとも割合が高く、次いで「毎日2時間以上」が25.0%となっている。

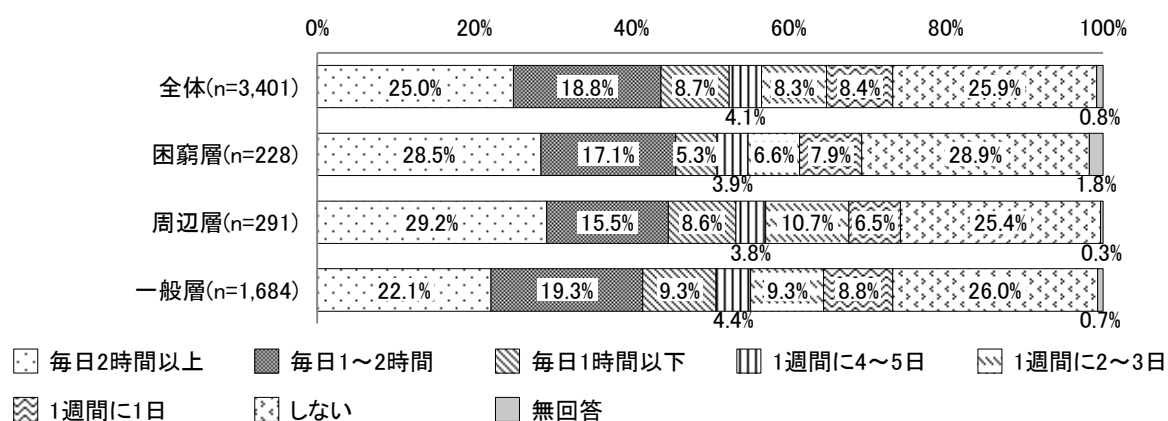
「困窮層」では、「しない」が28.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日2時間以上」が29.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が26.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 273 ゲーム機で遊ぶ：単数回答（Q24A）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (有意差なし)



10) テレビを見る

小学生の「全体」では、「毎日2時間以上」が32.1%でもっとも割合が高く、次いで「毎日1～2時間」が30.7%となっている。

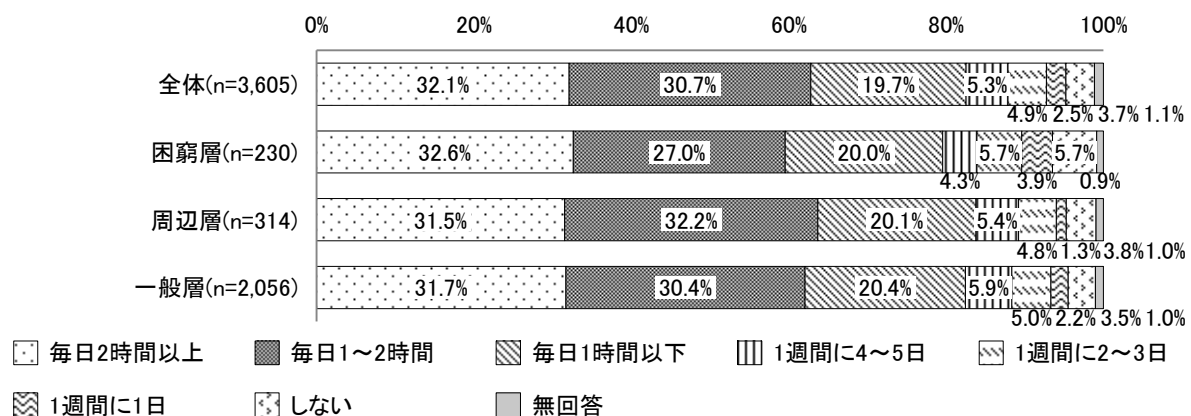
「困窮層」では、「毎日2時間以上」が32.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日1～2時間」が32.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日2時間以上」が31.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「毎日1～2時間」が26.7%でもっとも割合が高く、次いで「毎日2時間以上」が23.3%となっている。

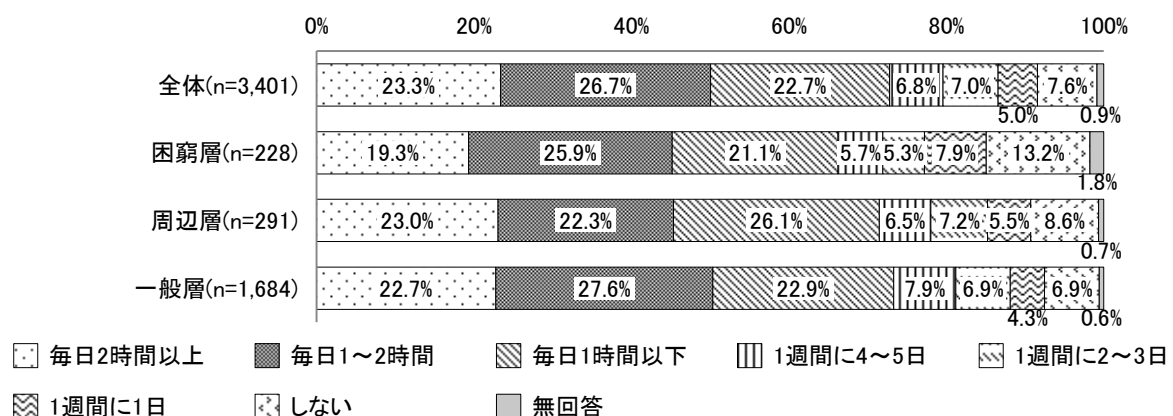
「困窮層」では、「毎日1～2時間」が25.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日1時間以下」が26.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日1～2時間」が27.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 274 テレビを見る：単数回答（Q24B）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（p<.05）



11) インターネットを見る

小学生の「全体」では、「毎日2時間以上」が23.2%でもっとも割合が高く、次いで「毎日1～2時間」が20.2%となっている。

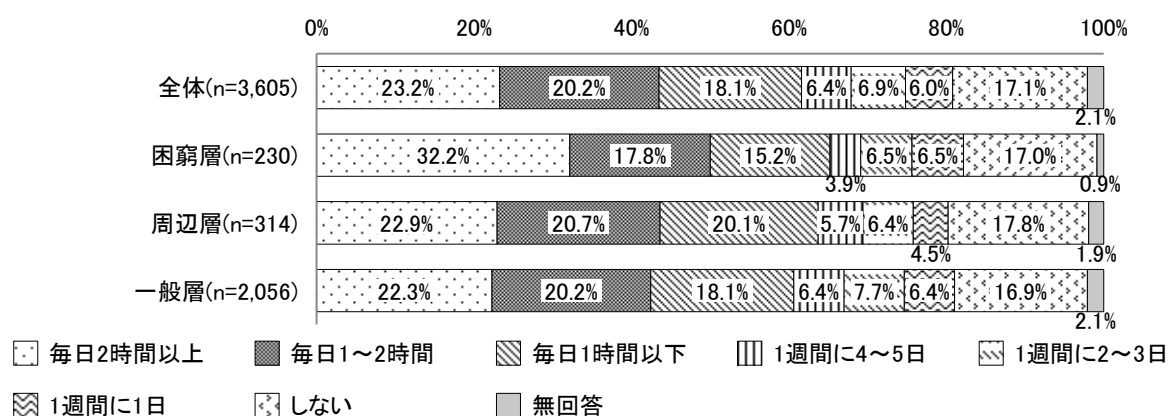
「困窮層」では、「毎日2時間以上」が32.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日2時間以上」が22.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日2時間以上」が22.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「毎日2時間以上」が48.6%でもっとも割合が高く、次いで「毎日1～2時間」が24.2%となっている。

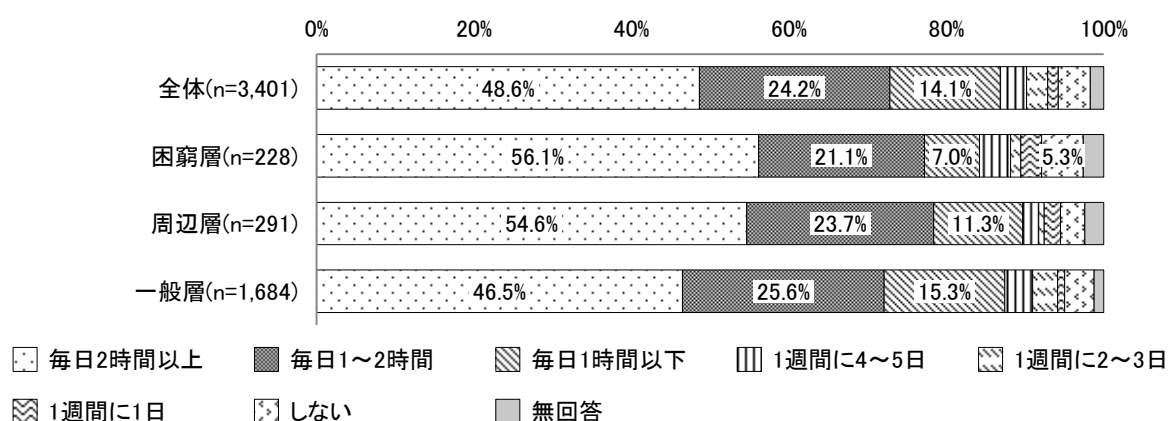
「困窮層」では、「毎日2時間以上」が56.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日2時間以上」が54.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日2時間以上」が46.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 275 インターネットを見る：単数回答（Q24C）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q24C インターネットを見る							
		毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	しない	無回答
全体	3,605	23.2	20.2	18.1	6.4	6.9	6.0	17.1	2.1
困窮層	230	32.2	17.8	15.2	3.9	6.5	6.5	17.0	0.9
周辺層	314	22.9	20.7	20.1	5.7	6.4	4.5	17.8	1.9
一般層	2,056	22.3	20.2	18.1	6.4	7.7	6.4	16.9	2.1

<数値表：中学生>

	合計	Q24C インターネットを見る							
		毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	しない	無回答
全体	3,401	48.6	24.2	14.1	3.3	2.7	1.4	4.1	1.7
困窮層	228	56.1	21.1	7.0	3.9	1.3	2.6	5.3	2.6
周辺層	291	54.6	23.7	11.3	2.1	0.7	2.1	3.1	2.4
一般層	1,684	46.5	25.6	15.3	3.6	3.1	0.9	3.7	1.2

12) スマートフォン、けいたい電話でメールやLINE をする

小学生の「全体」では、「しない」が 43.9%でもっとも割合が高く、次いで「毎日 1 時間以下」が 16.8%となっている。

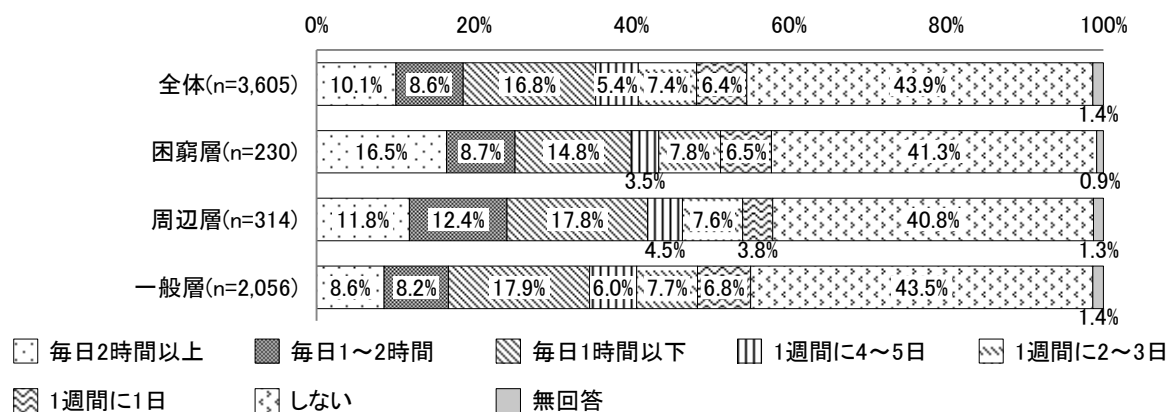
「困窮層」では、「しない」が 41.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 40.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 43.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「毎日 2 時間以上」が 33.7%でもっとも割合が高く、次いで「毎日 1 時間以下」が 28.1%となっている。

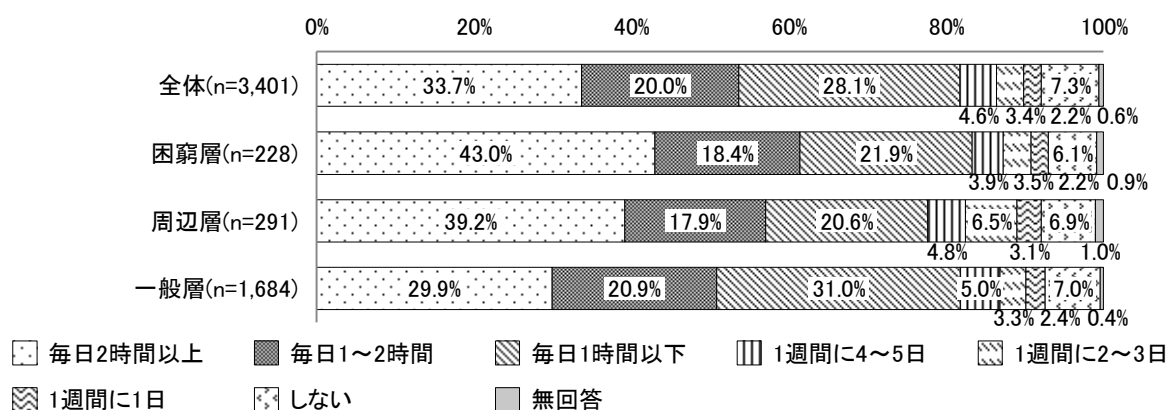
「困窮層」では、「毎日 2 時間以上」が 43.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「毎日 2 時間以上」が 39.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日 1 時間以下」が 31.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 276 スマートフォン、けいたい電話でメールや LINE をする：単数回答（Q24D）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



13) 室内でのほかの活動

小学生の「全体」では、「毎日 1 時間以下」が 19.3%でもっとも割合が高く、次いで「しない」が 19.1%となっている。

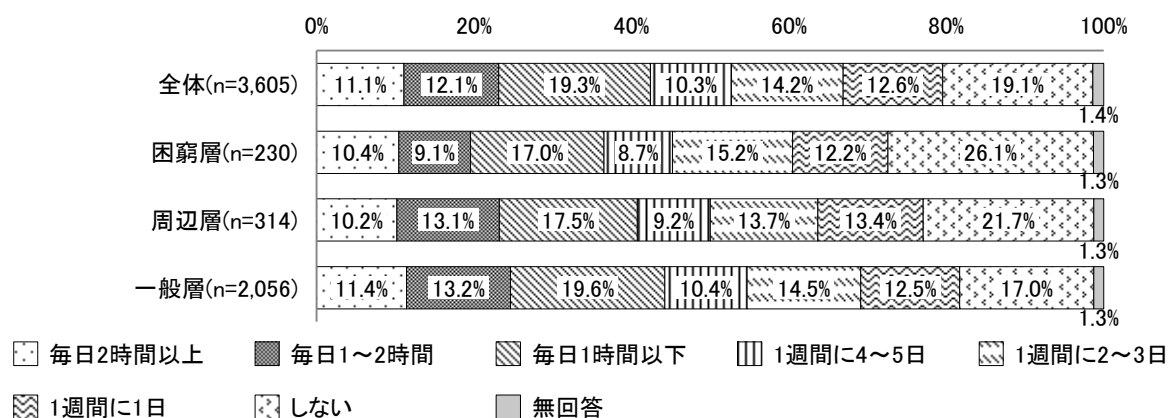
「困窮層」では、「しない」が 26.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 21.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「毎日 1 時間以下」が 19.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「しない」が 32.0%でもっとも割合が高く、次いで「毎日 1 時間以下」が 14.2%となっている。

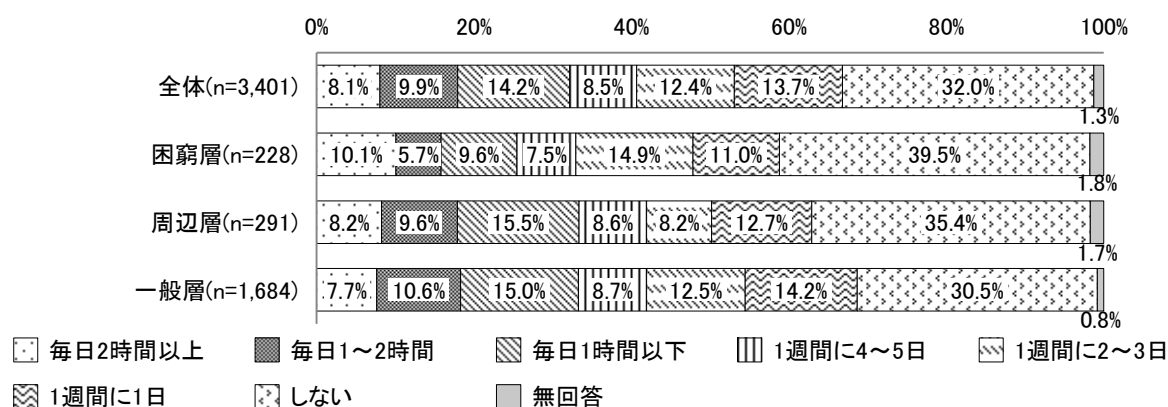
「困窮層」では、「しない」が 39.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 35.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 30.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 277 室内でのほかの活動：単数回答（Q24E）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.05$ ）



14) 公園で遊ぶ

小学生の「全体」では、「しない」が 29.0%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日」が 20.9%となっている。

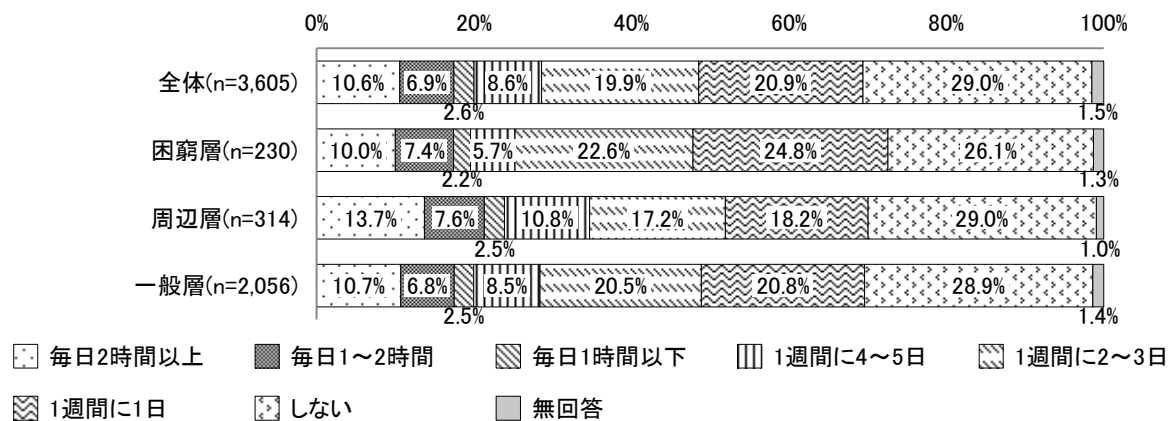
「困窮層」では、「しない」が 26.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 29.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 28.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「しない」が 59.2%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日」が 17.1%となっている。

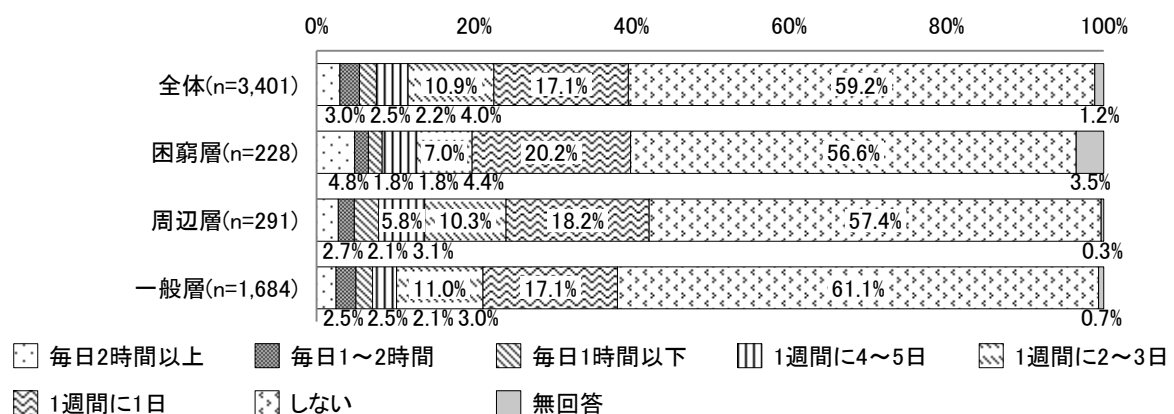
「困窮層」では、「しない」が 56.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 57.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 61.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 278 公園で遊ぶ：単数回答（Q24F）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



15) 塾や習い事

小学生の「全体」では、「1週間に2～3日」が32.3%でもっとも割合が高く、次いで「しない」が20.6%となっている。

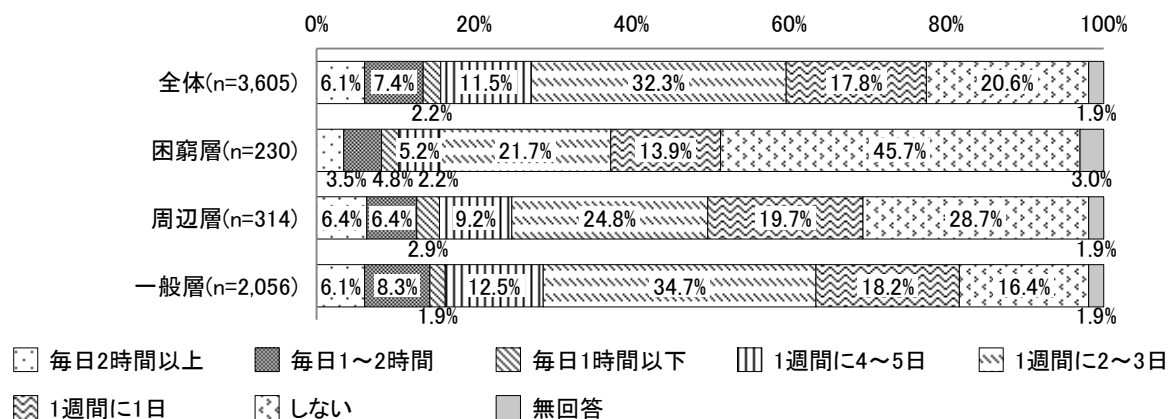
「困窮層」では、「しない」が45.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が28.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に2～3日」が34.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「しない」が34.7%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に2～3日」が32.2%となっている。

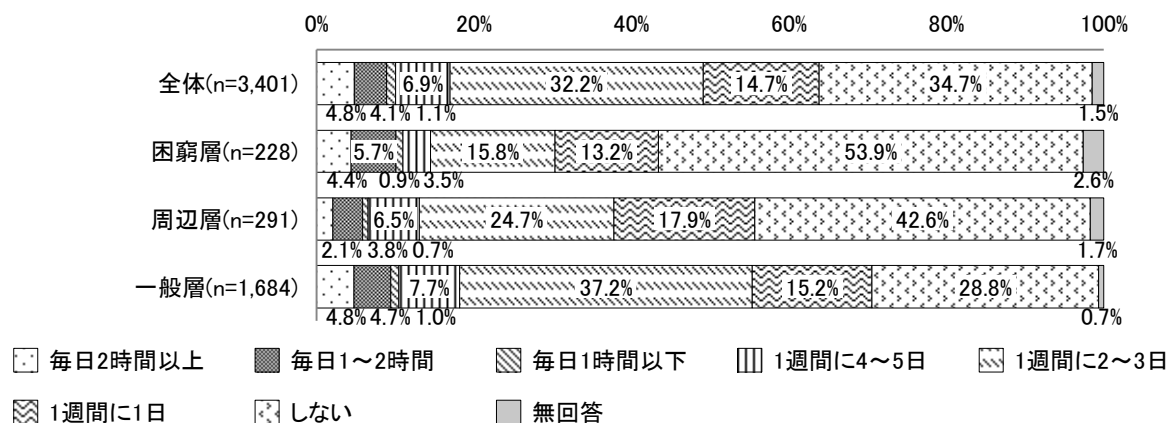
「困窮層」では、「しない」が53.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が42.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「1週間に2～3日」が37.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 279 塾や習い事：単数回答（Q24G）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



16) 家事

小学生の「全体」では、「しない」が 26.2%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日」が 23.1%となっている。

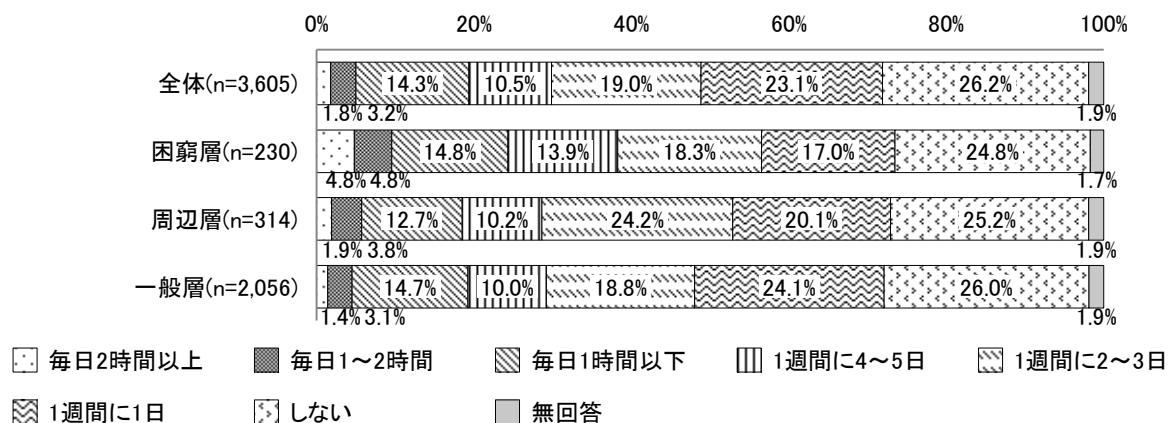
「困窮層」では、「しない」が 24.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 25.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 26.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「しない」が 27.7%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日」が 20.9%となっている。

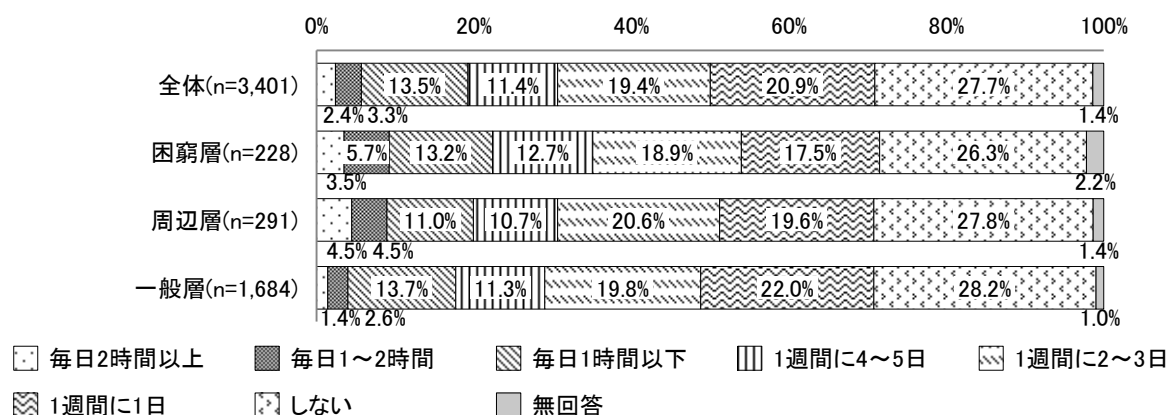
「困窮層」では、「しない」が 26.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 27.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 28.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 280 家事：単数回答（Q24H）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



17) 兄弟姉妹のお世話

小学生の「全体」では、「しない」が 61.8%でもっとも割合が高く、次いで「毎日 1 時間以下」が 7.8%となっている。

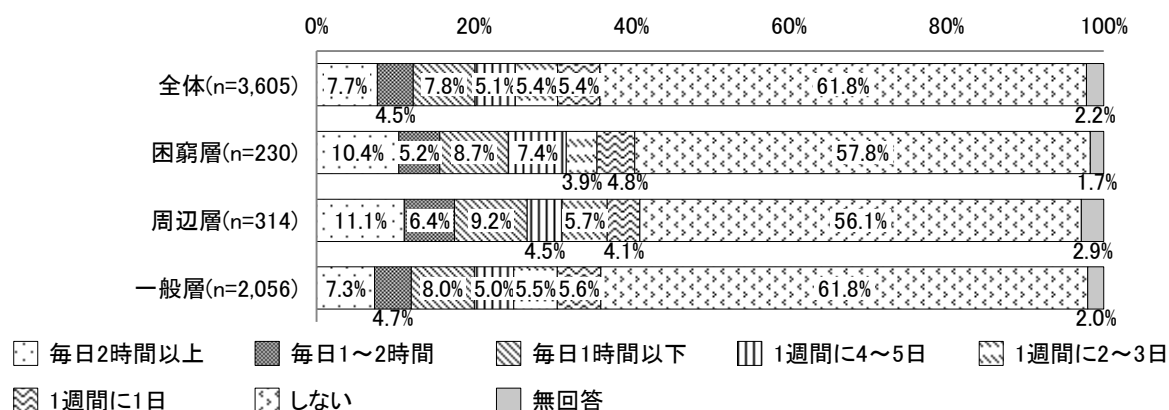
「困窮層」では、「しない」が 57.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 56.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 61.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「しない」が 69.0%でもっとも割合が高く、次いで「1 週間に 2～3 日」が 6.2%となっている。

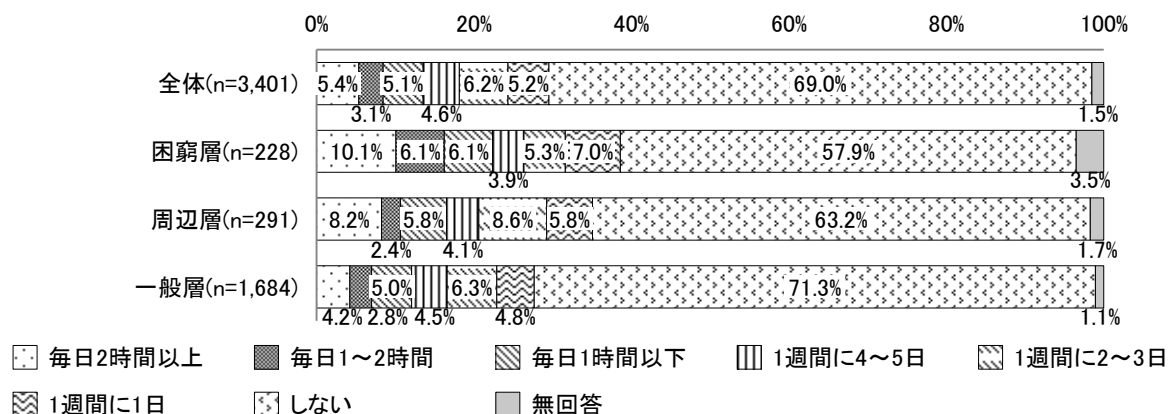
「困窮層」では、「しない」が 57.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 63.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 71.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 281 兄弟姉妹のお世話：単数回答（Q24I）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（p<.01）



18) おじいちゃん、おばあちゃんのお世話

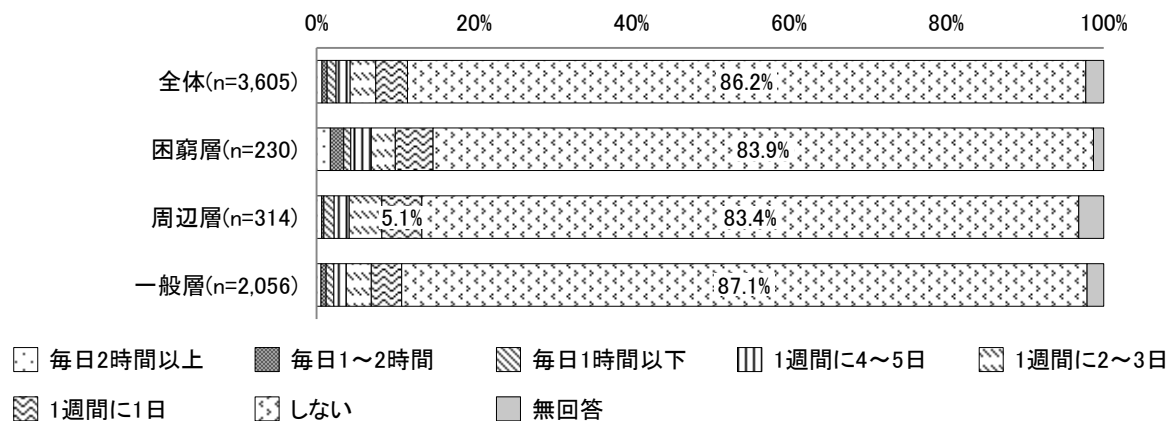
小学生の「全体」では、「しない」が 86.2%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日」が 4.0%となっている。

「困窮層」では、「しない」が 83.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 83.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 87.1%でもっとも割合が高くなっている。

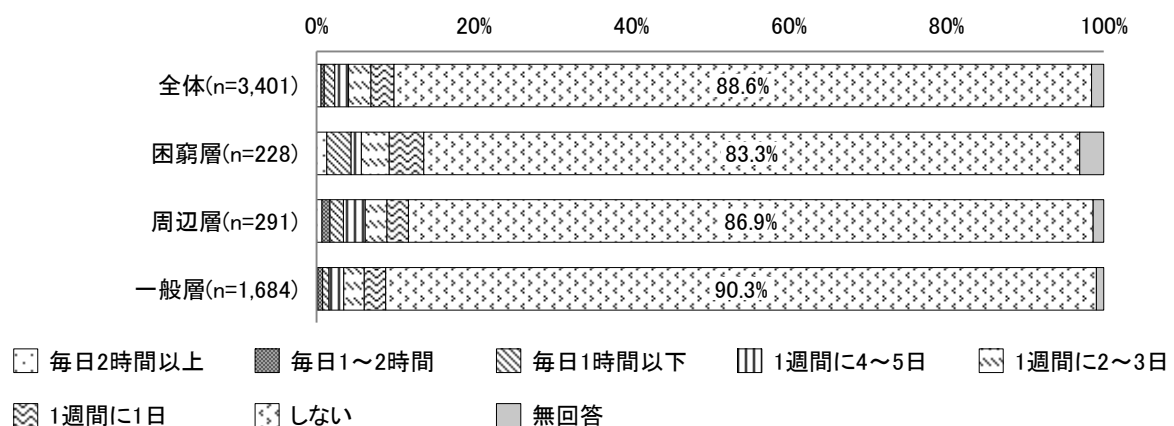
中学生の「全体」では、「しない」が 88.6%でもっとも割合が高く、次いで「1週間に1日」が 2.9%となっている。

「困窮層」では、「しない」が 83.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「しない」が 86.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「しない」が 90.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 282 おじいちゃん、おばあちゃんのお世話：単数回答（Q24J）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（ $p<.05$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q24J おじいちゃん、おばあちゃんのお世話							
		毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	しない	無回答
全体	3,605	0.7	0.7	1.1	1.8	3.2	4.0	86.2	2.3
困窮層	230	1.7	1.7	0.9	2.6	3.0	4.8	83.9	1.3
周辺層	314	0.6	0.3	1.3	1.9	4.1	5.1	83.4	3.2
一般層	2,056	0.6	0.6	1.0	1.6	3.2	3.8	87.1	2.1

<数値表：中学生>

	合計	Q24J おじいちゃん、おばあちゃんのお世話							
		毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	しない	無回答
全体	3,401	0.6	0.4	1.3	1.8	2.8	2.9	88.6	1.6
困窮層	228	1.3	0.0	3.1	1.3	3.5	4.4	83.3	3.1
周辺層	291	0.7	1.0	1.7	2.7	2.7	2.7	86.9	1.4
一般層	1,684	0.2	0.6	0.8	1.8	2.6	2.7	90.3	1.0

19) 読んだ本の冊数

小学生の「全体」では、「2～3冊」が23.4%でもっとも割合が高く、次いで「4～7冊」が19.6%となっている。

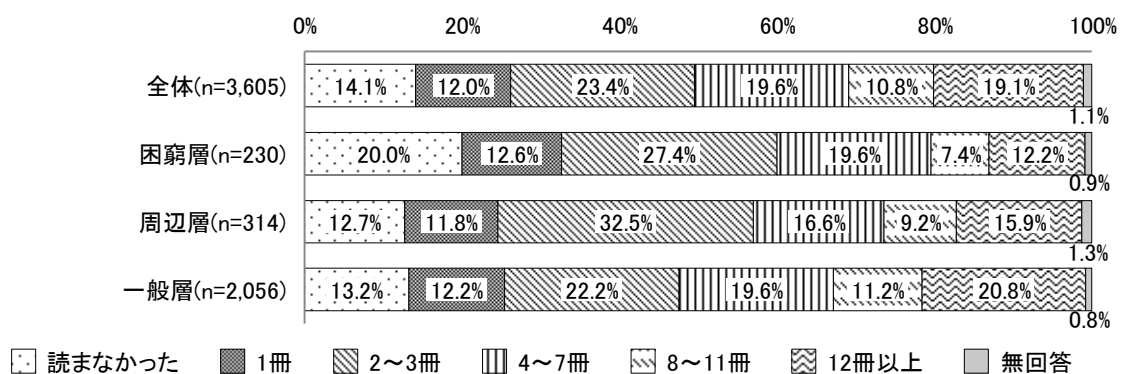
「困窮層」では、「2～3冊」が27.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「2～3冊」が32.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「2～3冊」が22.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「2～3冊」が28.4%でもっとも割合が高く、次いで「1冊」が26.4%となっている。

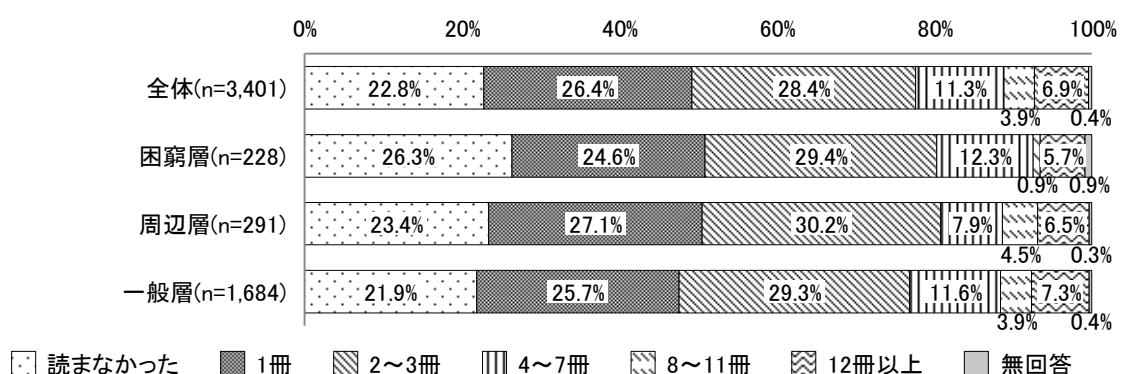
「困窮層」では、「2～3冊」が29.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「2～3冊」が30.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「2～3冊」が29.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 283 読んだ本の冊数：単数回答（Q25）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (有意差なし)



(5) 所有物について

1) 自分だけの本

小学生の「全体」では、「ある」が 66.1%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 21.9%となっている。

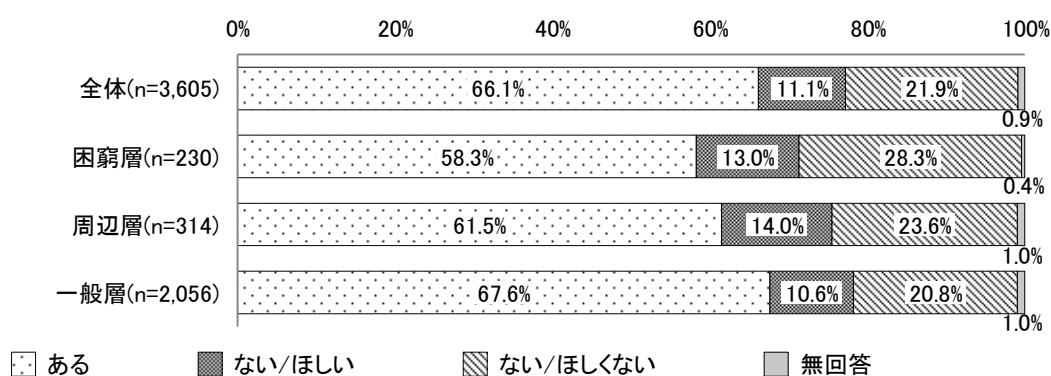
「困窮層」では、「ある」が 58.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 61.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 67.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 75.1%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 18.1%となっている。

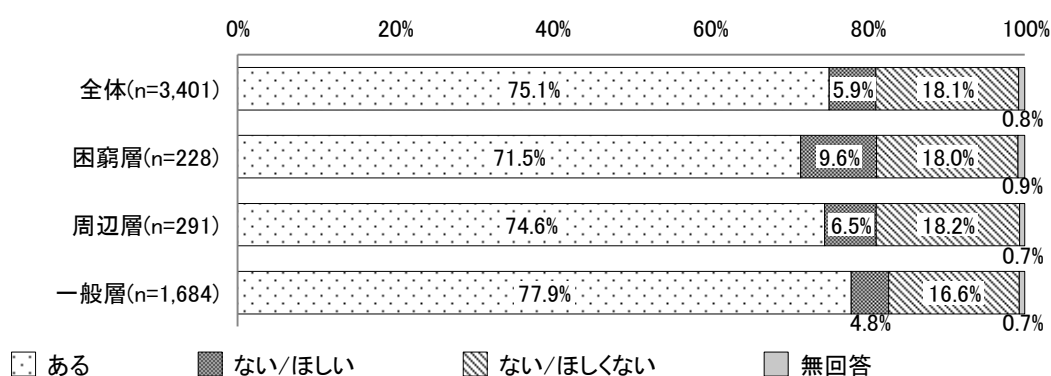
「困窮層」では、「ある」が 71.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 74.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 77.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 284 自分だけの本：単数回答（Q26A）（生活困難度別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.05)



2) こども部屋

小学生の「全体」では、「ある」が 63.2%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 25.7%となっている。

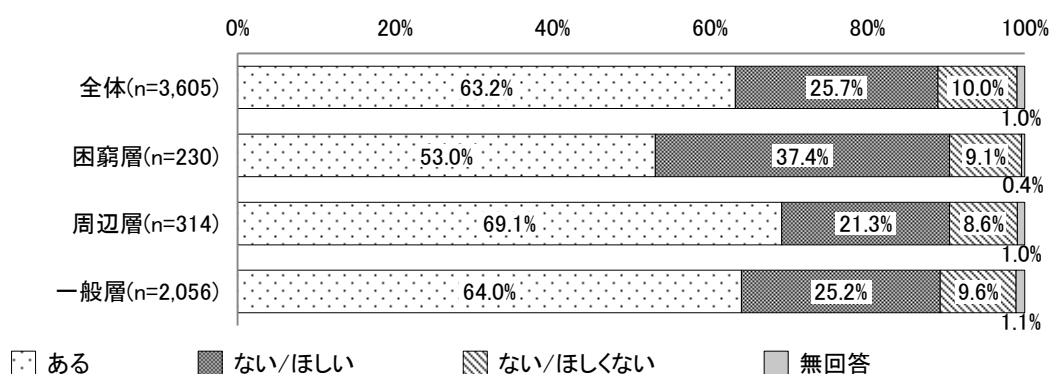
「困窮層」では、「ある」が 53.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 69.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 64.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 76.7%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 15.0%となっている。

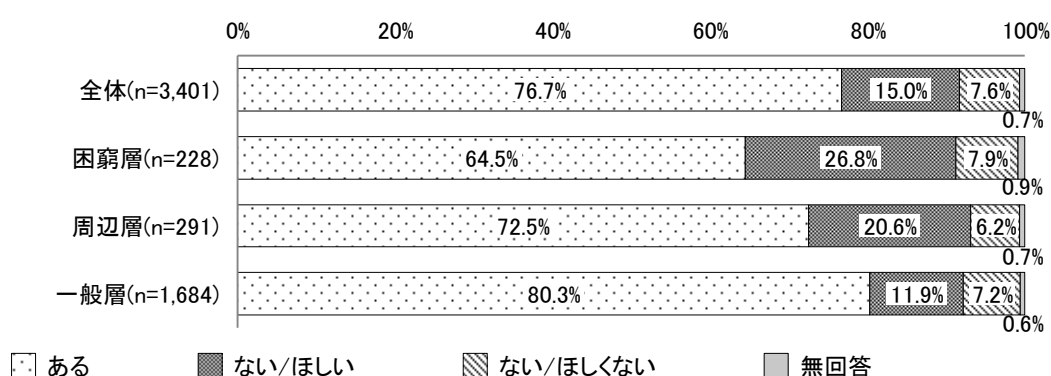
「困窮層」では、「ある」が 64.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 72.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 80.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 285 こども部屋：単数回答（Q26B）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



3) インターネットにつながるパソコン、タブレット

小学生の「全体」では、「ある」が 63.4%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 24.4%となっている。

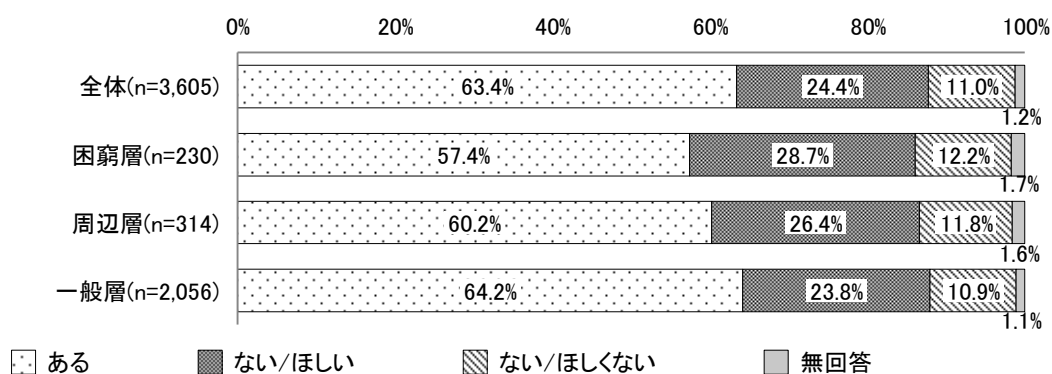
「困窮層」では、「ある」が 57.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 60.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 64.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 72.0%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 17.4%となっている。

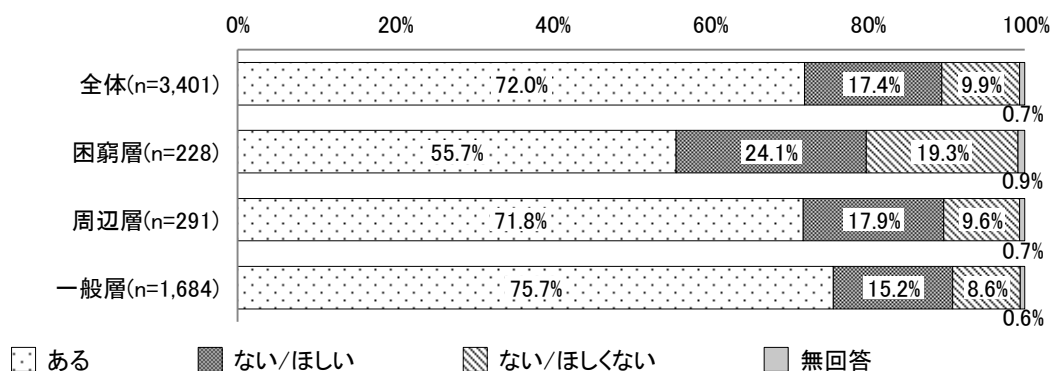
「困窮層」では、「ある」が 55.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 71.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 75.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 286 インターネットにつながるパソコン、タブレット：単数回答（Q26C）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



4) 自宅で宿題をすることができる場所

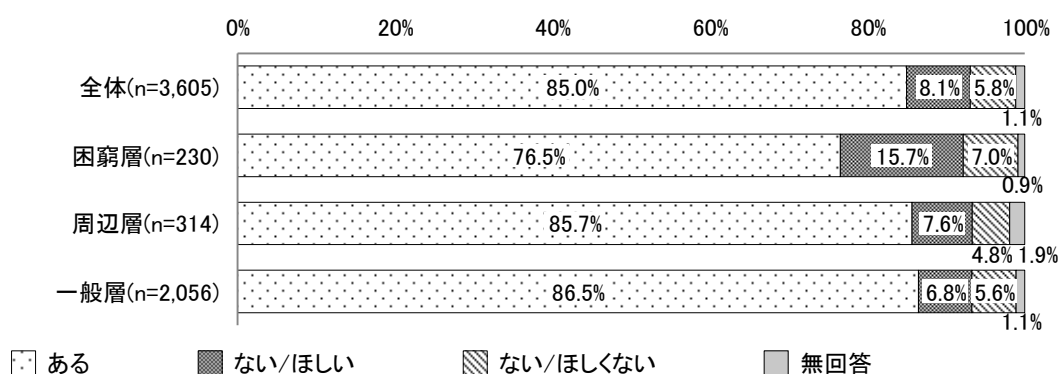
小学生の「全体」では、「ある」が 85.0%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 8.1%となっている。

「困窮層」では、「ある」が 76.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 85.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 86.5%でもっとも割合が高くなっている。

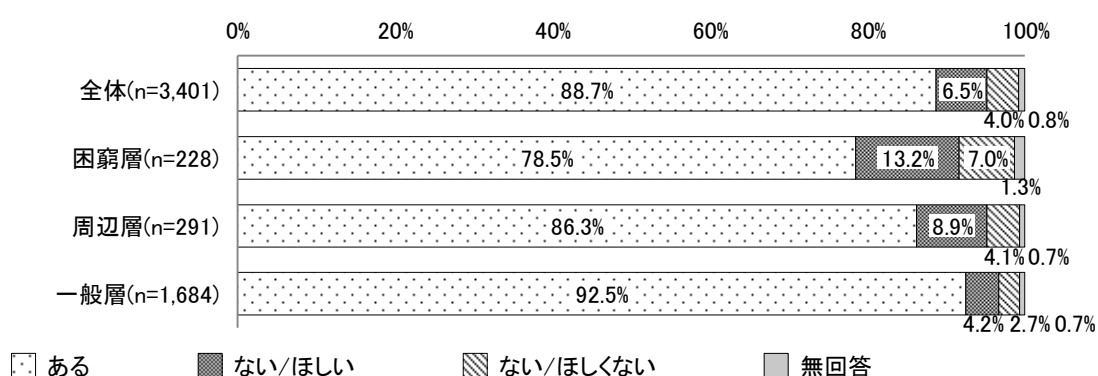
中学生の「全体」では、「ある」が 88.7%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 6.5%となっている。

「困窮層」では、「ある」が 78.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 86.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 92.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 287 自宅で宿題をすることができる場所：単数回答（Q26D）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



5) 自分専用の勉強机

小学生の「全体」では、「ある」が 64.1%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 20.1%となっている。

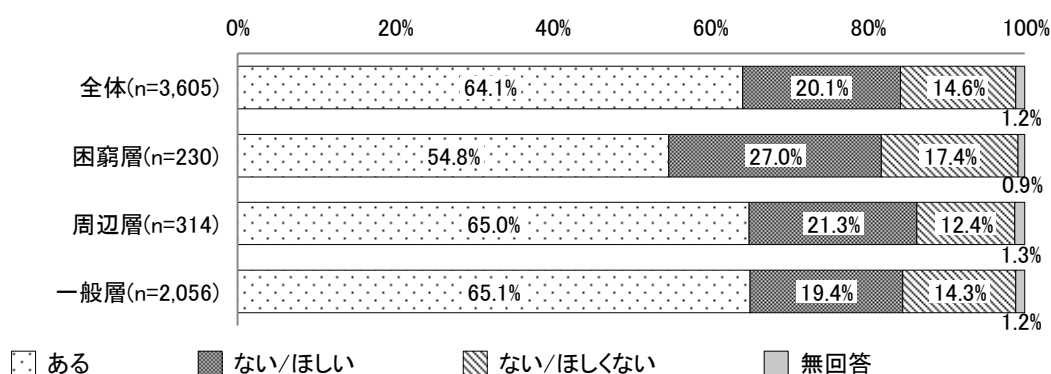
「困窮層」では、「ある」が 54.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 65.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 65.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 80.8%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 10.7%となっている。

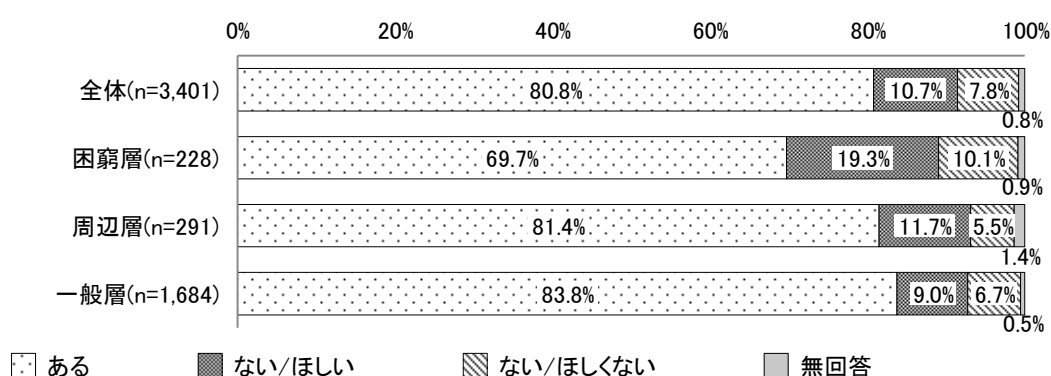
「困窮層」では、「ある」が 69.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 81.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 83.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 288 自分専用の勉強机：単数回答（Q26E）（生活困難度別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)



6) スポーツ用品

小学生の「全体」では、「ある」が 66.7%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 22.6%となっている。

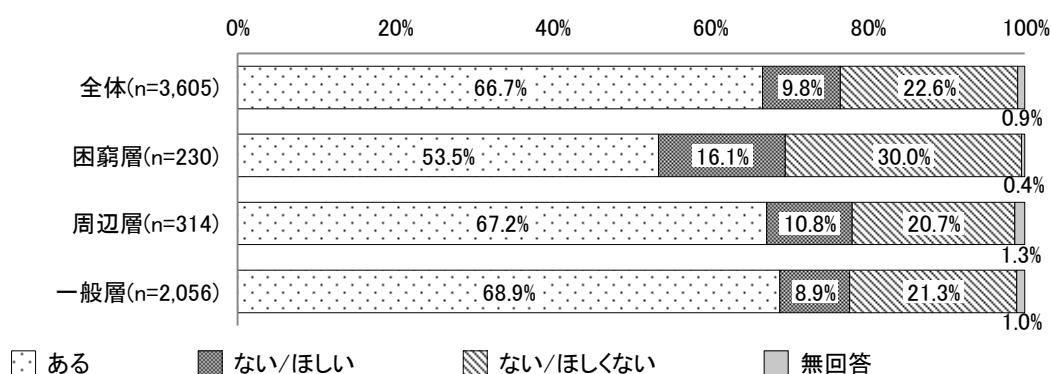
「困窮層」では、「ある」が 53.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 67.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 68.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 72.3%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 21.8%となっている。

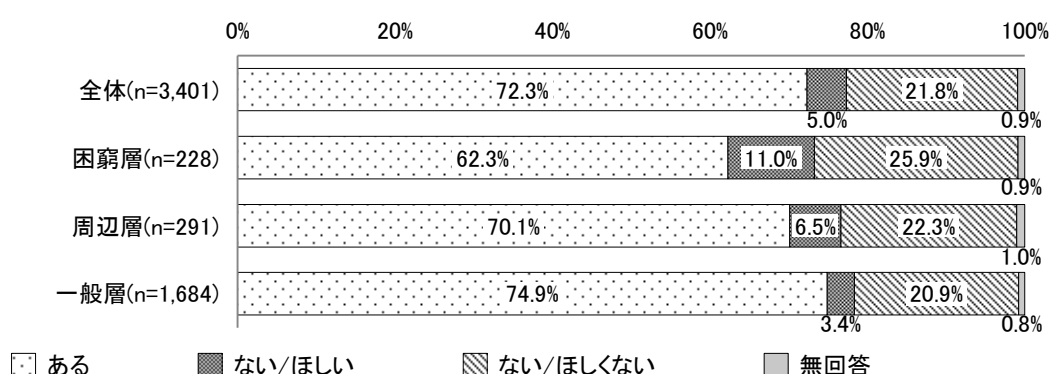
「困窮層」では、「ある」が 62.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 70.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 74.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 289 スポーツ用品：単数回答（Q26F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



7) ゲーム機

小学生の「全体」では、「ある」が84.1%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が7.8%となっている。

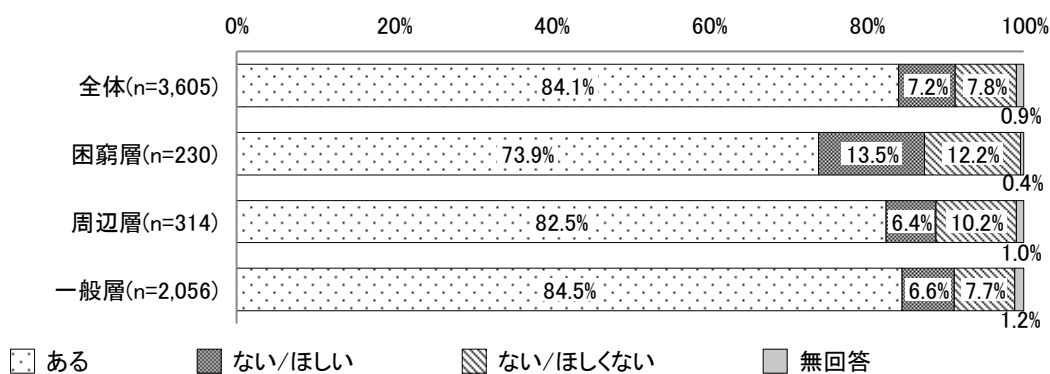
「困窮層」では、「ある」が73.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が82.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が84.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が82.2%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が11.8%となっている。

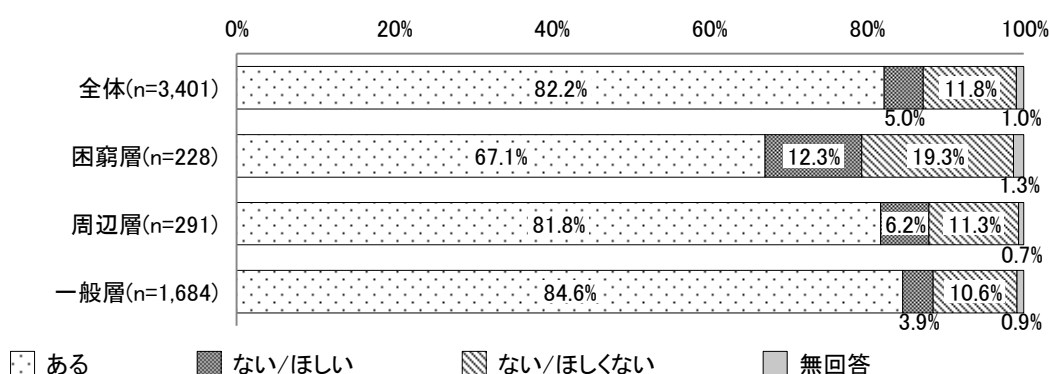
「困窮層」では、「ある」が67.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が81.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が84.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 290 ゲーム機：単数回答（Q26G）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



8) 多くの友だちが持っているおもちゃ

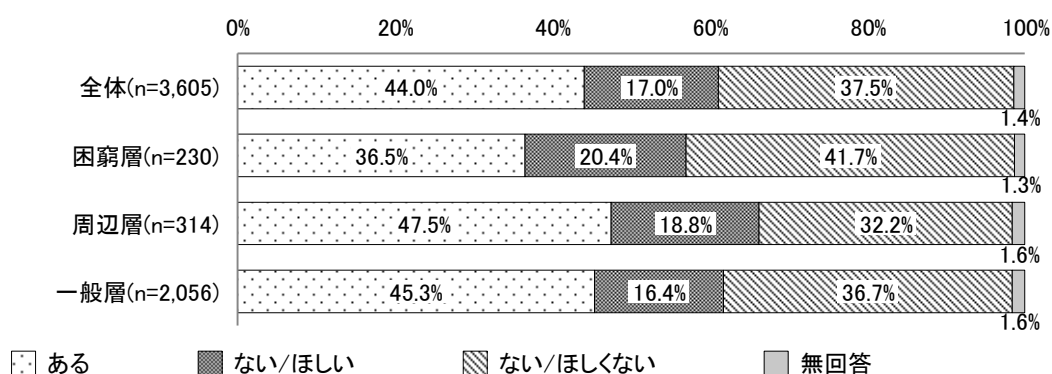
小学生の「全体」では、「ある」が44.0%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が37.5%となっている。

「困窮層」では、「ない/ほしくない」が41.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が47.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が45.3%でもっとも割合が高くなっている。

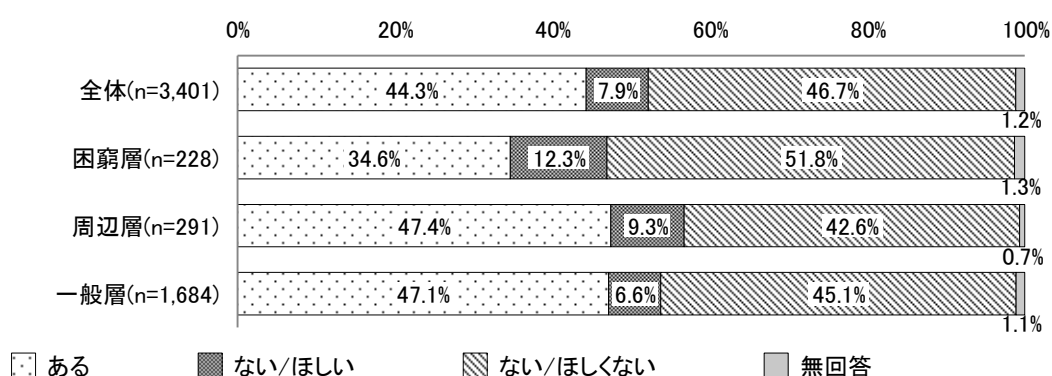
中学生の「全体」では、「ない/ほしくない」が46.7%でもっとも割合が高く、次いで「ある」が44.3%となっている。

「困窮層」では、「ない/ほしくない」が51.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が47.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が47.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 291 多くの友だちが持っているおもちゃ：単数回答（Q26H）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



9) 自転車

小学生の「全体」では、「ある」が 86.3%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 7.5%となっている。

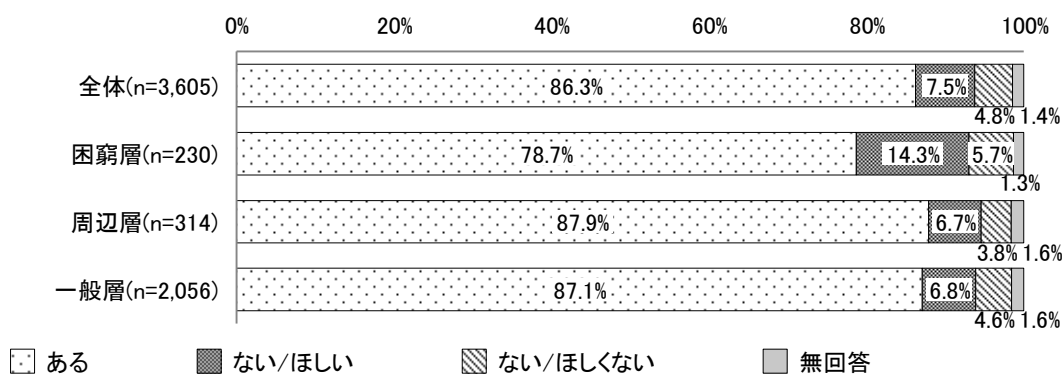
「困窮層」では、「ある」が 78.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 87.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 87.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 86.4%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 6.9%となっている。

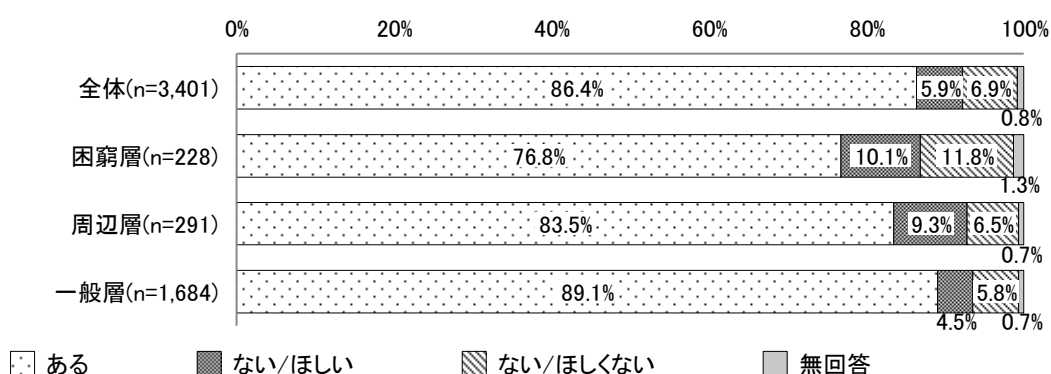
「困窮層」では、「ある」が 76.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 83.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 89.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 292 自転車：単数回答（Q26I）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



10) おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

小学生の「全体」では、「ある」が 73.5%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 17.9%となっている。

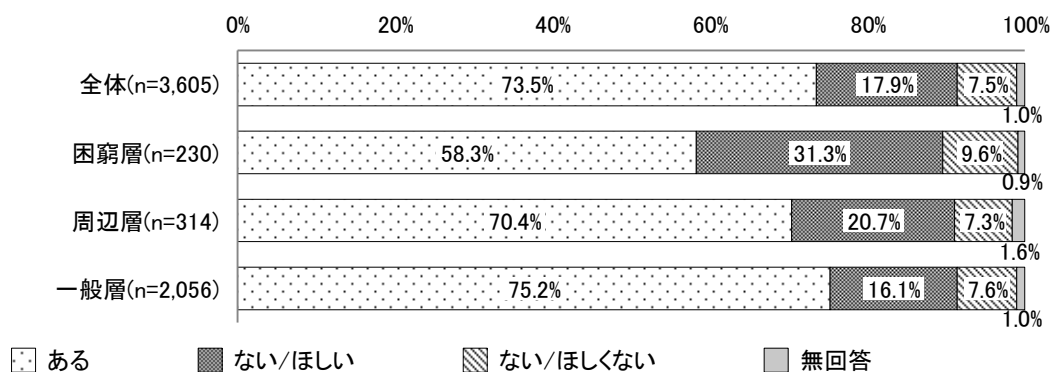
「困窮層」では、「ある」が 58.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 70.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 75.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 74.7%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 16.6%となっている。

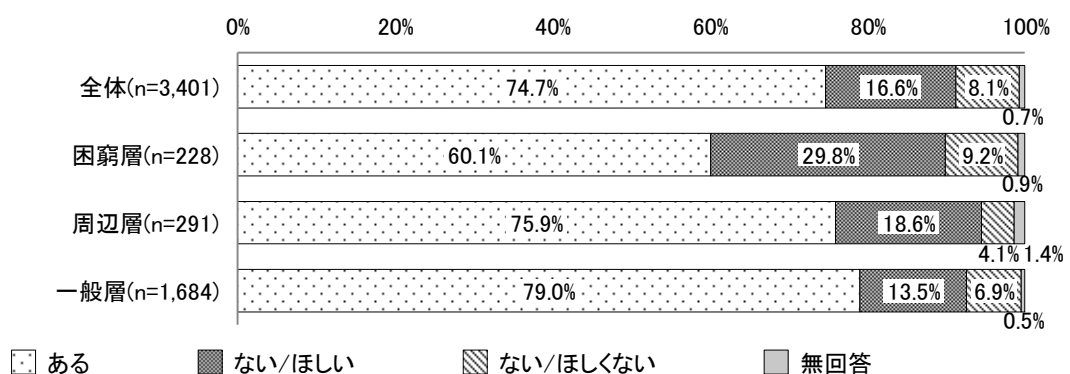
「困窮層」では、「ある」が 60.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 75.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 79.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 293 おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい：単数回答（Q26J）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



11) 友だちが着ているのと同じような服

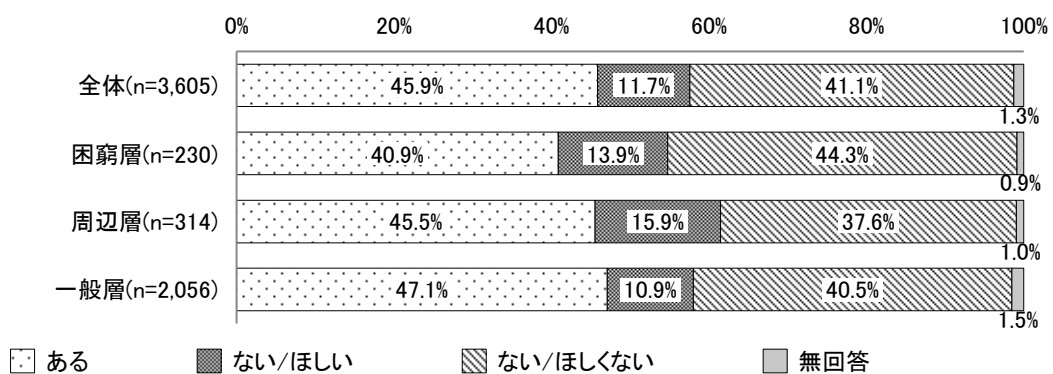
小学生の「全体」では、「ある」が45.9%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が41.1%となっている。

「困窮層」では、「ない/ほしくない」が44.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が45.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が47.1%でもっとも割合が高くなっている。

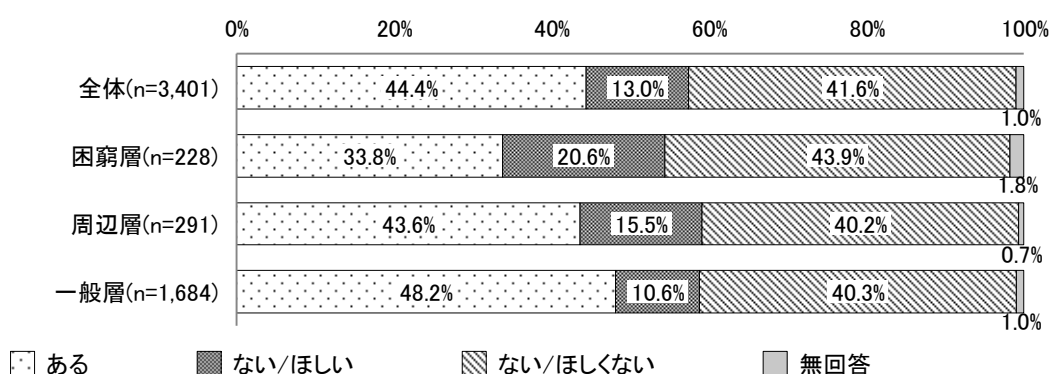
中学生の「全体」では、「ある」が44.4%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が41.6%となっている。

「困窮層」では、「ない/ほしくない」が43.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が43.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が48.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 294 友だちが着ているのと同じような服：単数回答（Q26K）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



12) 2 足以上のサイズのあった靴

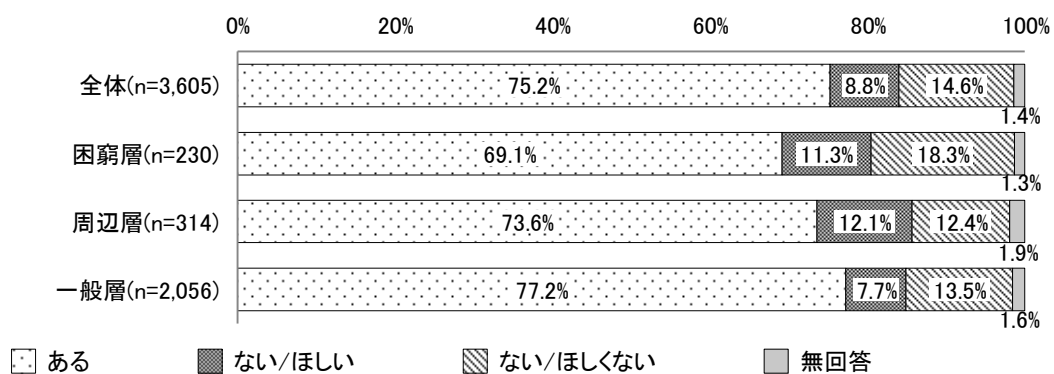
小学生の「全体」では、「ある」が 75.2%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 14.6%となっている。

「困窮層」では、「ある」が 69.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 73.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 77.2%でもっとも割合が高くなっている。

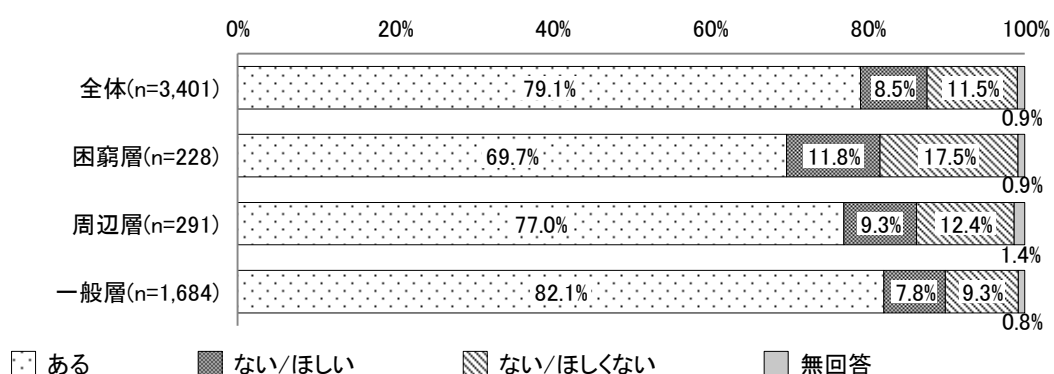
中学生の「全体」では、「ある」が 79.1%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 11.5%となっている。

「困窮層」では、「ある」が 69.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 77.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 82.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 295 2 足以上のサイズのあった靴：単数回答（Q26L）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



13) けいたい電話、スマートフォン

小学生の「全体」では、「ある」が 52.4%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 35.6%となっている。

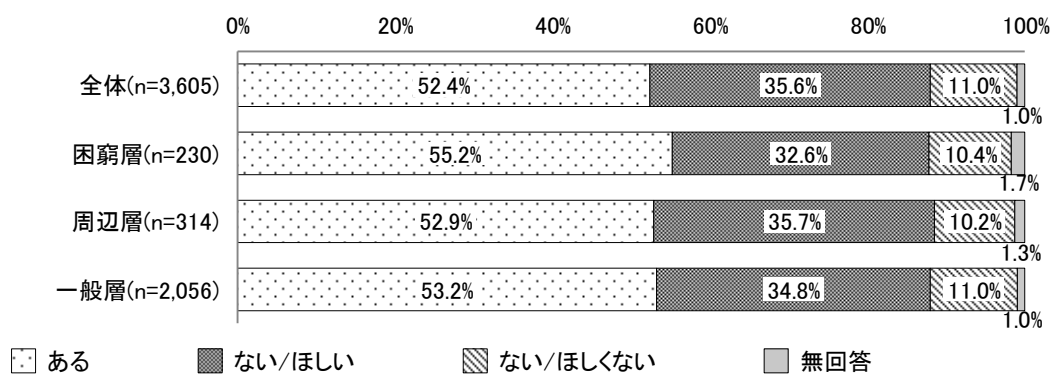
「困窮層」では、「ある」が 55.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 52.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 53.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 89.1%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 6.9%となっている。

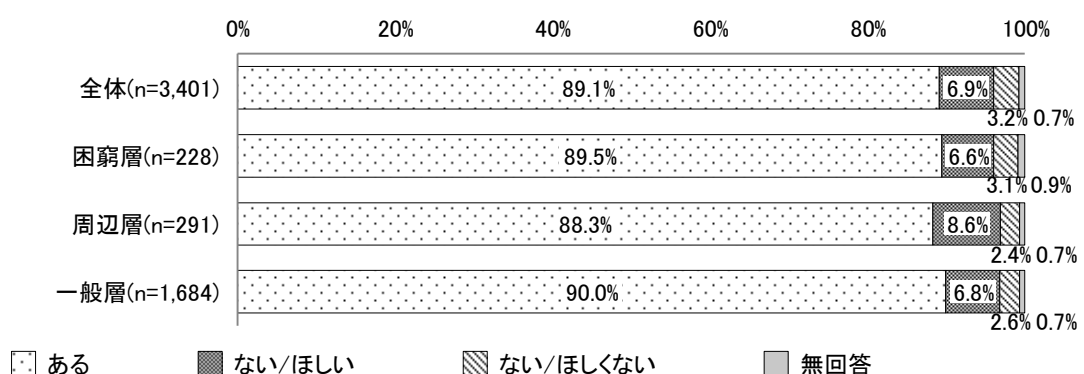
「困窮層」では、「ある」が 89.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 88.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 90.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 296 けいたい電話、スマートフォン：単数回答（Q26M）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



14) けいたい音楽プレーヤー

小学生の「全体」では、「ない/ほしくない」が 50.7%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしい」が 29.9%となっている。

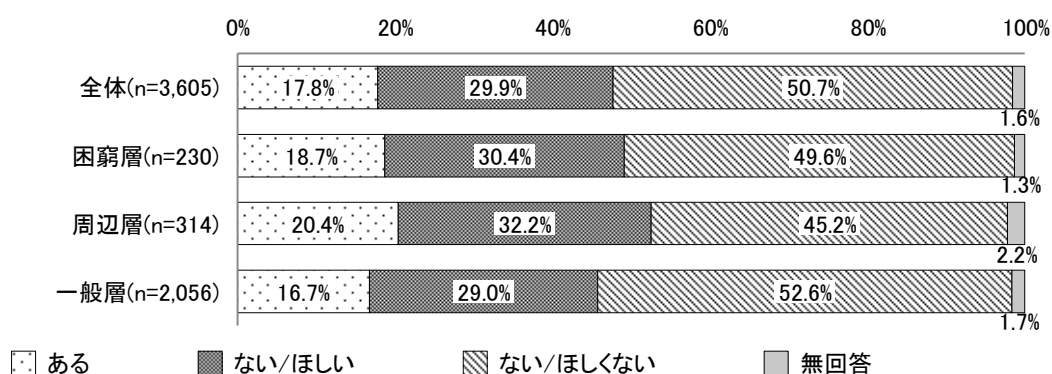
「困窮層」では、「ない/ほしくない」が 49.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ない/ほしくない」が 45.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ない/ほしくない」が 52.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ある」が 40.0%でもっとも割合が高く、次いで「ない/ほしくない」が 36.8%となっている。

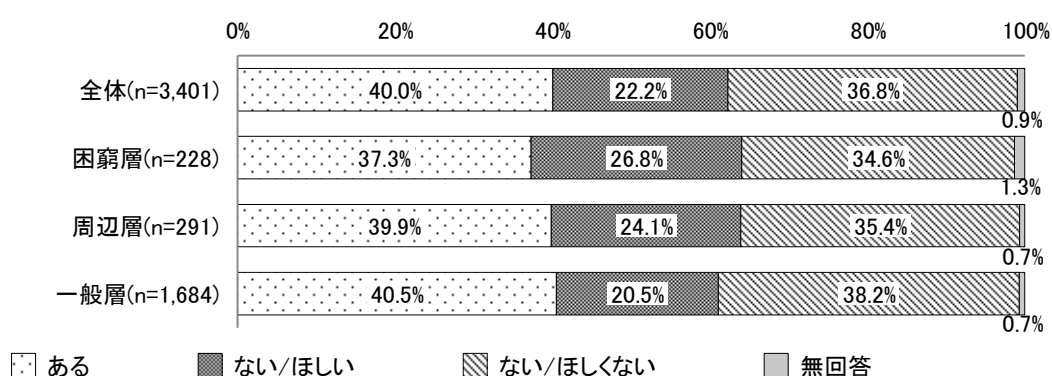
「困窮層」では、「ある」が 37.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ある」が 39.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ある」が 40.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 297 けいたい音楽プレーヤー：単数回答（Q26N）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



(6) 周囲との関わりについて

1) 一番仲が良い友だち

小学生の「全体」では、「学校の友だち」が 86.0%でもっとも割合が高く、次いで「学校外のスポーツチームやクラブの友だち」が 3.4%となっている。

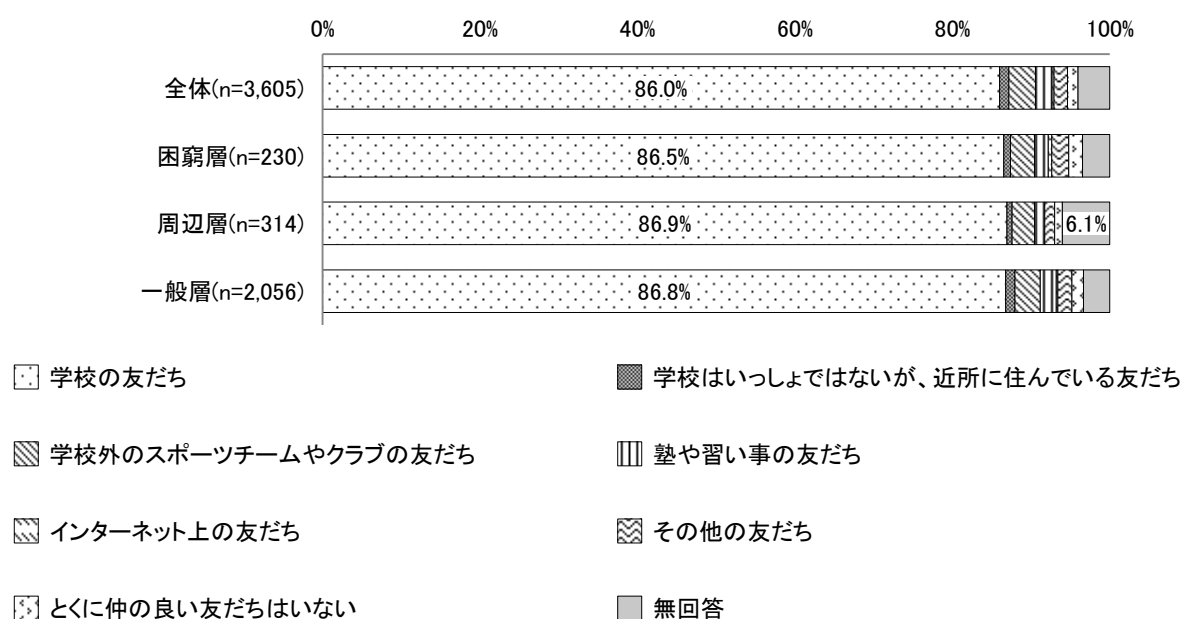
「困窮層」では、「学校の友だち」が 86.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校の友だち」が 86.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校の友だち」が 86.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「学校の友だち」が 86.9%でもっとも割合が高く、次いで「学校外のスポーツチームやクラブの友だち」が 2.2%となっている。

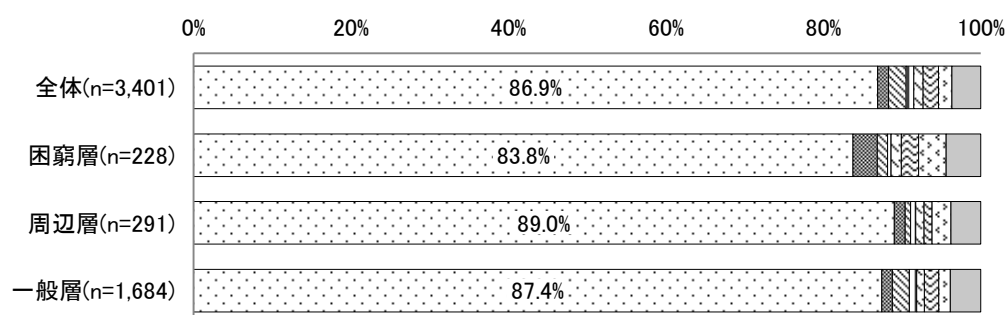
「困窮層」では、「学校の友だち」が 83.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「学校の友だち」が 89.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「学校の友だち」が 87.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 298 一番仲が良い友だち：単数回答（Q27）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生> (有意差なし)



- 学校の友だち
- 学校はいいじゃないが、近所に住んでいる友だち
- 学校外のスポーツチームやクラブの友だち
- 塾や習い事の友だち
- インターネット上の友だち
- その他の友だち
- とくに仲の良い友だちはいない
- 無回答

<数値表：小学生>

	合計	Q27 一番仲が良い友だち							無回答
		学校の友だち	学校はいいじゃないが、近所に住んでいる友だち	学校外のスポーツチームやクラブの友だち	塾や習い事の友だち	インターネット上の友だち	その他の友だち	とくに仲の良い友だちはいない	
全体	3,605	86.0	1.2	3.4	2.1	0.3	1.7	1.3	4.0
困窮層	230	86.5	0.9	3.0	1.7	0.4	2.2	1.7	3.5
周辺層	314	86.9	0.6	2.9	1.3	0.0	1.3	1.0	6.1
一般層	2,056	86.8	1.2	3.2	2.0	0.2	1.8	1.5	3.4

<数値表：中学生>

	合計	Q27 一番仲が良い友だち							無回答
		学校の友だち	学校はいいじゃないが、近所に住んでいる友だち	学校外のスポーツチームやクラブの友だち	塾や習い事の友だち	インターネット上の友だち	その他の友だち	とくに仲の良い友だちはいない	
全体	3,401	86.9	1.4	2.2	0.9	1.2	2.0	1.7	3.7
困窮層	228	83.8	3.1	1.3	0.4	1.3	2.2	3.5	4.4
周辺層	291	89.0	1.4	0.7	0.7	1.0	1.0	2.4	3.8
一般層	1,684	87.4	1.4	2.1	1.0	1.0	1.8	1.5	3.9

2) 親

小学生の「全体」では、「よく話す」が 57.0%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が 25.6%となっている。

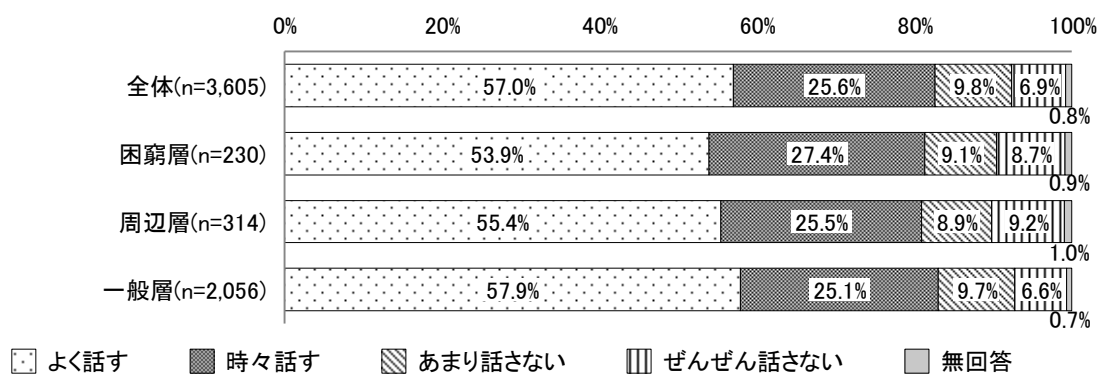
「困窮層」では、「よく話す」が 53.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「よく話す」が 55.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「よく話す」が 57.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「よく話す」が 43.5%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が 29.8%となっている。

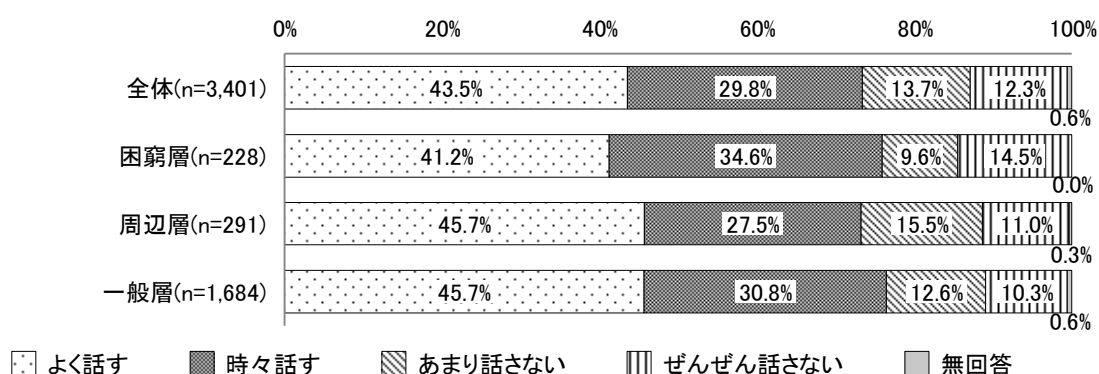
「困窮層」では、「よく話す」が 41.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「よく話す」が 45.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「よく話す」が 45.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 299 親：単数回答（Q28A）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



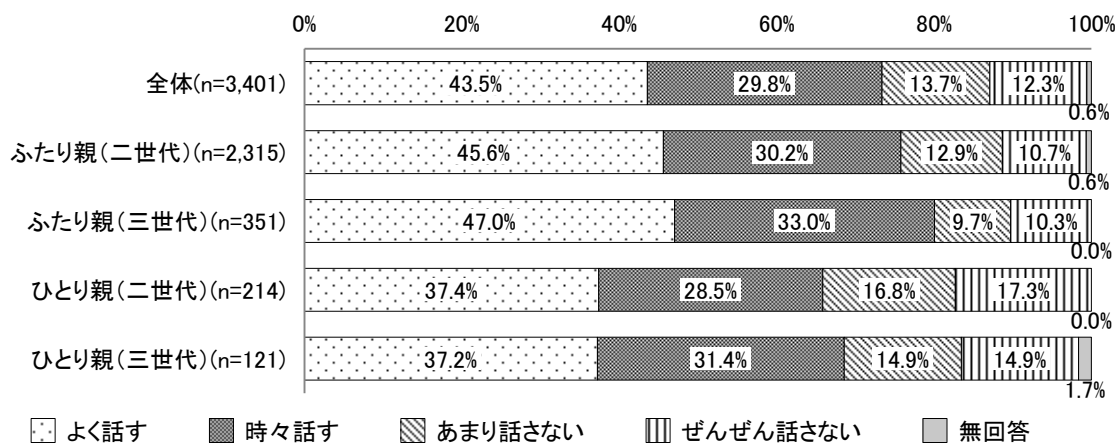
<中学生>（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、有意な結果がみられなかった。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「よく話す」とする割合が低くなっている。

図表 300 親：単数回答（Q28A）（世帯タイプ別）

<中学生> (p<.05)



3) 兄弟姉妹

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が39.8%でもっとも割合が高く、次いで「よく話す」が23.2%となっている。

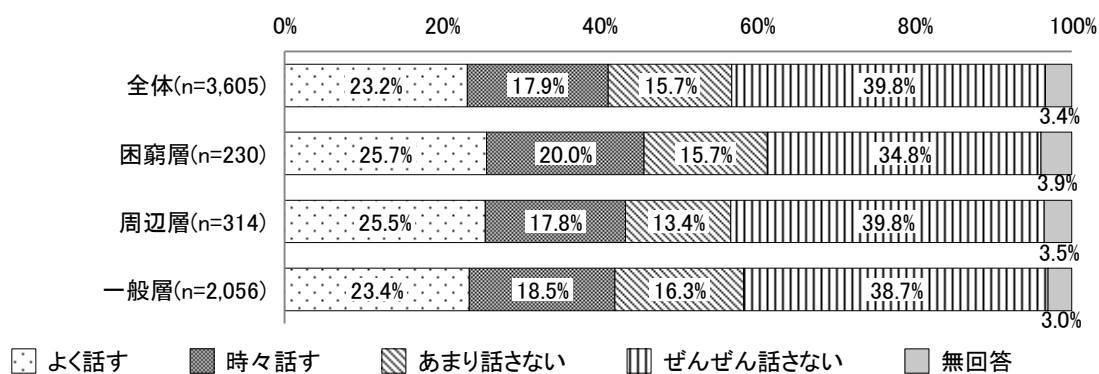
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が34.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が39.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が38.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が44.8%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が18.8%となっている。

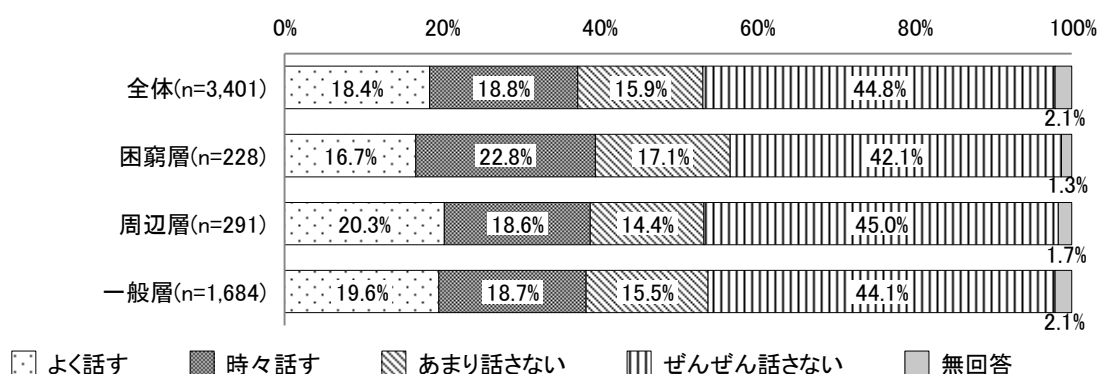
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が42.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が45.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が44.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 301 兄弟姉妹：単数回答（Q28B）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



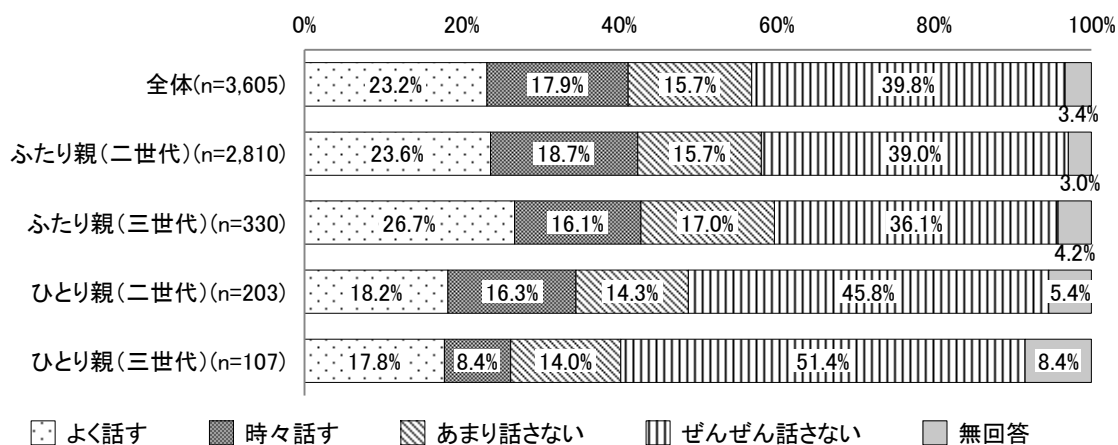
<中学生>（有意差なし）



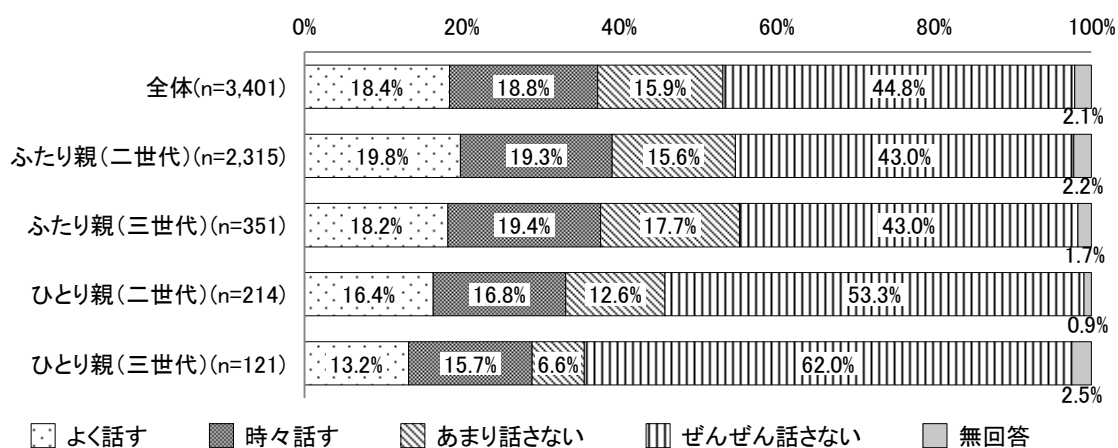
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「ぜんぜん話さない」とする割合が高くなっている。

図表 302 兄弟姉妹：単数回答（Q28B）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)



4) おじいちゃん、おばあちゃんなど

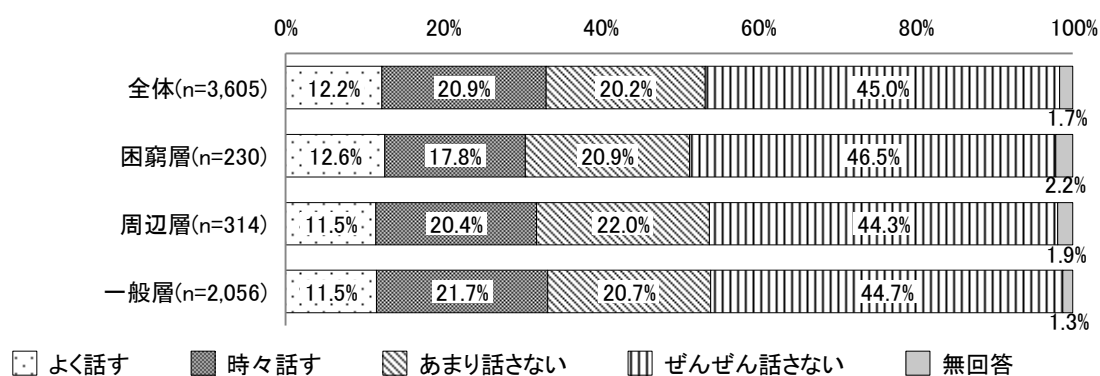
小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が45.0%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が20.9%となっている。

「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が46.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が44.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が44.7%でもっとも割合が高くなっている。

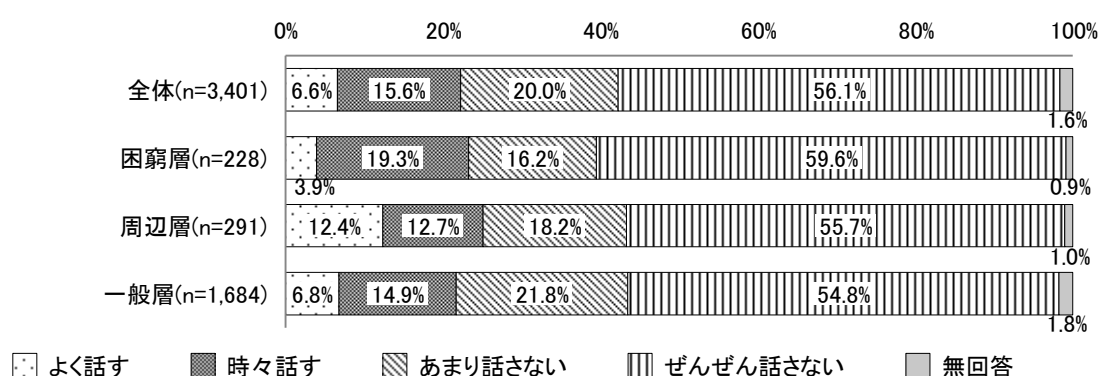
中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が56.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が20.0%となっている。

「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が59.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が55.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が54.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 303 おじいちゃん、おばあちゃんなど：単数回答（Q28C）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）

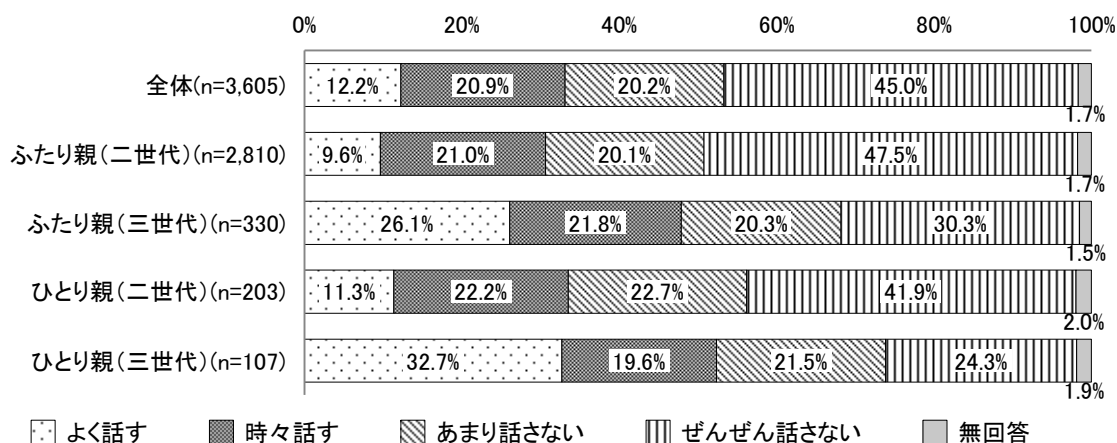


＜中学生＞（ $p<.01$ ）

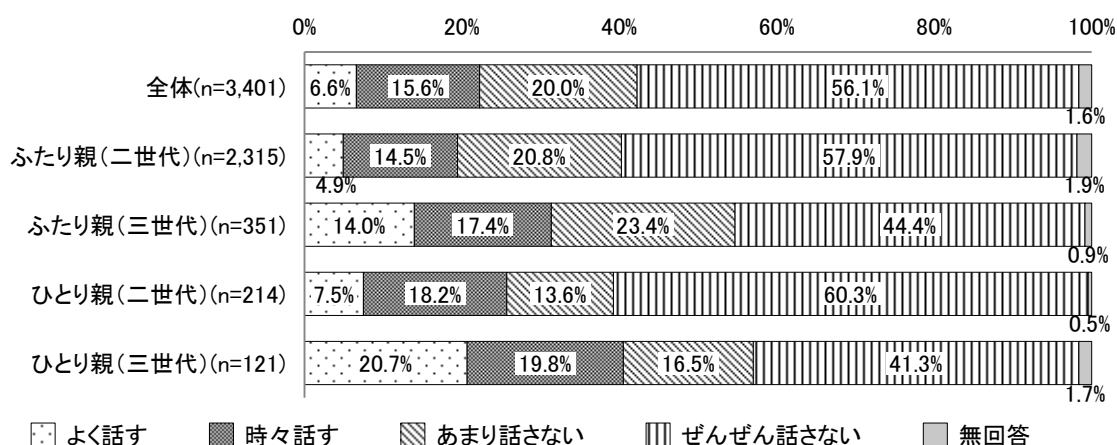


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ふたり親（三世代）」「ひとり親（三世代）」において「よく話す」とする割合が高くなっている。

図表 304 おじいちゃん、おばあちゃんなど：単数回答（Q28C）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.01$ ）



<中学生>（ $p<.01$ ）



5) 学校の先生

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が31.7%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が26.1%となっている。

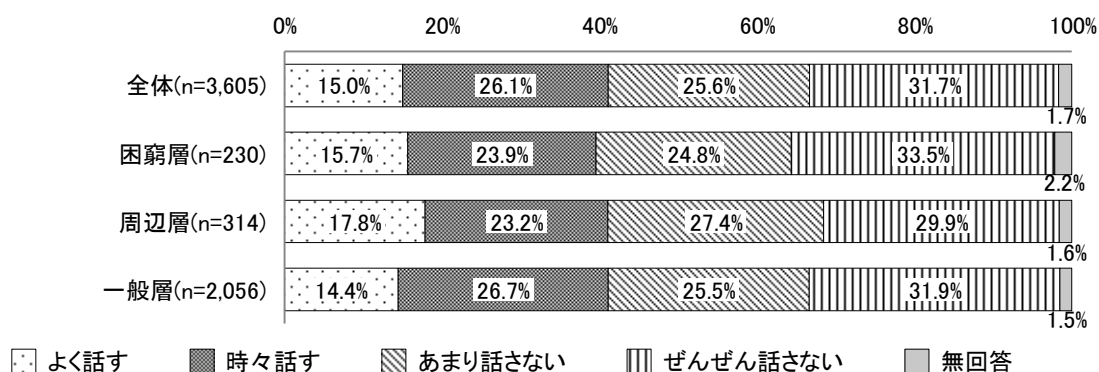
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が33.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が29.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が31.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が41.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が26.1%となっている。

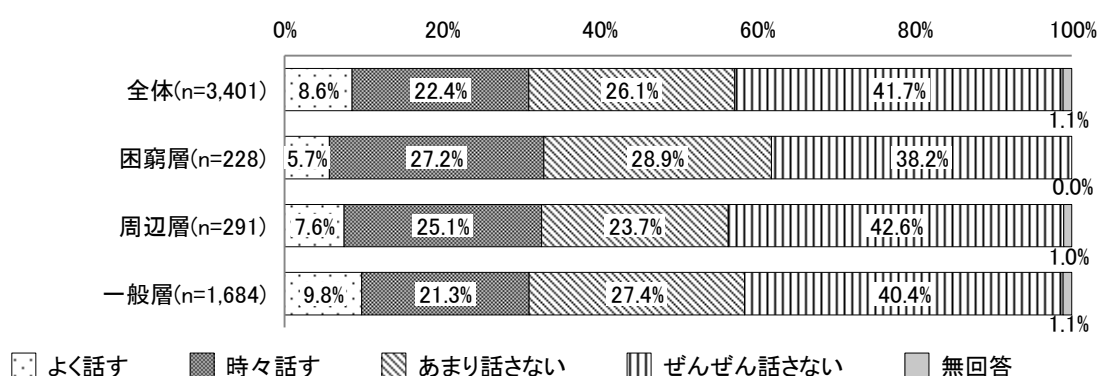
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が38.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が42.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が40.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 305 学校の先生：単数回答（Q28D）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



6) スクールカウンセラー

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が86.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が7.4%となっている。

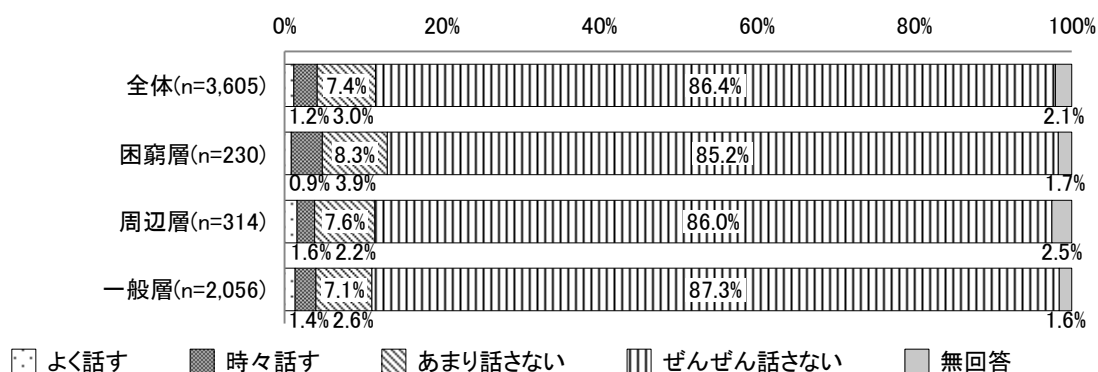
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が85.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が86.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が87.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が88.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が7.1%となっている。

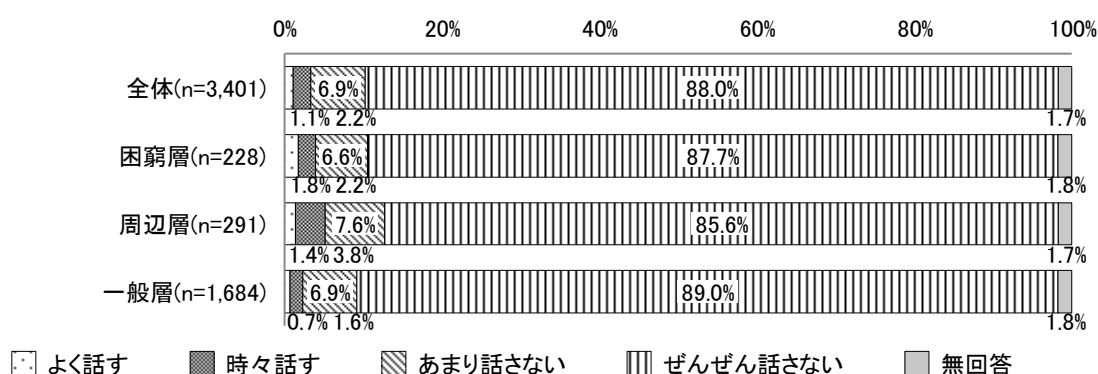
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が87.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が85.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が89.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 306 スクールカウンセラー：単数回答（Q28E）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



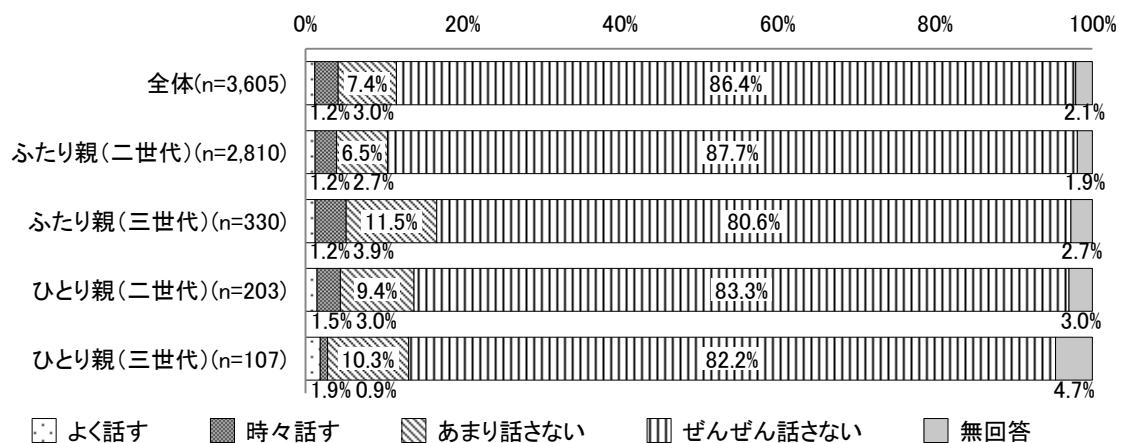
<中学生>（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ふたり親（三世代）」において「あまり話さない」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 307 スクールカウンセラー：単数回答（Q28E）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



7) スクールソーシャルワーカー

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が91.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が4.6%となっている。

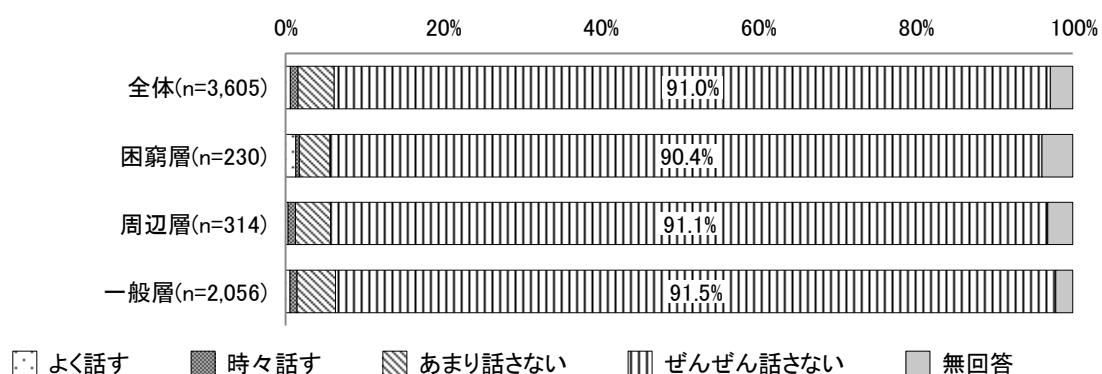
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が90.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が91.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が91.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が92.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が4.6%となっている。

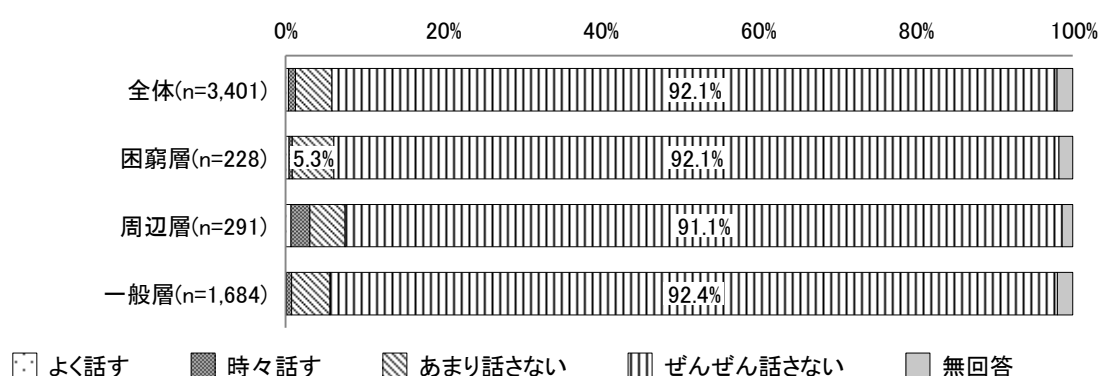
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が92.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が91.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が92.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 308 スクールソーシャルワーカー：単数回答（Q28F）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.05$ ）



<数値表：小学生>

	合計	Q28F スクールソーシャルワーカー				
		よく話す	時々話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	無回答
全体	3,605	0.6	1.0	4.6	91.0	2.9
困窮層	230	1.3	0.4	3.9	90.4	3.9
周辺層	314	0.3	1.0	4.5	91.1	3.2
一般層	2,056	0.6	0.9	4.9	91.5	2.2

<数値表：中学生>

	合計	Q28F スクールソーシャルワーカー				
		よく話す	時々話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	無回答
全体	3,401	0.4	0.9	4.6	92.1	2.0
困窮層	228	0.4	0.4	5.3	92.1	1.8
周辺層	291	0.7	2.4	4.5	91.1	1.4
一般層	1,684	0.1	0.7	4.9	92.4	2.0

8) 放課後児童クラブ、放課後子ども教室

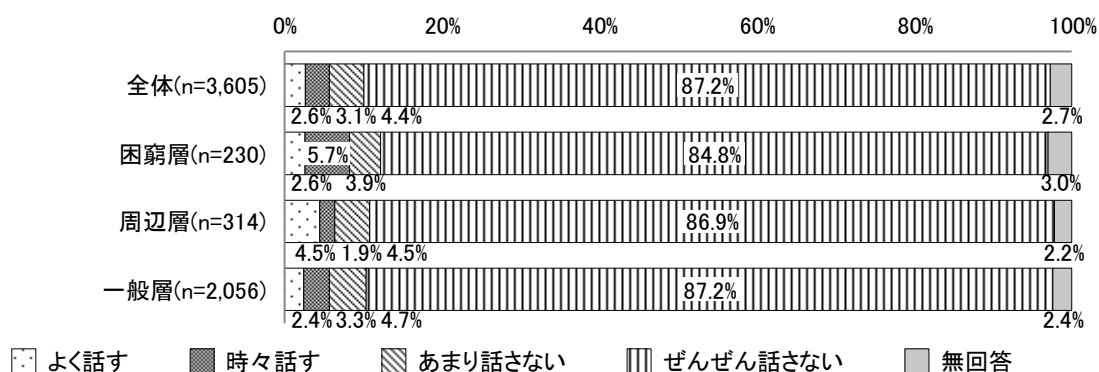
小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が87.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が4.4%となっている。

「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が84.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が86.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が87.2%でもっとも割合が高くなっている。

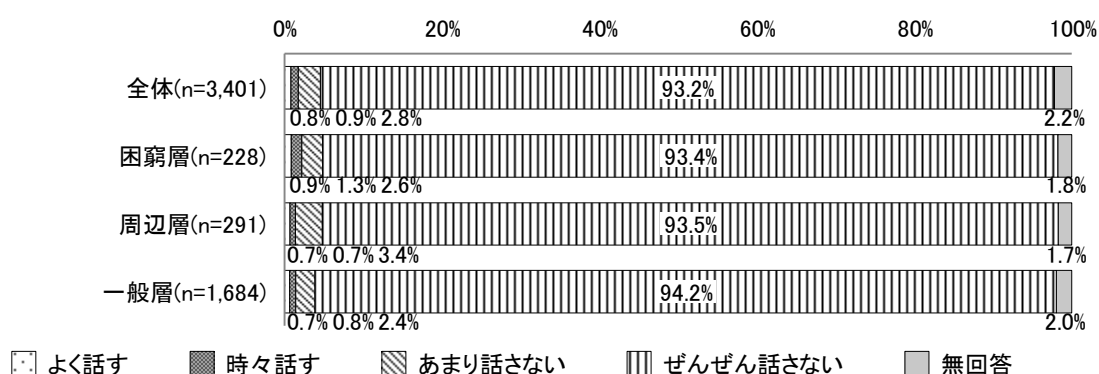
中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が93.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が4.4%となっている。

「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が93.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が93.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が94.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 309 放課後児童クラブ、放課後子ども教室：単数回答（Q28G）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）

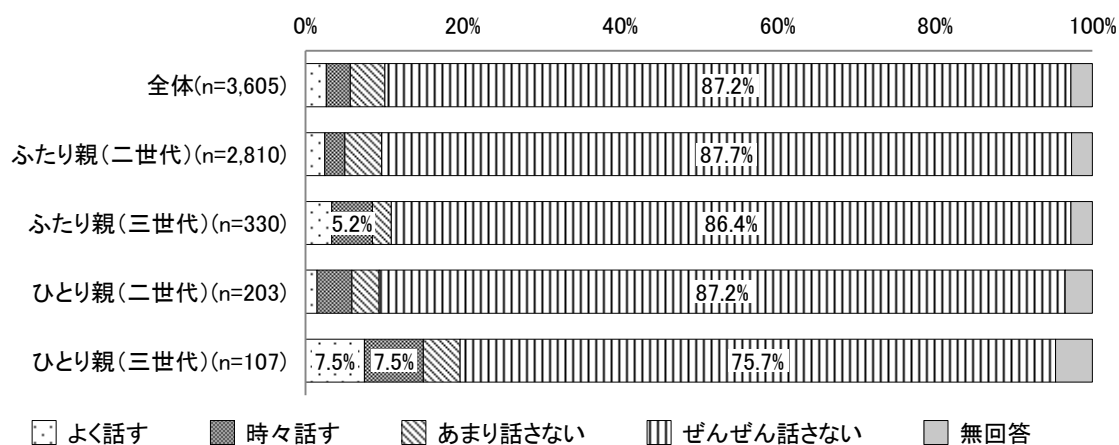


＜中学生＞（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「よく話す」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 310 放課後児童クラブ、放課後子ども教室：単数回答（Q28G）（世帯タイプ別）
＜小学生＞（ $p<.01$ ）



＜数値表：小学生＞

	合計	Q28G 放課後児童クラブ、放課後子ども教室				
		よく話す	時々話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	無回答
全体	3,605	2.6	3.1	4.4	87.2	2.7
ふたり親（二世代）	2,810	2.5	2.5	4.7	87.7	2.6
ふたり親（三世代）	330	3.3	5.2	2.4	86.4	2.7
ひとり親（二世代）	203	1.5	4.4	3.4	87.2	3.4
ひとり親（三世代）	107	7.5	7.5	4.7	75.7	4.7

9) 地域の居場所にいる人

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が92.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が3.2%となっている。

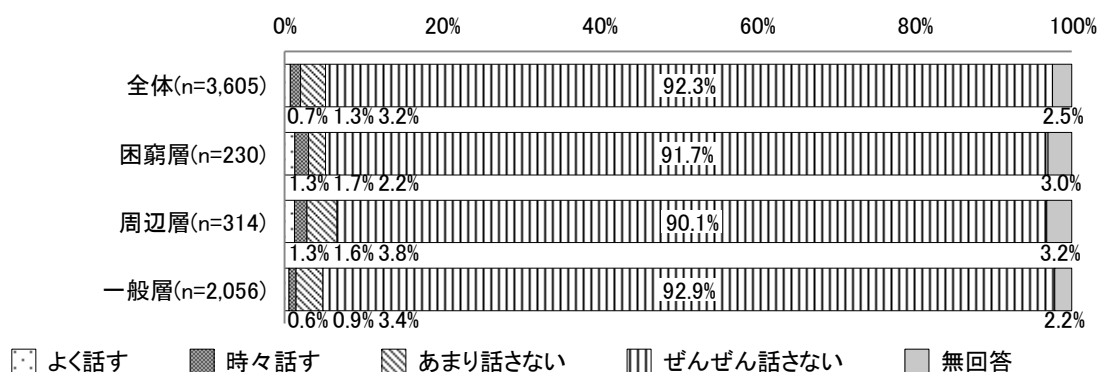
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が91.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が90.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が92.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が93.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が3.0%となっている。

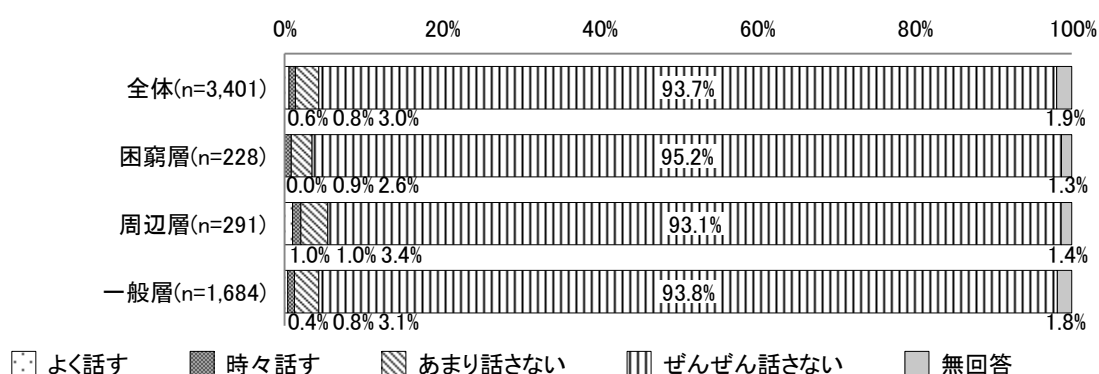
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が95.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が93.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が93.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 311 地域の居場所にいる人：単数回答（Q28H）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



10) 児童館・こども館、青少年会館の職員

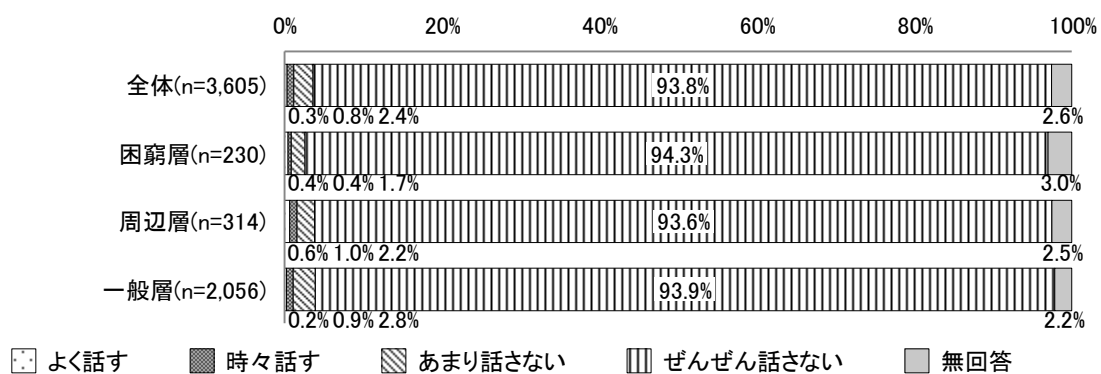
小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が93.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が2.4%となっている。

「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が94.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が93.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が93.9%でもっとも割合が高くなっている。

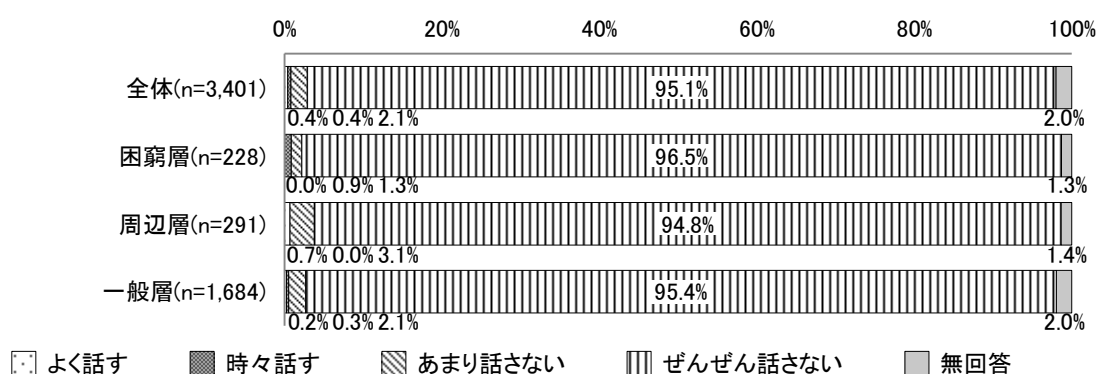
中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が95.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が2.1%となっている。

「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が96.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が94.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が95.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 312 児童館・こども館、青少年会館の職員：単数回答（Q28I）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



11) 図書館の職員

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が93.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が3.0%となっている。

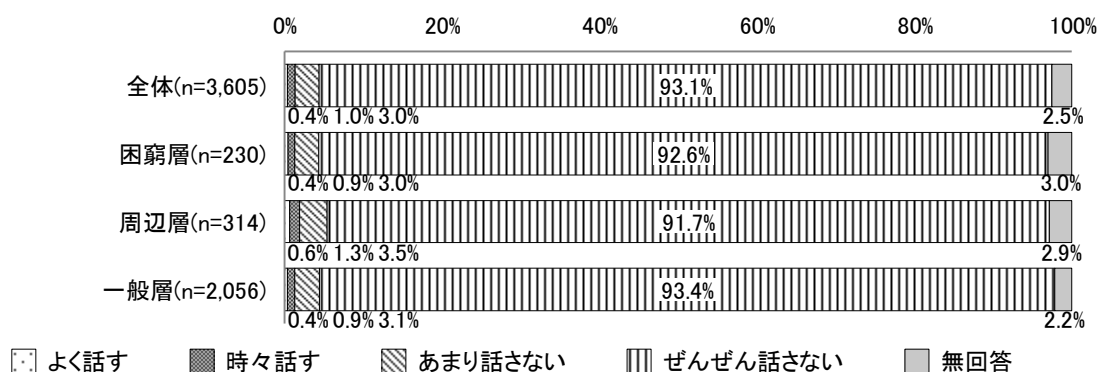
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が92.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が91.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が93.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が94.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が3.0%となっている。

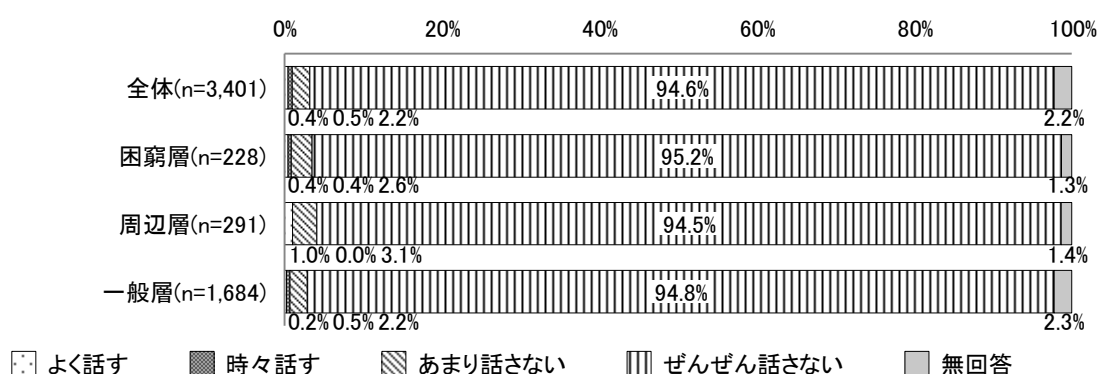
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が95.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が94.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が94.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 313 図書館の職員：単数回答（Q28J）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



12) 公民館の職員

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が93.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が2.4%となっている。

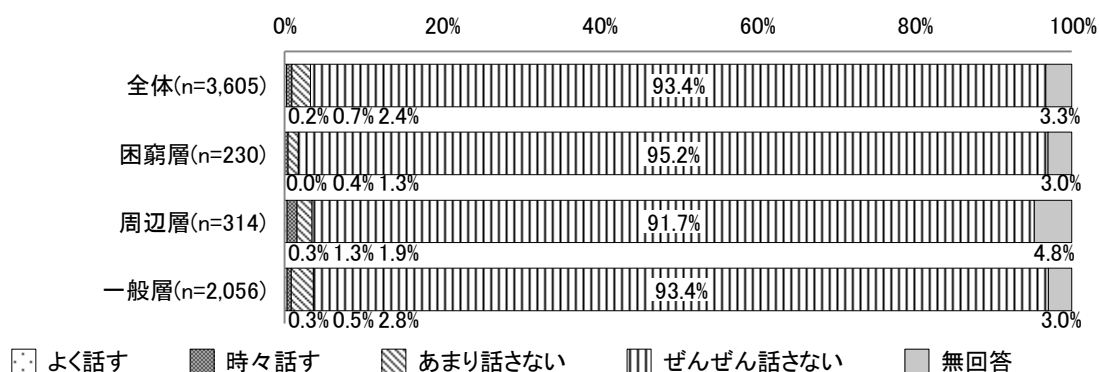
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が95.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が91.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が93.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が94.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり話さない」が2.1%となっている。

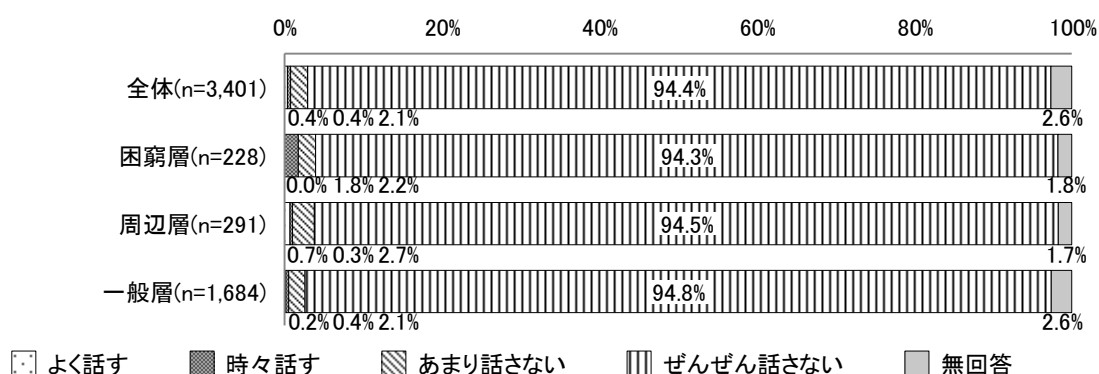
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が94.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が94.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が94.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 314 公民館の職員：単数回答（Q28K）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



13) その他の大人

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が65.8%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が14.3%となっている。

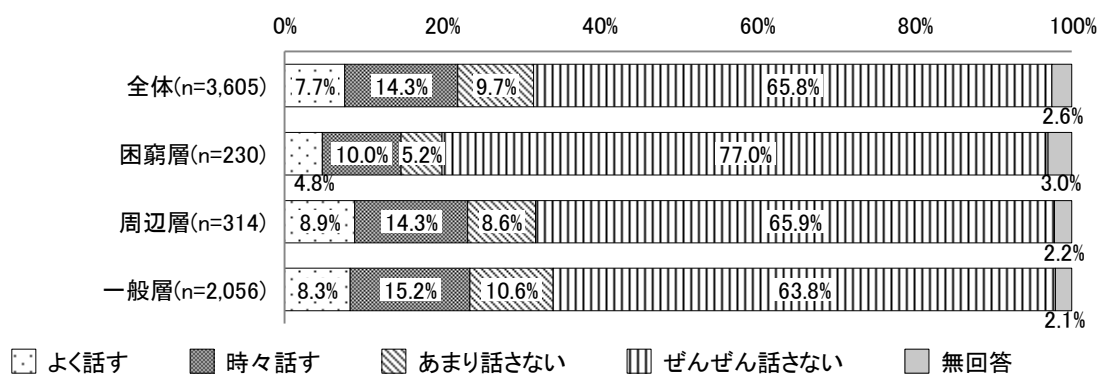
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が77.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が65.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が63.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が72.7%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が10.8%となっている。

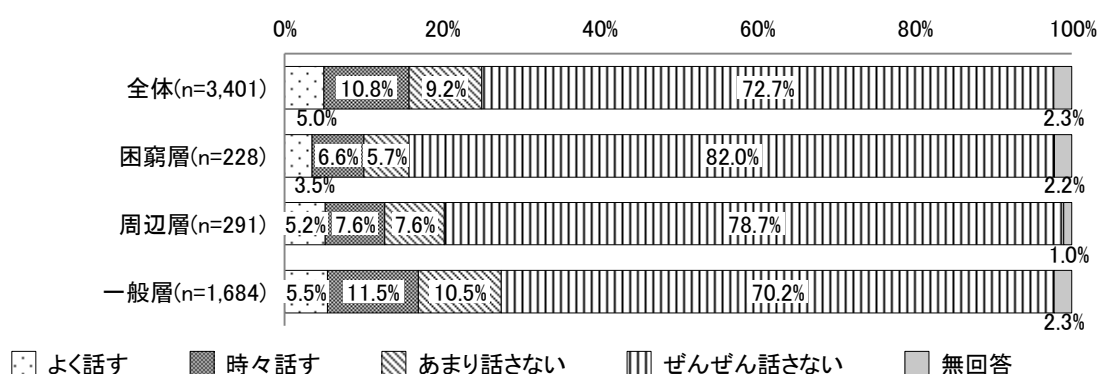
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が82.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が78.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が70.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 315 その他の大人：単数回答（Q28L）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



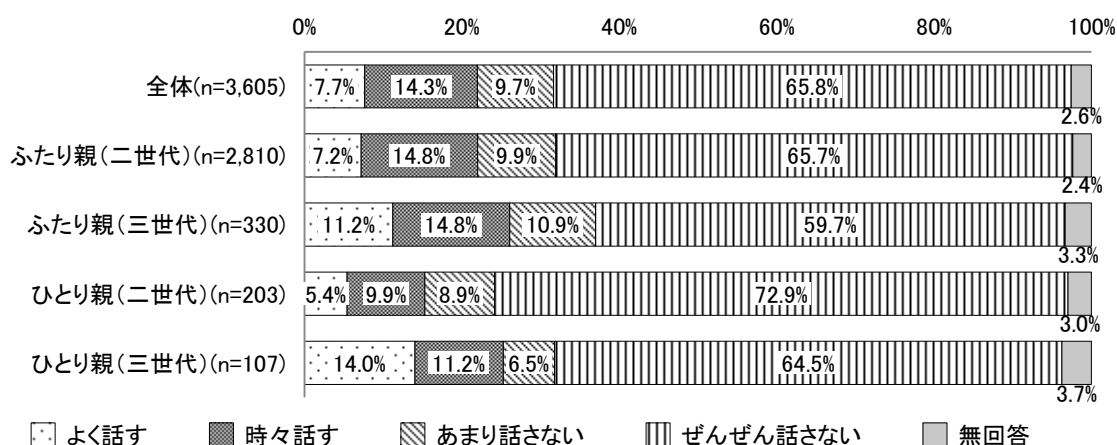
<中学生> (p<.01)



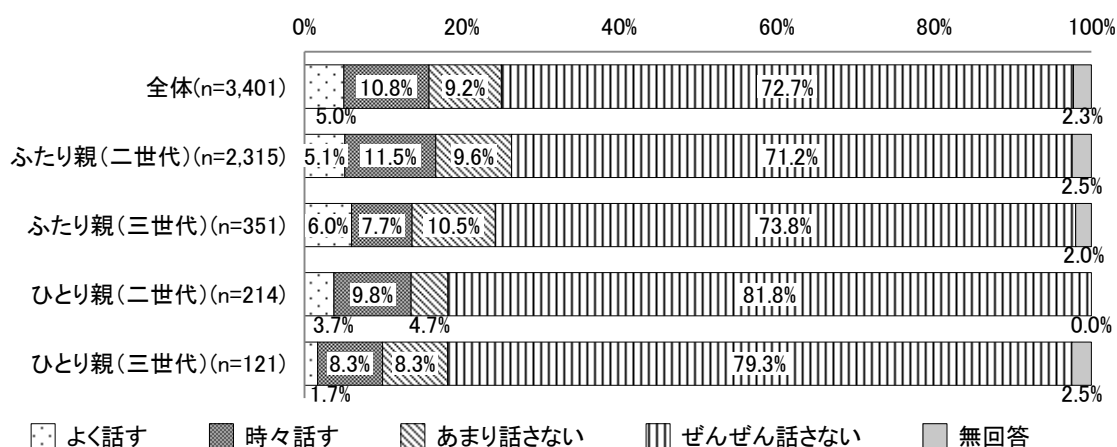
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「よく話す」とする割合が高く、「ひとり親（二世代）」において「ぜんぜん話さない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「ぜんぜん話さない」とする割合が高くなっている。

図表 316 その他の大人：単数回答（Q28L）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.05)



14) 学校の友だち

小学生の「全体」では、「よく話す」が 48.7%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が 26.3%となっている。

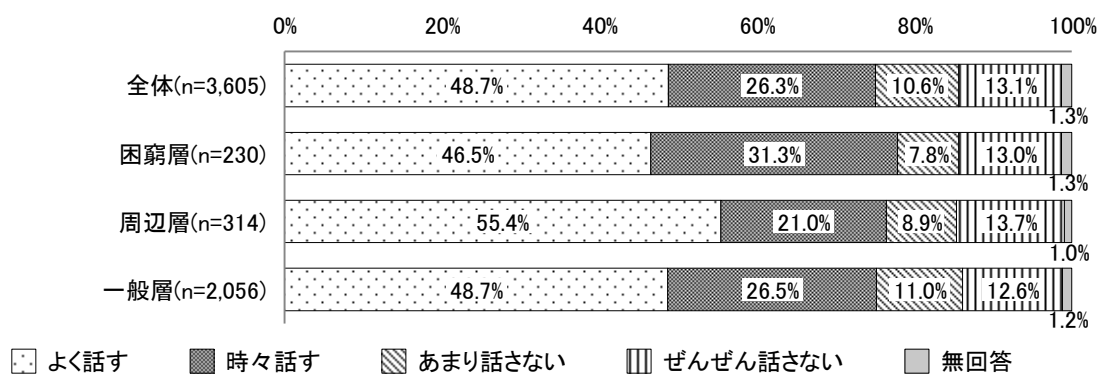
「困窮層」では、「よく話す」が 46.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「よく話す」が 55.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「よく話す」が 48.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「よく話す」が 49.0%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が 27.0%となっている。

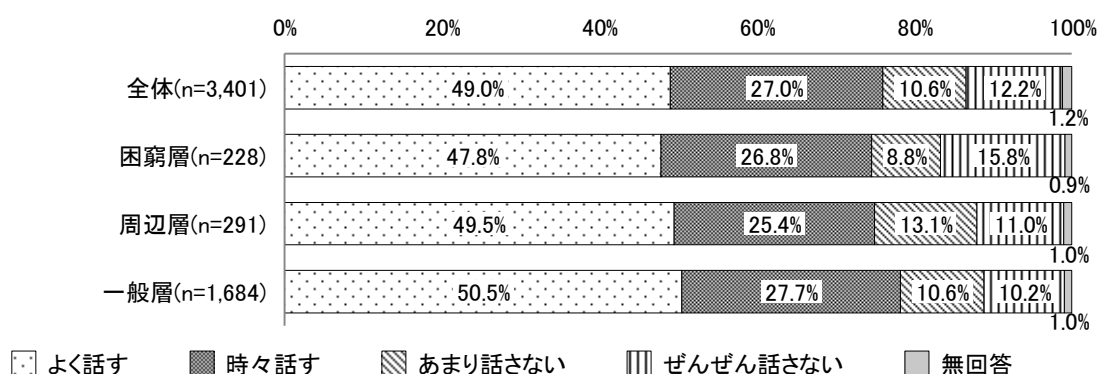
「困窮層」では、「よく話す」が 47.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「よく話す」が 49.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「よく話す」が 50.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 317 学校の友だち：単数回答（Q28M）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



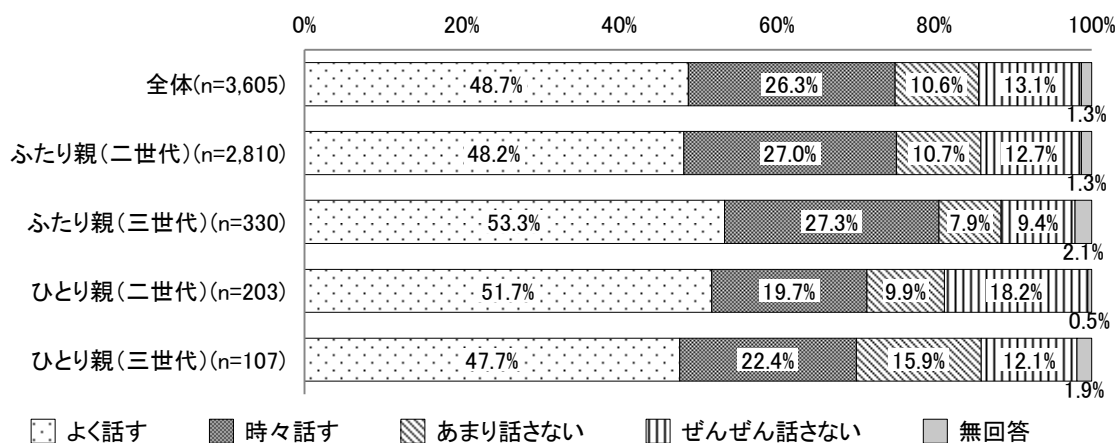
<中学生>（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「時々話す」とする割合が低く、「ぜんぜん話さない」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 318 学校の友だち：単数回答（Q28M）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



15) 学校以外の友だち

小学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が51.2%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が17.2%となっている。

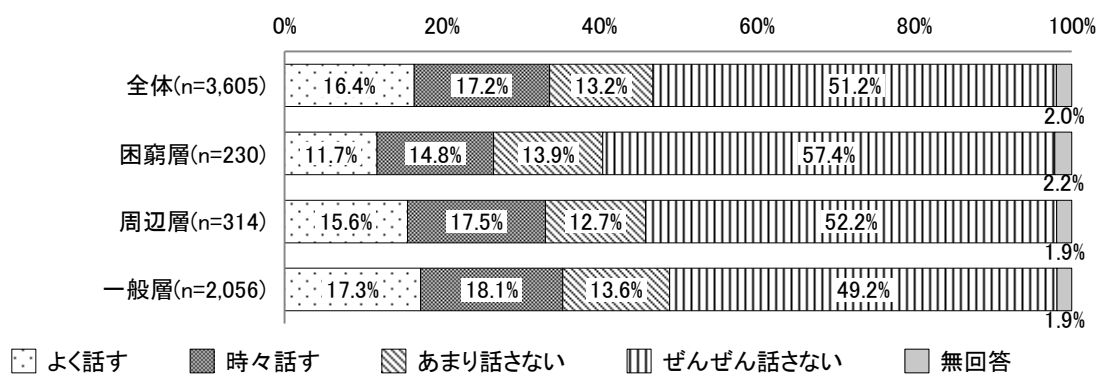
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が57.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が52.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が49.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ぜんぜん話さない」が54.9%でもっとも割合が高く、次いで「時々話す」が16.2%となっている。

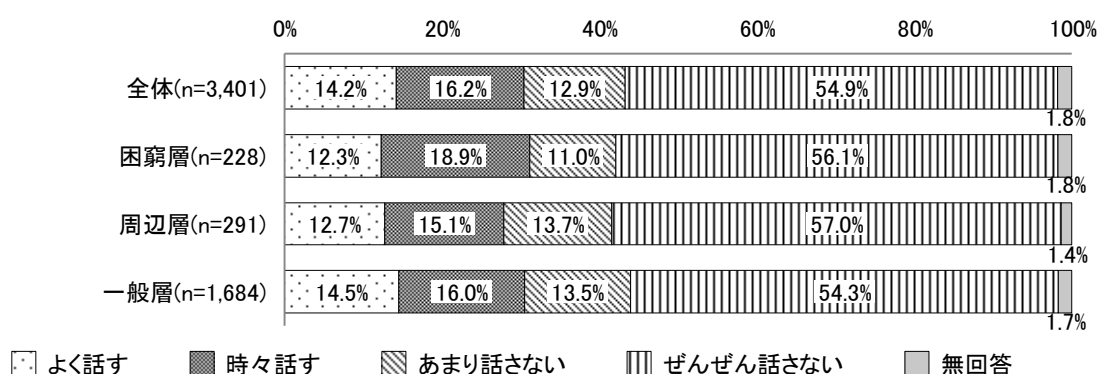
「困窮層」では、「ぜんぜん話さない」が56.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ぜんぜん話さない」が57.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ぜんぜん話さない」が54.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 319 学校以外の友だち：単数回答（Q28N）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



(7) 学校生活に関する悩み

1) 学校に行きたくないと思った

小学生の「全体」では、「時々あった」が 33.0%でもっとも割合が高く、次いで「なかった」が 25.2%となっている。

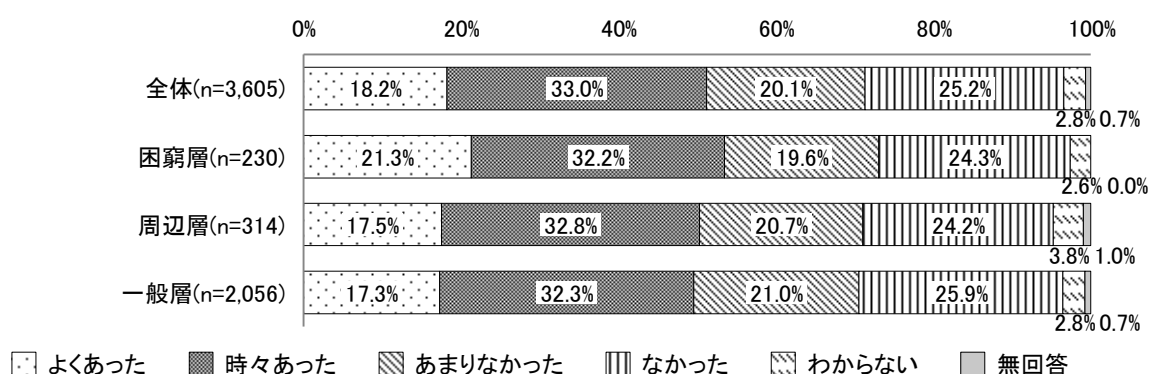
「困窮層」では、「時々あった」が 32.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「時々あった」が 32.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「時々あった」が 32.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「時々あった」が 34.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 22.1%となっている。

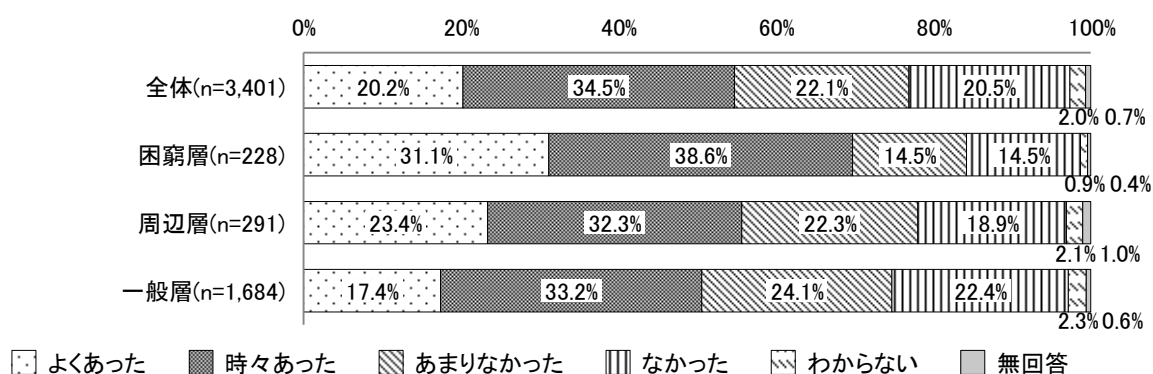
「困窮層」では、「時々あった」が 38.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「時々あった」が 32.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「時々あった」が 33.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 320 学校に行きたくないと思った：単数回答（Q29A）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）

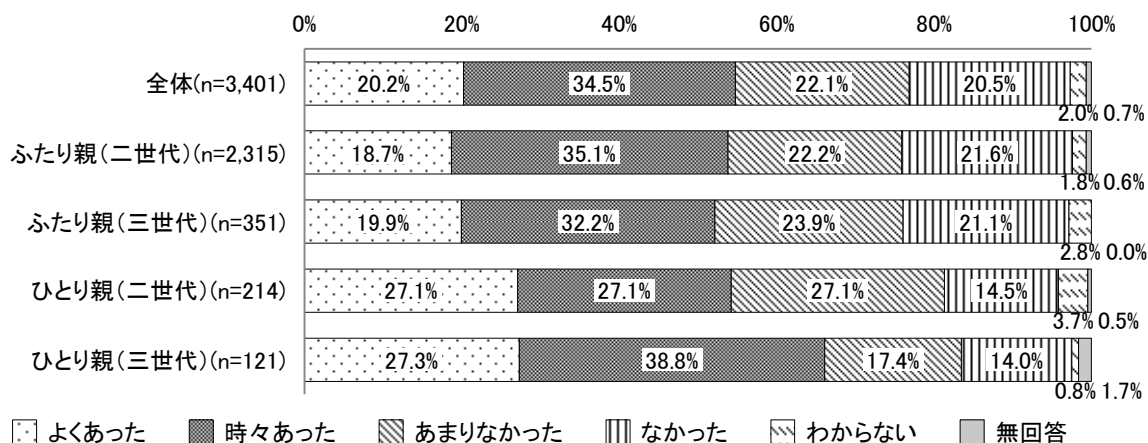


<中学生>（p<.01）



世帯タイプ別にみると、小学生では、有意な差がみられなかった。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「よくあった」とする割合が高くなっている。

図表 321 学校に行きたくないと思った：単数回答（Q29A）（世帯タイプ別）
＜中学生＞（ $p<.01$ ）



2) 1か月以上学校を休んだ

小学生の「全体」では、「なかった」が91.5%でもっとも割合が高く、次いで「わからない」が3.3%となっている。

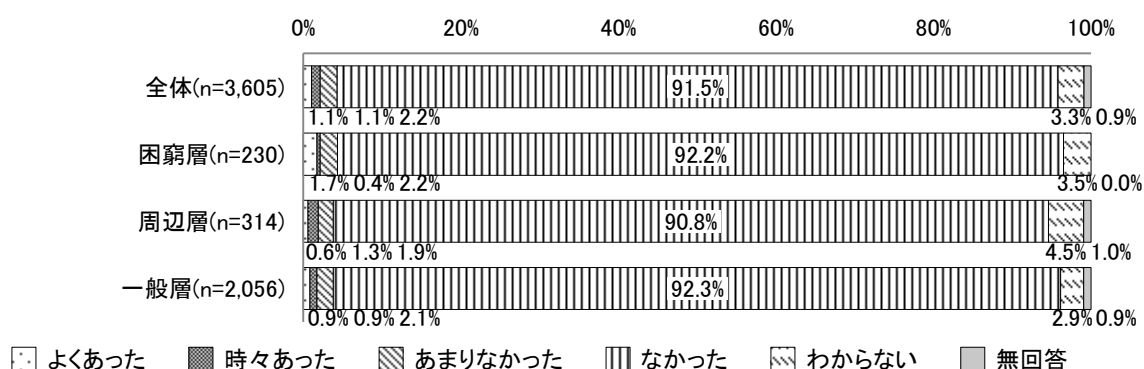
「困窮層」では、「なかった」が92.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が90.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が92.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「なかった」が89.9%でもっとも割合が高く、次いで「よくあった」が3.0%となっている。

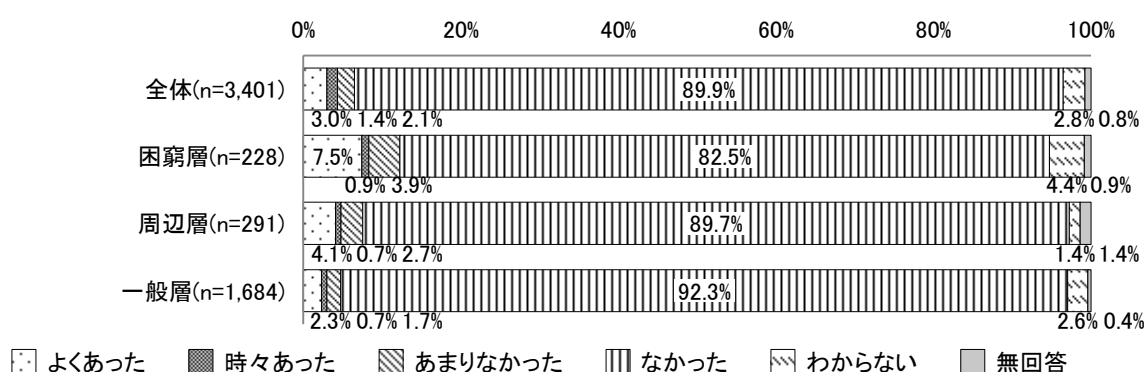
「困窮層」では、「なかった」が82.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が89.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が92.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 322 1か月以上学校を休んだ：単数回答（Q29B）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



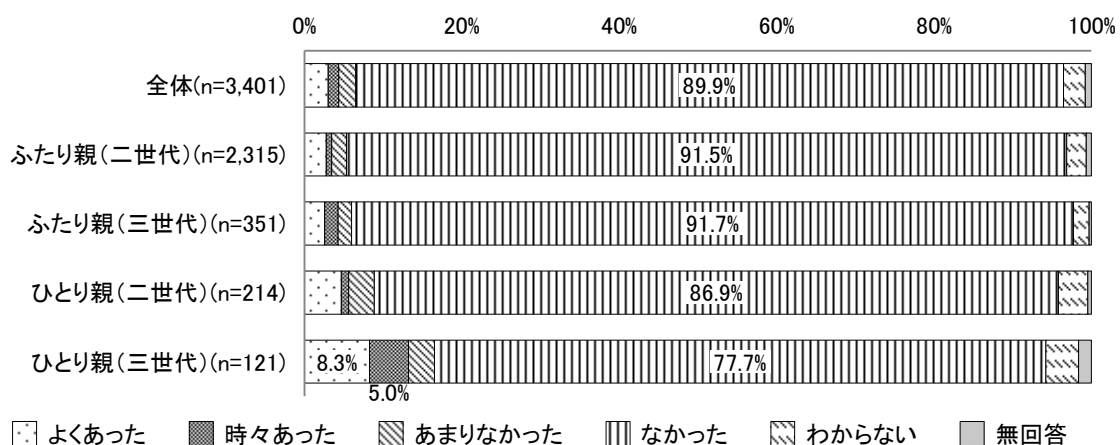
<中学生>（p<.01）



世帯タイプ別にみると、小学生では、有意な差がみられなかった。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「よくあった」とする割合が低くなっている。

図表 323 1か月以上学校を休んだ：単数回答（Q29B）（世帯タイプ別）

<中学生> (p<.01)



<数値表：中学生>

	合計	Q29B 1か月以上学校を休んだ					
		よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	わからない	無回答
全体	3,401	3.0	1.4	2.1	89.9	2.8	0.8
ふたり親（二世代）	2,315	2.8	0.7	1.9	91.5	2.5	0.6
ふたり親（三世代）	351	2.6	1.7	1.7	91.7	2.0	0.3
ひとり親（二世代）	214	4.7	0.9	3.3	86.9	3.7	0.5
ひとり親（三世代）	121	8.3	5.0	3.3	77.7	4.1	1.7

3) いじめられた

小学生の「全体」では、「なかった」が 59.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 15.1%となっている。

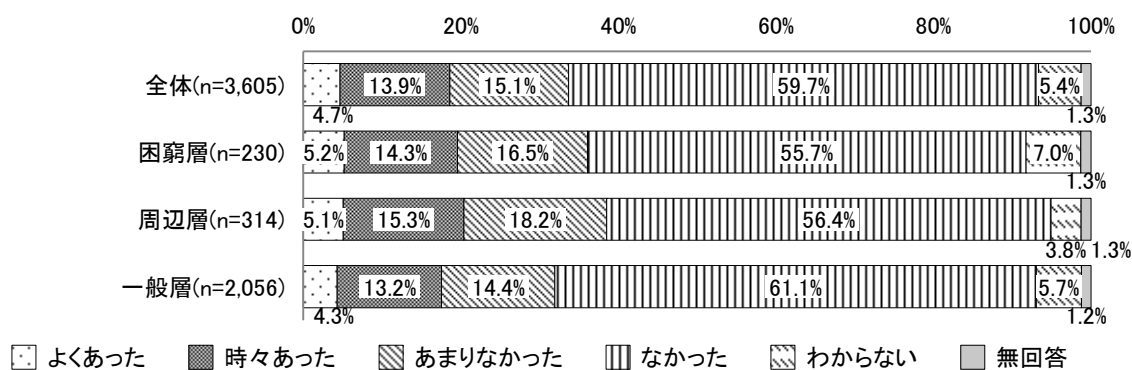
「困窮層」では、「なかった」が 55.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が 56.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が 61.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「なかった」が 71.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 10.2%となっている。

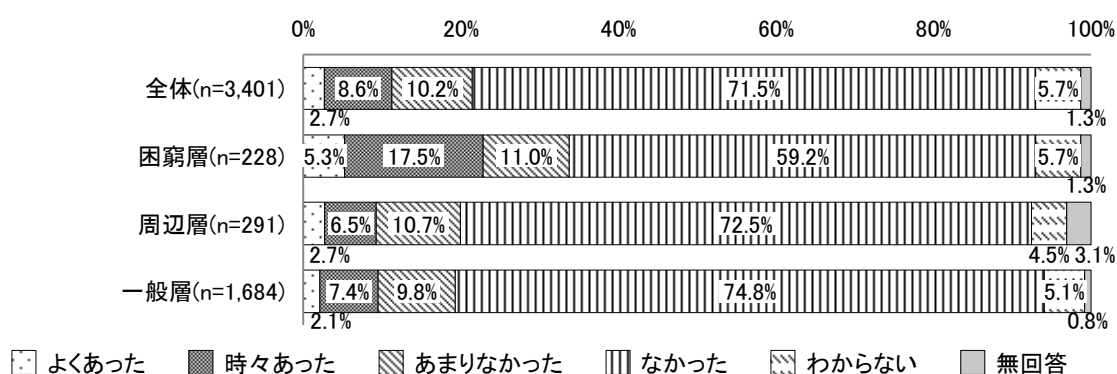
「困窮層」では、「なかった」が 59.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が 72.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が 74.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 324 いじめられた：単数回答（Q29C）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



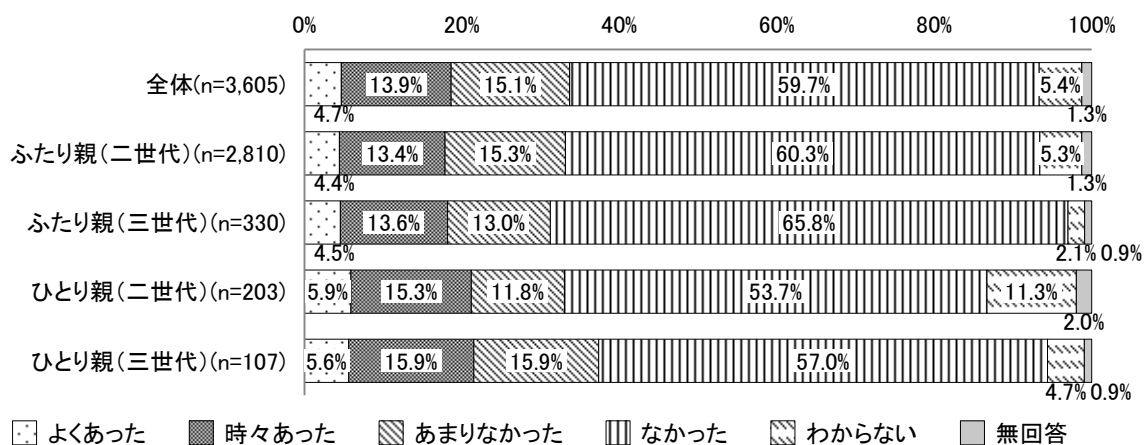
<中学生>（ $p<.01$ ）



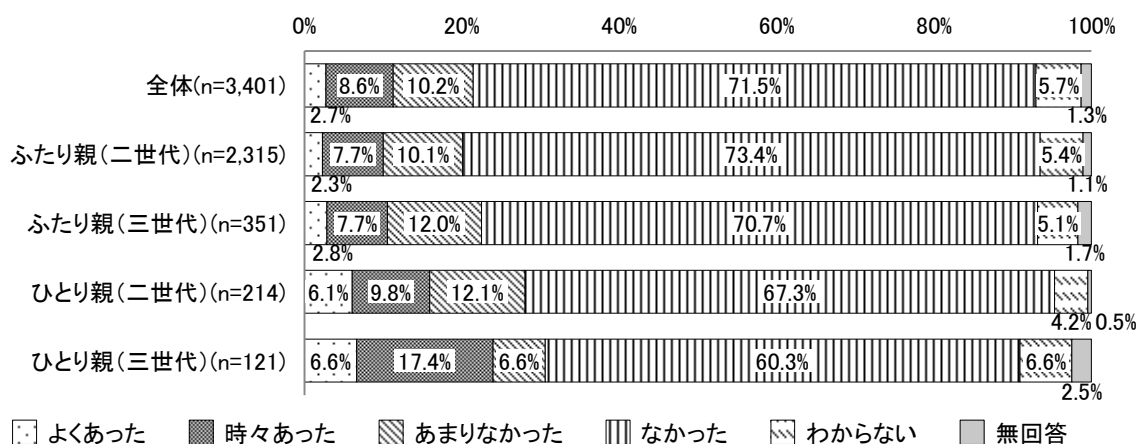
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「わからない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世帯）」において「時々あった」とする割合が高くなっている。

図表 325 いじめられた：単数回答（Q29C）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



4) 夜遅くまでこどもだけで過ごした

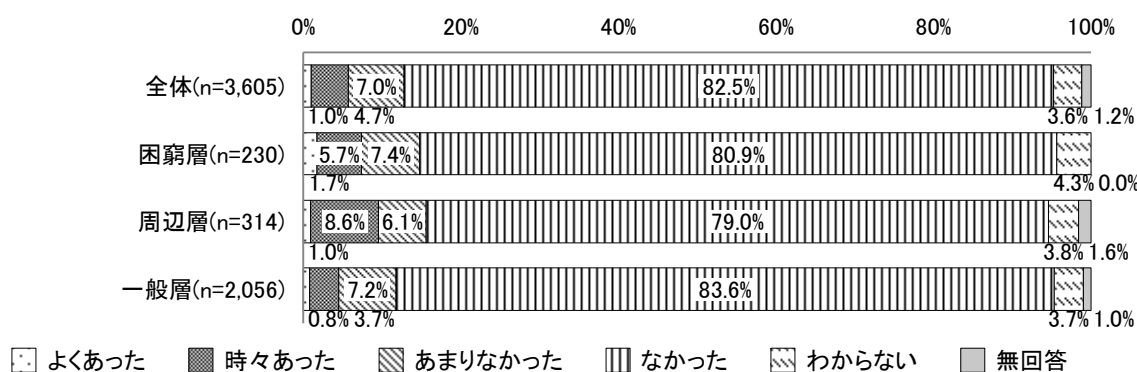
小学生の「全体」では、「なかった」が82.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が7.0%となっている。

「困窮層」では、「なかった」が80.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が79.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が83.6%でもっとも割合が高くなっている。

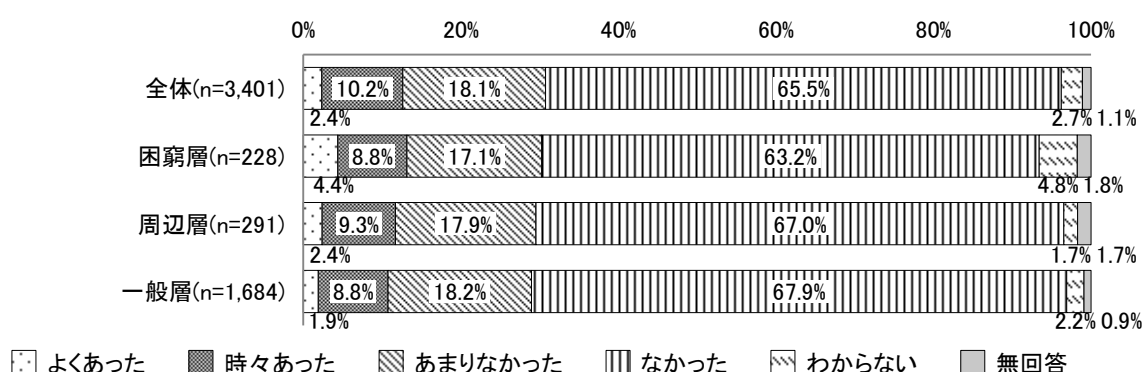
中学生の「全体」では、「なかった」が65.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が18.1%となっている。

「困窮層」では、「なかった」が63.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が67.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が67.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 326 夜遅くまでこどもだけで過ごした：単数回答（Q29D）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）

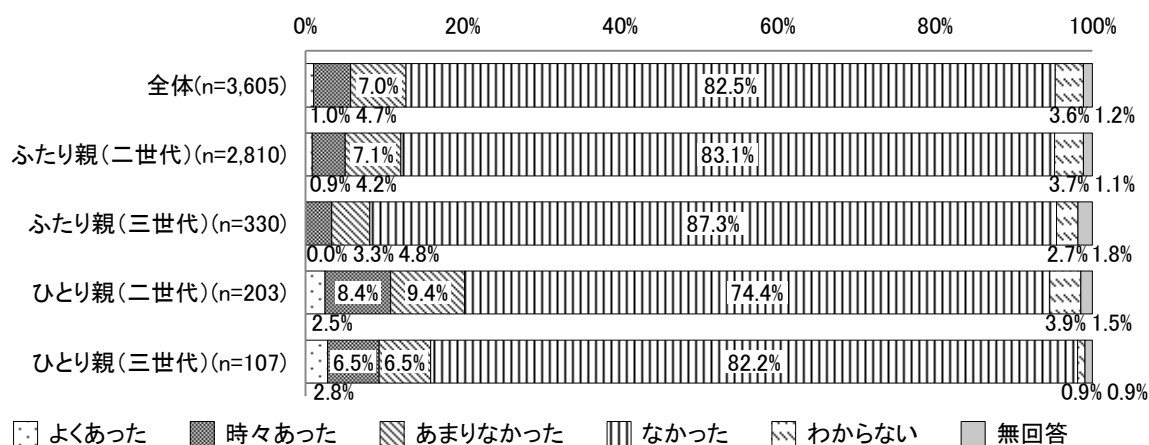


＜中学生＞（有意差なし）



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「時々あった」とする割合が高くなっている。中学生では、有意な差がみられなかった。

図表 327 夜遅くまで子どもだけで過ごした：単数回答（Q29D）（世帯タイプ別）
 <小学生>（ $p<.01$ ）



5) 学校に遅刻した

小学生の「全体」では、「なかった」が 62.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 17.7%となっている。

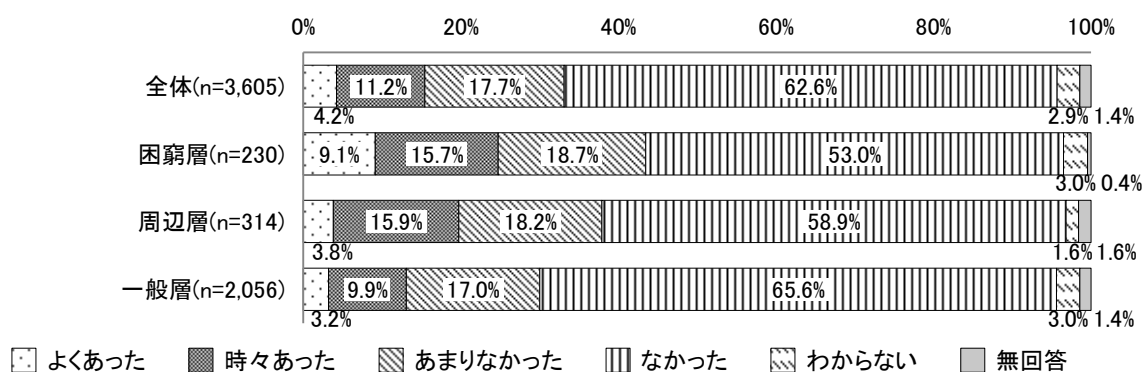
「困窮層」では、「なかった」が 53.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が 58.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が 65.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「なかった」が 58.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 20.8%となっている。

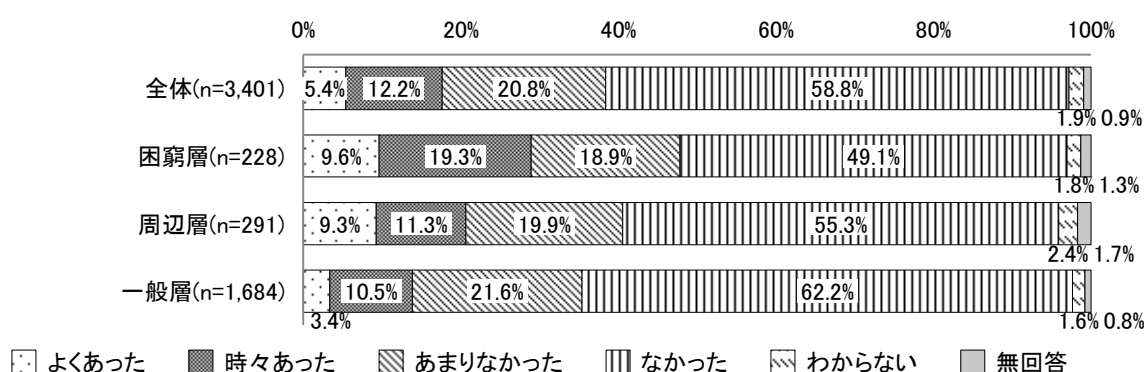
「困窮層」では、「なかった」が 49.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が 55.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が 62.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 328 学校に遅刻した：単数回答（Q29E）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



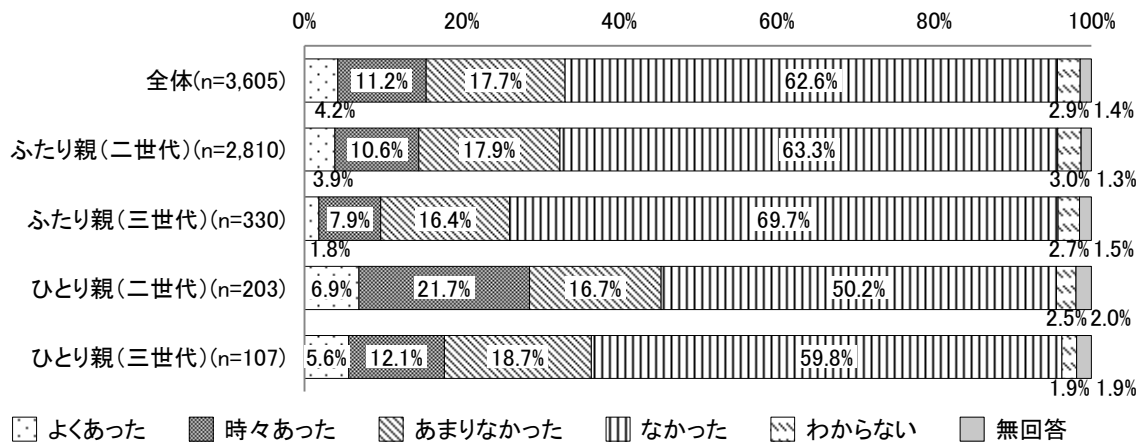
<中学生> (p<.01)



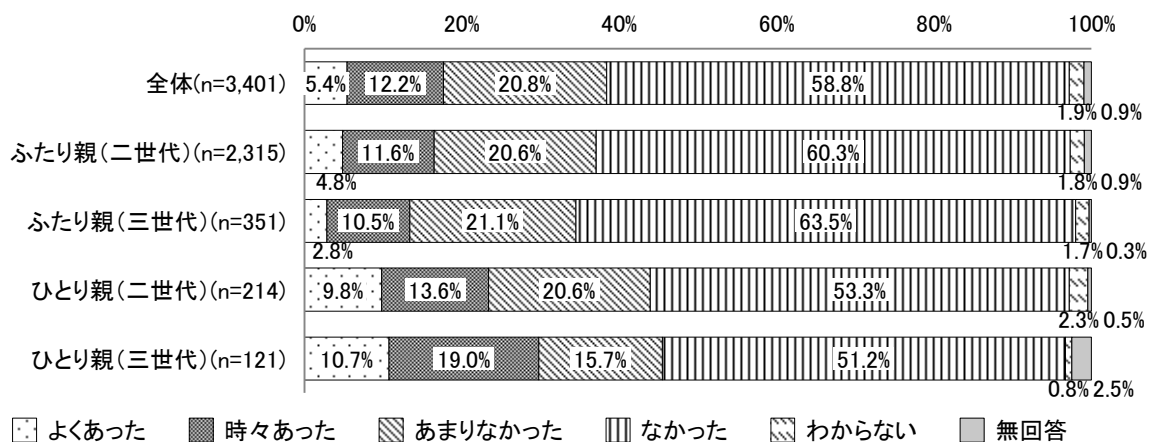
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「時々あった」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世帯）」において「時々あった」とする割合が高くなっている。

図表 329 学校に遅刻した：単数回答（Q29E）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



6) 家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかった

小学生の「全体」では、「なかった」が 80.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 8.4%となっている。

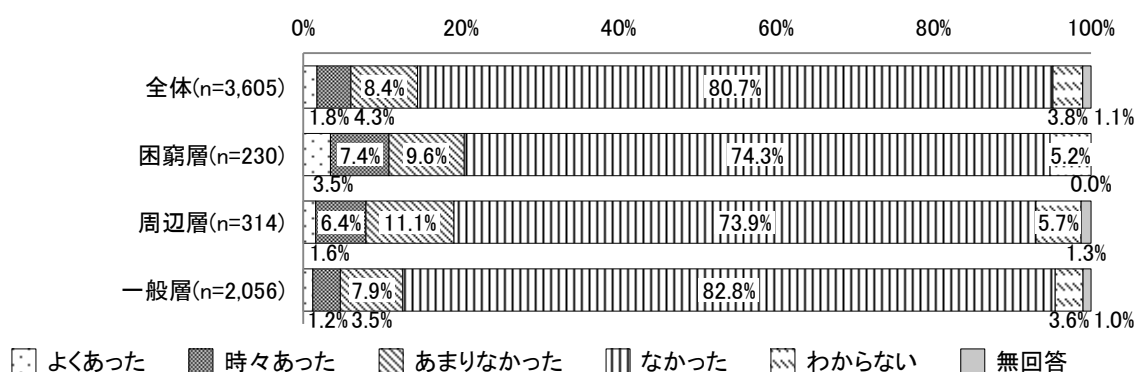
「困窮層」では、「なかった」が 74.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が 73.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が 82.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「なかった」が 80.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が 10.4%となっている。

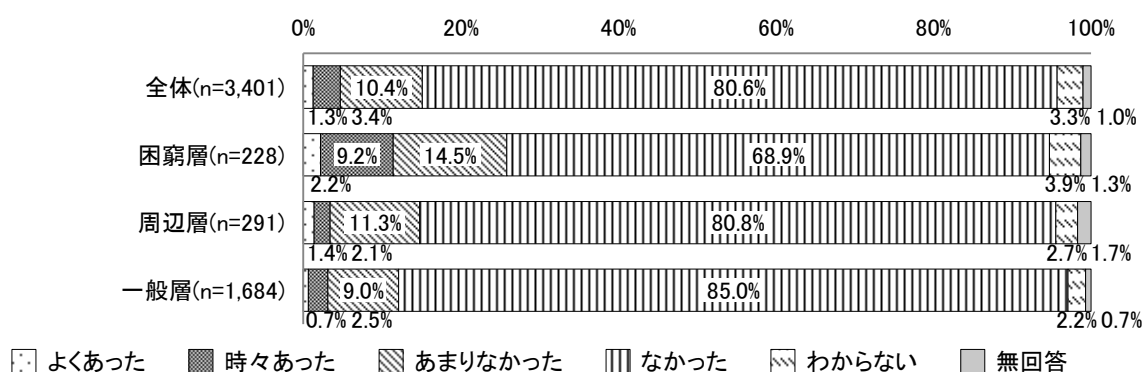
「困窮層」では、「なかった」が 68.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が 80.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が 85.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 330 家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかった：単数回答（Q29F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



7) 家事や家族の世話で遊ぶ時間がとれなかった

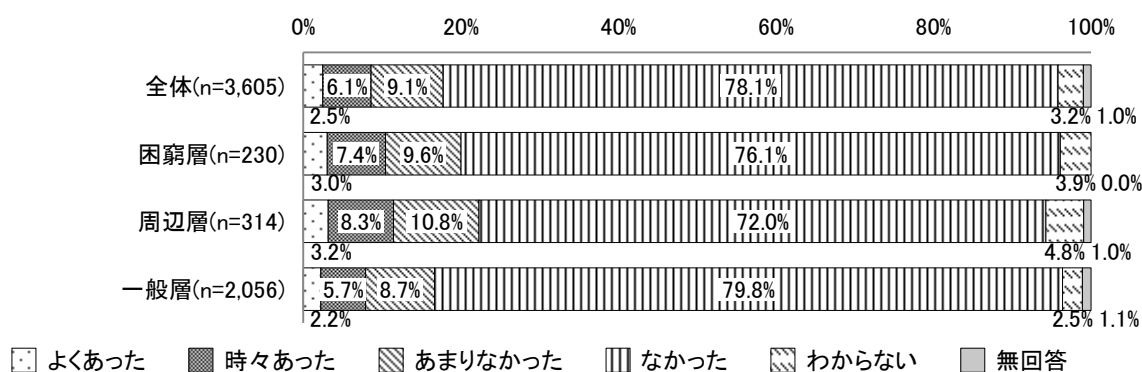
小学生の「全体」では、「なかった」が78.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が9.1%となっている。

「困窮層」では、「なかった」が76.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が72.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が79.8%でもっとも割合が高くなっている。

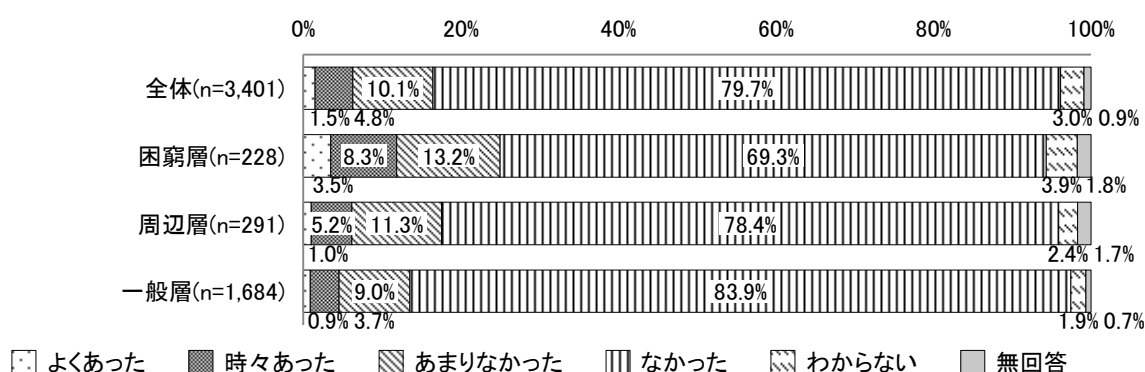
中学生の「全体」では、「なかった」が79.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が10.1%となっている。

「困窮層」では、「なかった」が69.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が78.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が83.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 331 家事や家族の世話で遊ぶ時間がとれなかった：単数回答（Q29G）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（p<.01）



8) 学校に持っていかなければならない持ち物を用意できなかった

小学生の「全体」では、「なかった」が45.9%でもっとも割合が高く、次いで「時々あった」が24.8%となっている。

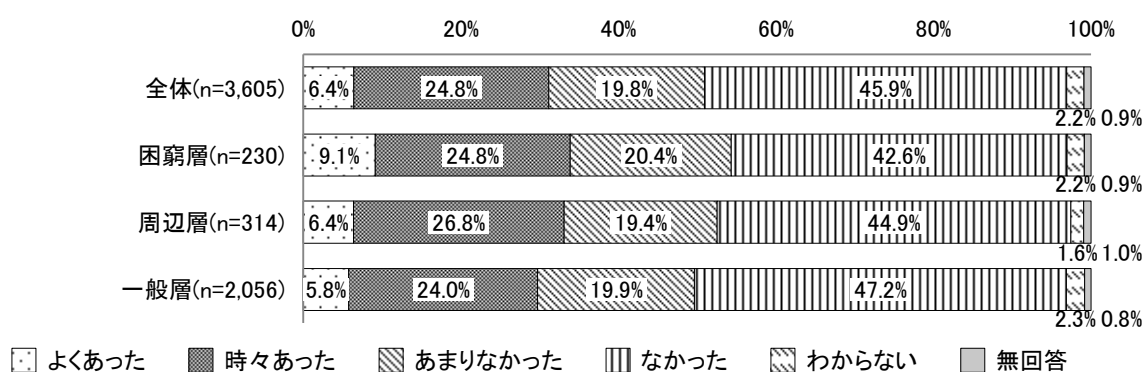
「困窮層」では、「なかった」が42.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が44.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が47.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「なかった」が50.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまりなかった」が21.7%となっている。

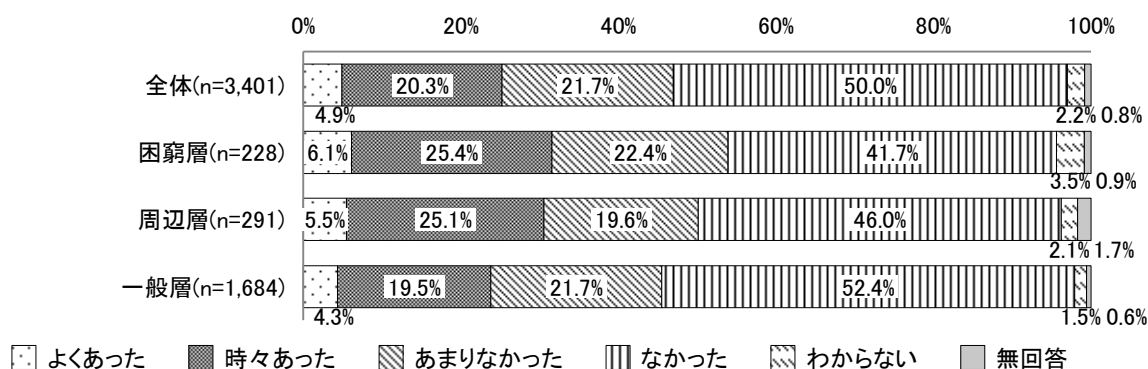
「困窮層」では、「なかった」が41.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「なかった」が46.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「なかった」が52.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 332 学校に持っていかなければならない持ち物を用意できなかった：単数回答（Q29H）
（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



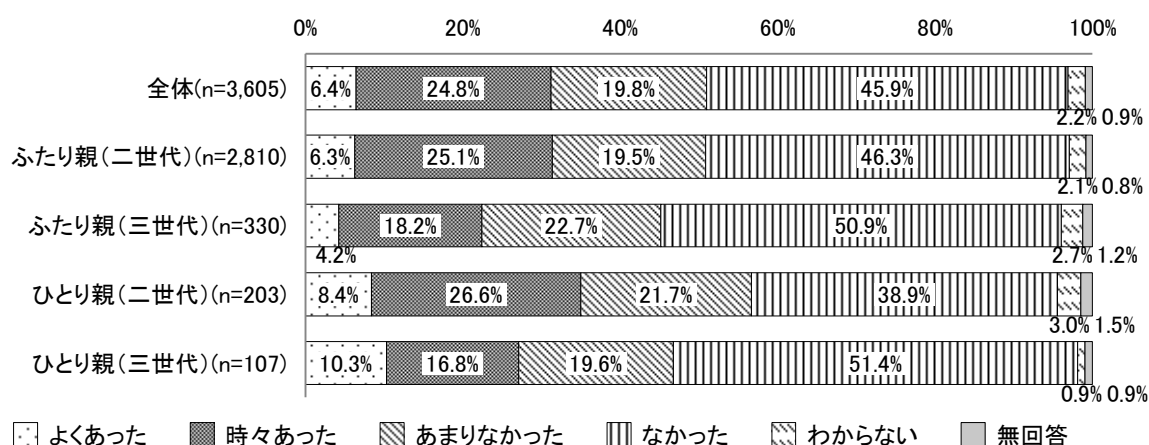
<中学生>（p<.05）



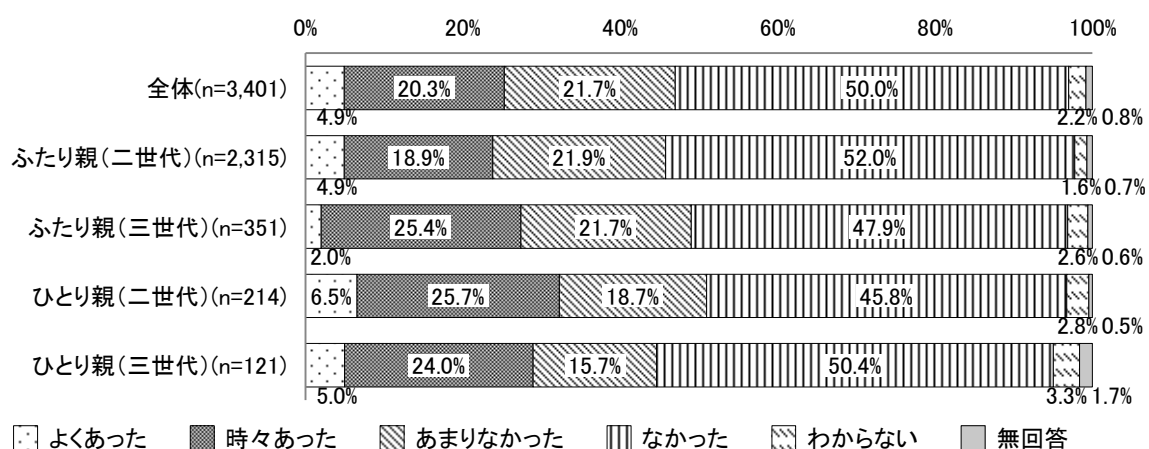
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ふたり親（三世代）」「ひとり親（三世代）」において「なかった」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「なかった」とする割合が低くなっている。

図表 333 学校に持っていかなければならない持ち物を用意できなかった：単数回答（Q29H）
（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)



(8) 健康状態について

1) 自分の健康状態

小学生の「全体」では、「よい」が 50.8%でもっとも割合が高く、次いで「ふつう」が 21.5%となっている。

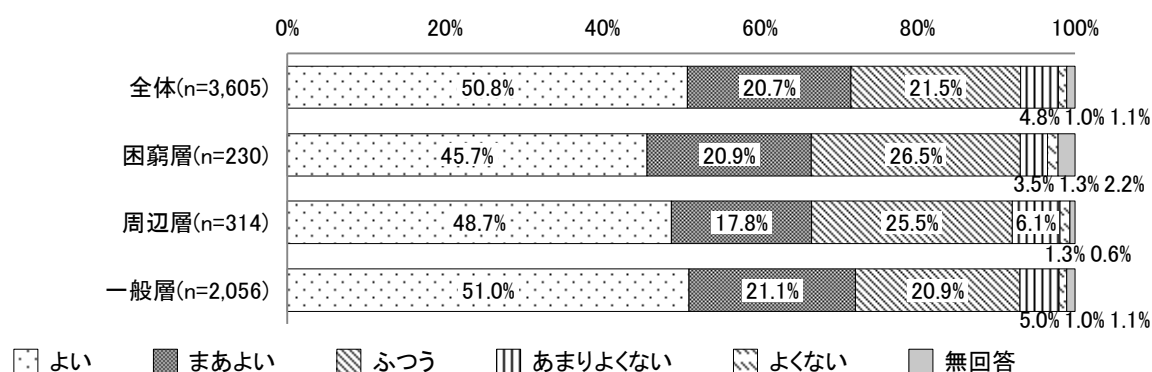
「困窮層」では、「よい」が 45.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「よい」が 48.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「よい」が 51.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「よい」が 41.2%でもっとも割合が高く、次いで「ふつう」が 25.8%となっている。

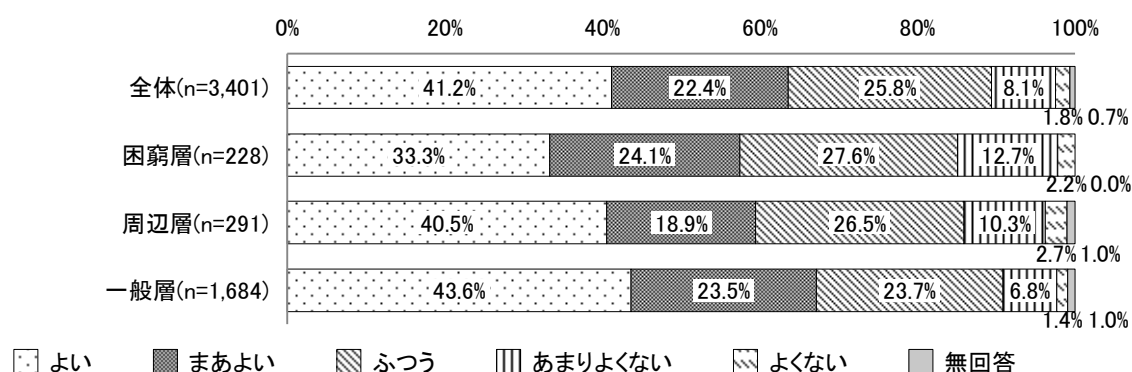
「困窮層」では、「よい」が 33.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「よい」が 40.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「よい」が 43.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 334 自分の健康状態：単数回答（Q30）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



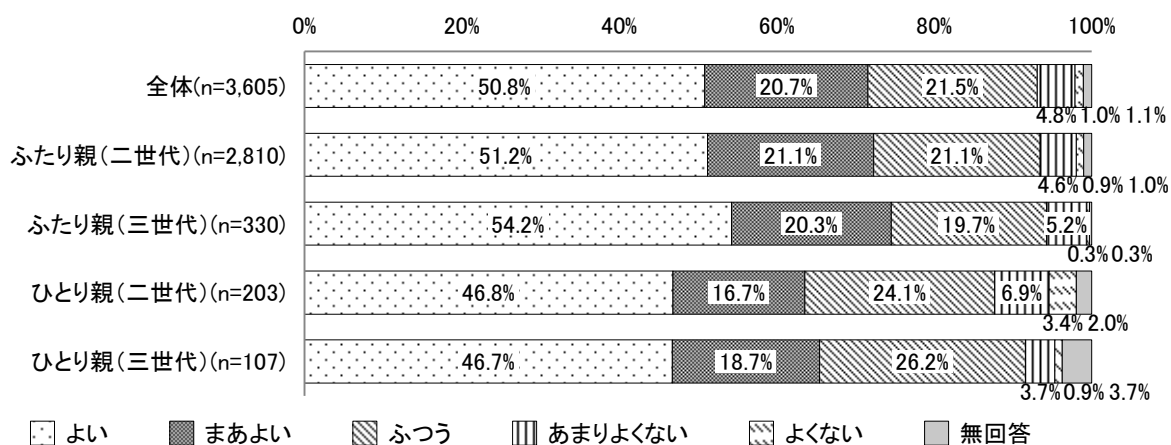
<中学生> (p<.01)



世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「よい」とする割合が低くなっている。中学生では、有意な差はみられなかった。

図表 335 自分の健康状態：単数回答（Q30）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



2) 自分の体で気になること

小学生の「全体」では、「とくに気になることはない」が42.8%でもっとも割合が高く、次いで「よくかゆくなる」が22.3%となっている。

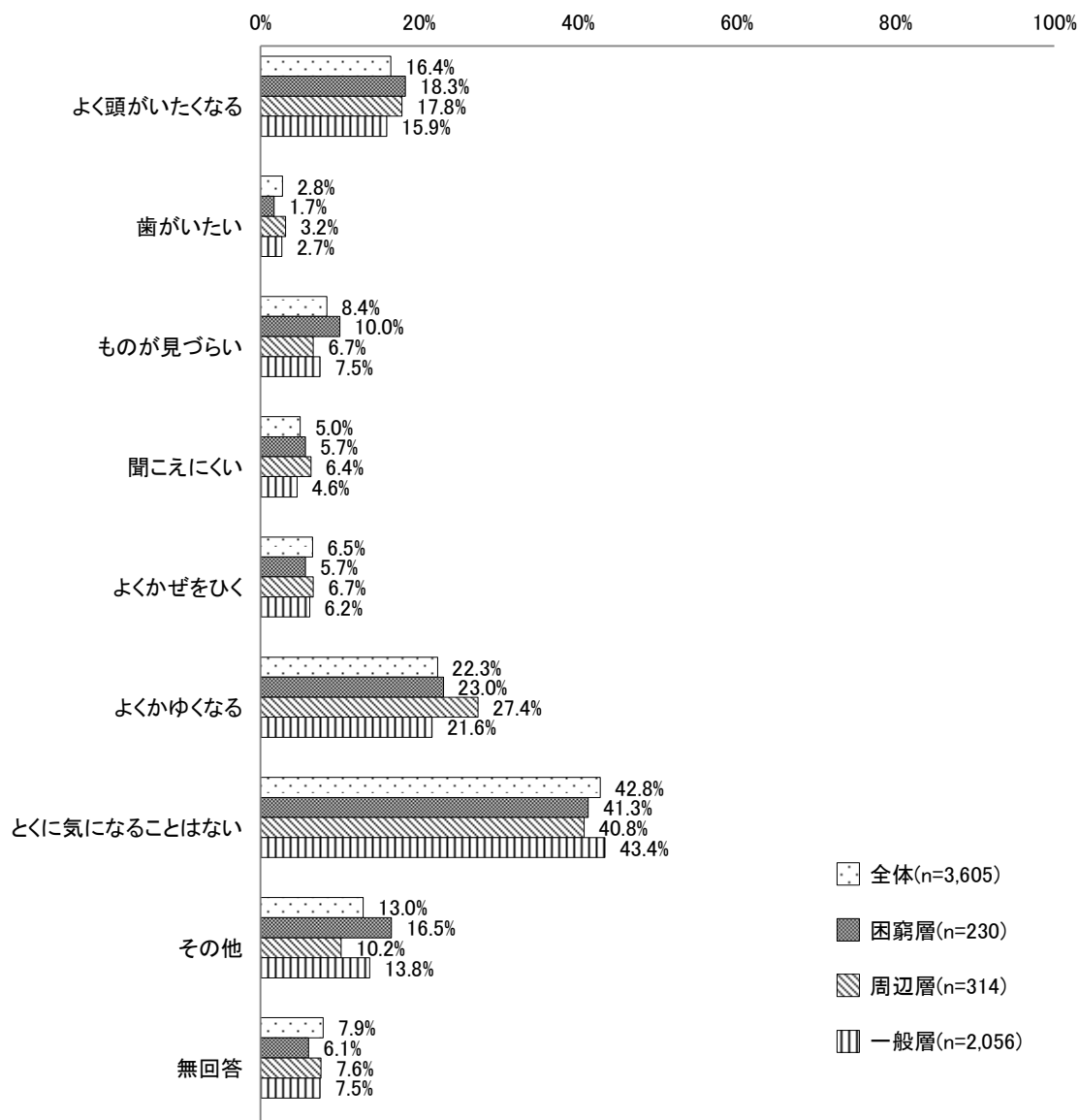
「困窮層」では、「とくに気になることはない」が41.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とくに気になることはない」が40.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とくに気になることはない」が43.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「とくに気になることはない」が42.3%でもっとも割合が高く、次いで「よく頭がいたくなる」が24.0%となっている。

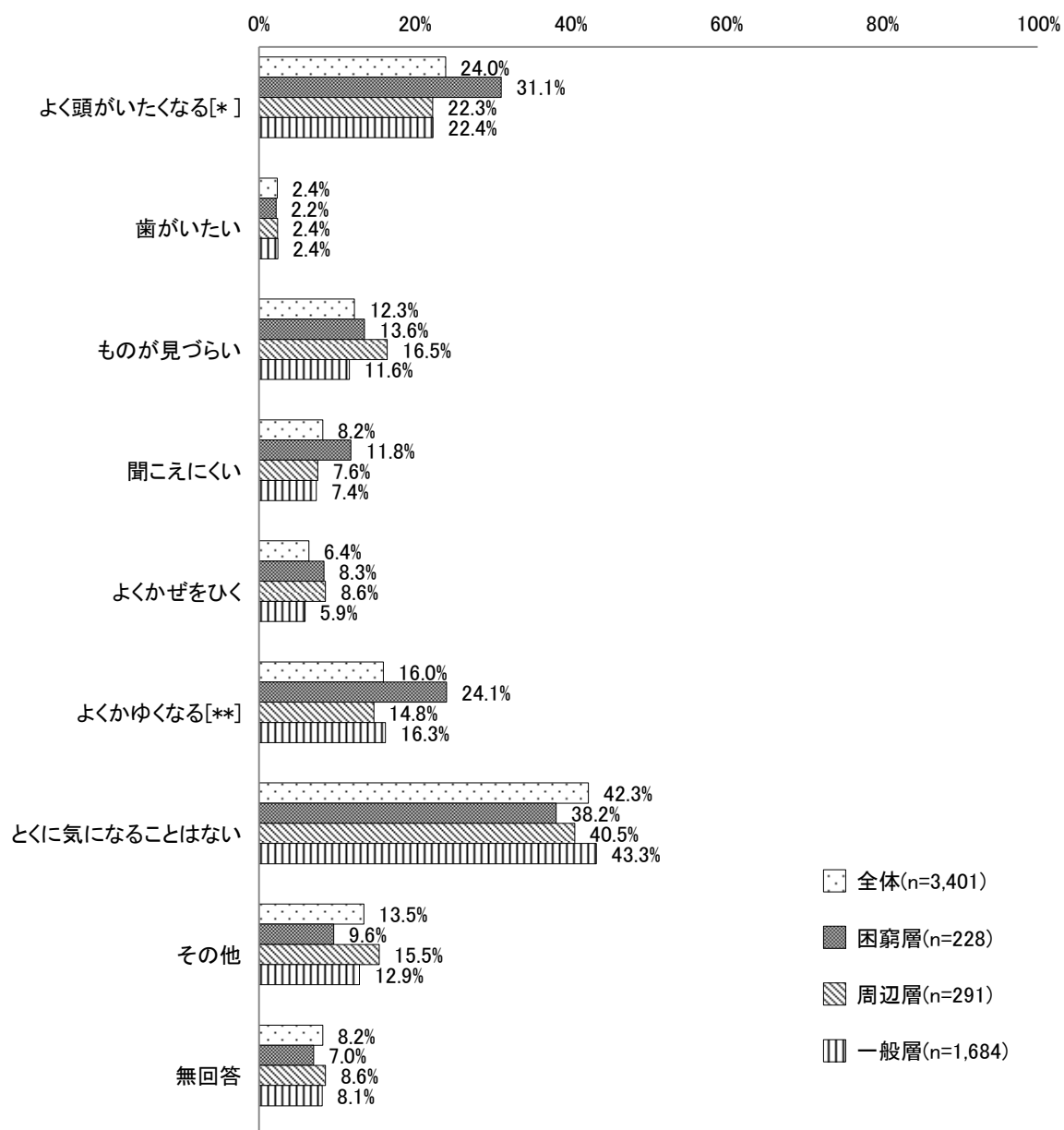
「困窮層」では、「とくに気になることはない」が38.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「とくに気になることはない」が40.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「とくに気になることはない」が43.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 336 自分の体で気になること：複数回答（Q31）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



< 中学生 >



3) 楽しみにしていることがたくさんある

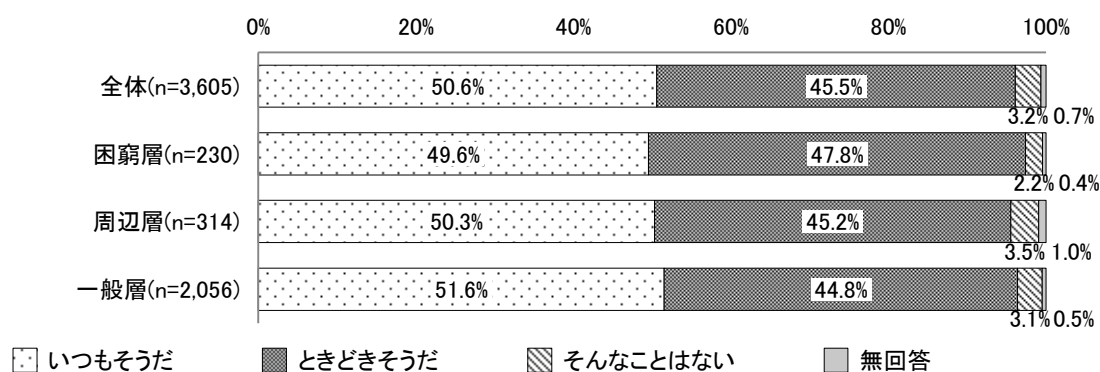
小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 50.6%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 45.5%となっている。

「困窮層」では、「いつもそうだ」が 49.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 50.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 51.6%でもっとも割合が高くなっている。

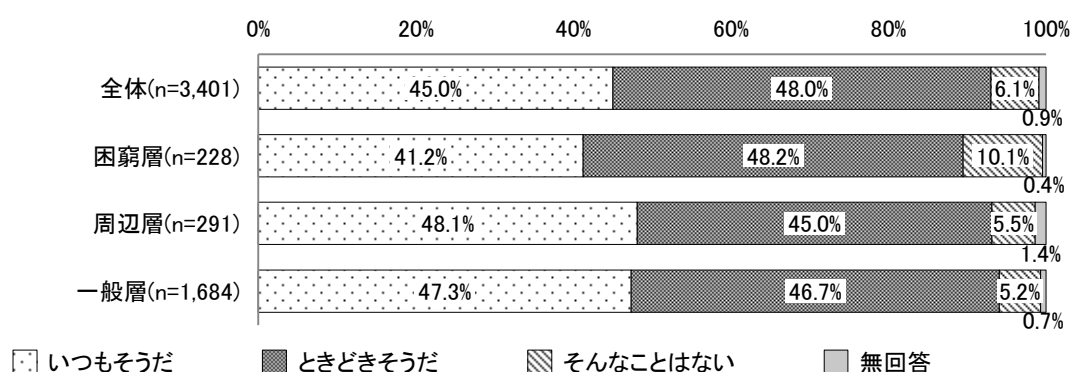
中学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が 48.0%でもっとも割合が高く、次いで「いつもそうだ」が 45.0%となっている。

「困窮層」では、「ときどきそうだ」が 48.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 48.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 47.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 337 楽しみにしていることがたくさんある：単数回答（Q32A）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（ $p<.05$ ）



4) とてもよく眠れる

小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 56.5%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 34.9%となっている。

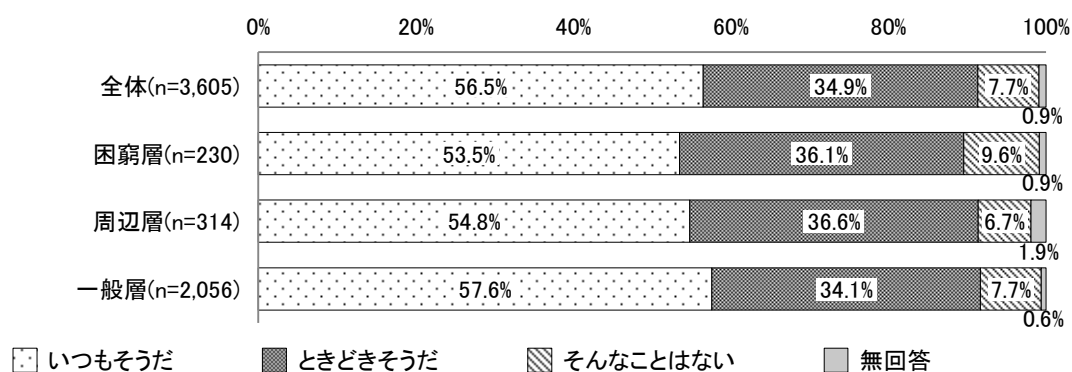
「困窮層」では、「いつもそうだ」が 53.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 54.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 57.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 43.9%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 41.4%となっている。

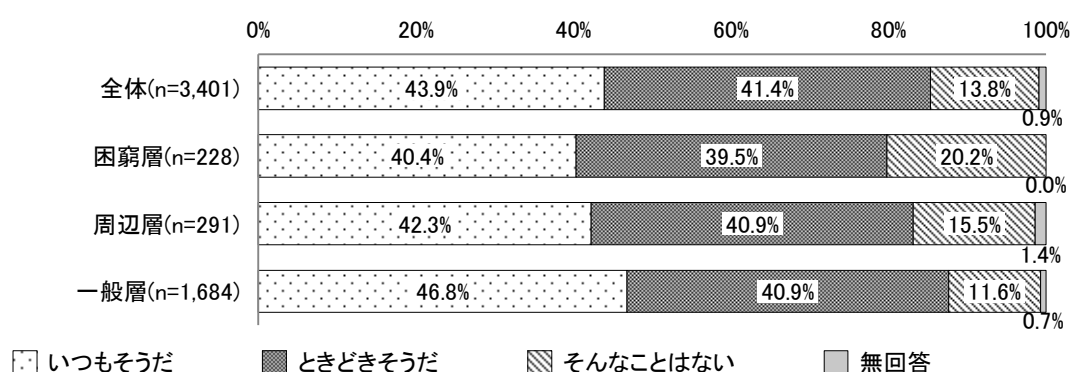
「困窮層」では、「いつもそうだ」が 40.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 42.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 46.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 338 とてもよく眠れる：単数回答（Q32B）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.01$ ）



5) 泣きたいような気がする

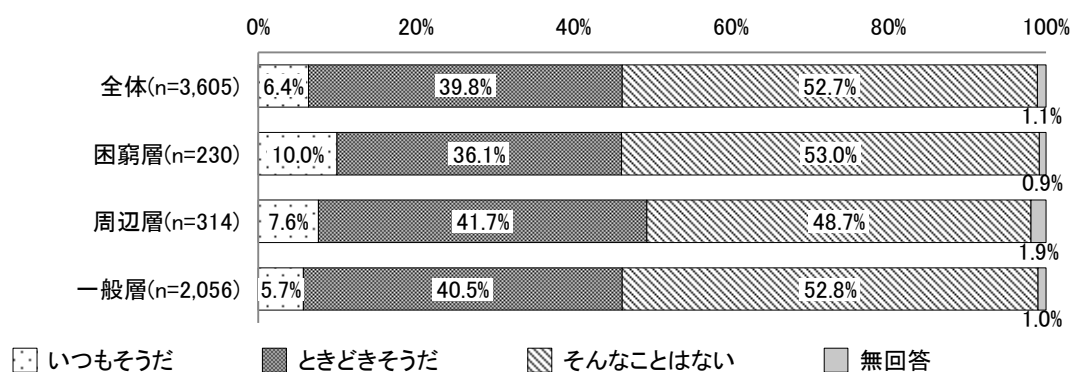
小学生の「全体」では、「そんなことはない」が52.7%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が39.8%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が53.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が48.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が52.8%でもっとも割合が高くなっている。

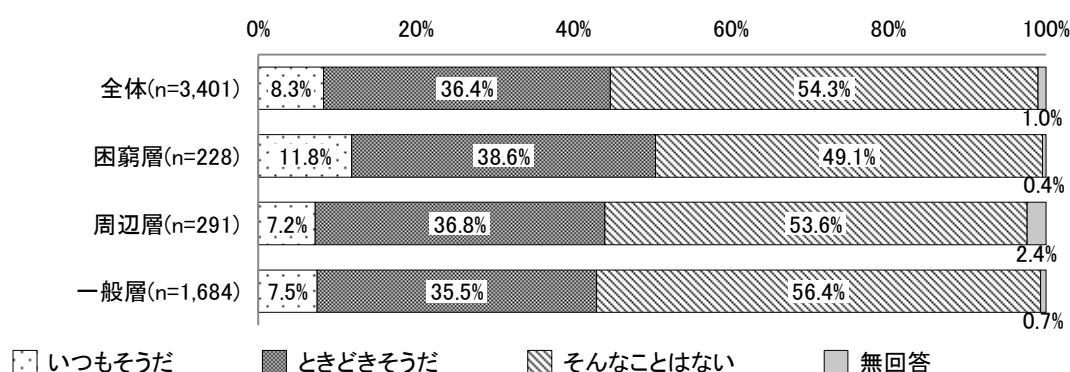
中学生の「全体」では、「そんなことはない」が54.3%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が36.4%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が49.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が53.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が56.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 339 泣きたいような気がする：単数回答（Q32C）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



6) 遊びに出かけるのが好きだ

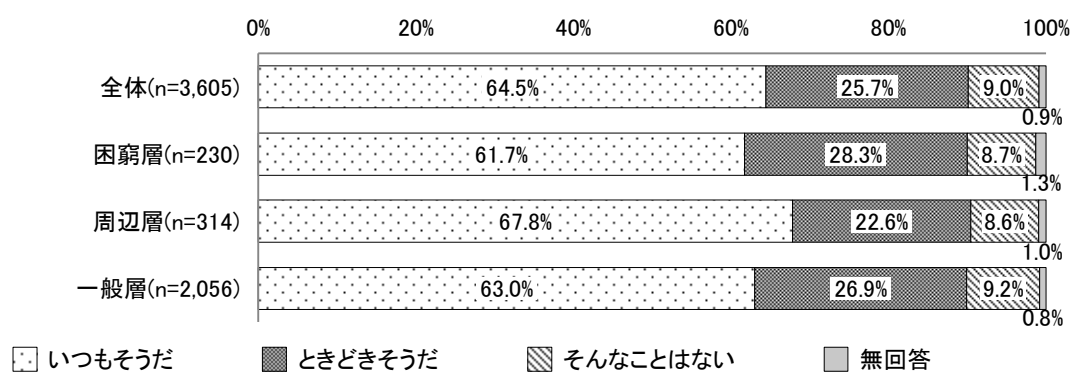
小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が64.5%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が25.7%となっている。

「困窮層」では、「いつもそうだ」が61.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が67.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が63.0%でもっとも割合が高くなっている。

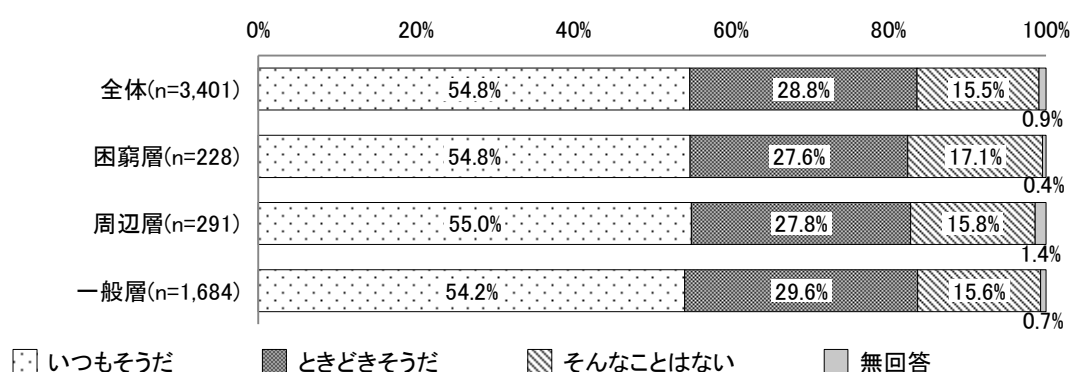
中学生の「全体」では、「いつもそうだ」が54.8%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が28.8%となっている。

「困窮層」では、「いつもそうだ」が54.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が55.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が54.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 340 遊びに出かけるのが好きだ：単数回答（Q32D）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（有意差なし）



7) 逃げ出したいような気がする

小学生の「全体」では、「そんなことはない」が68.0%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が25.0%となっている。

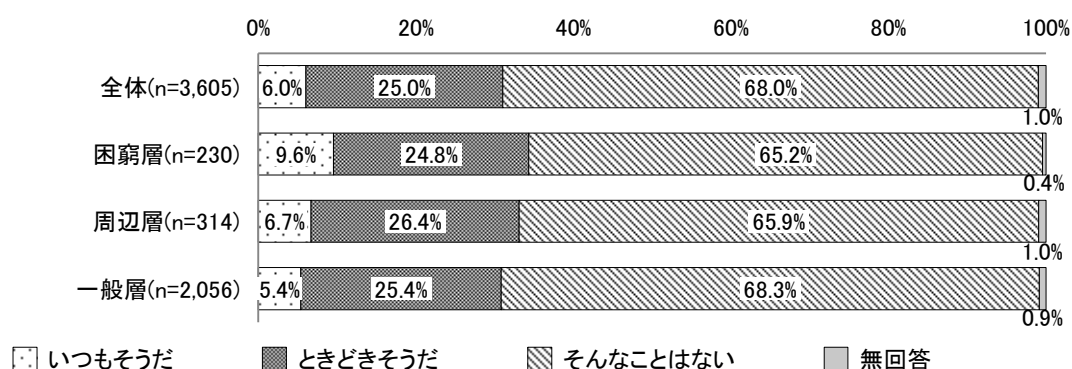
「困窮層」では、「そんなことはない」が65.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が65.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が68.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「そんなことはない」が54.9%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が32.4%となっている。

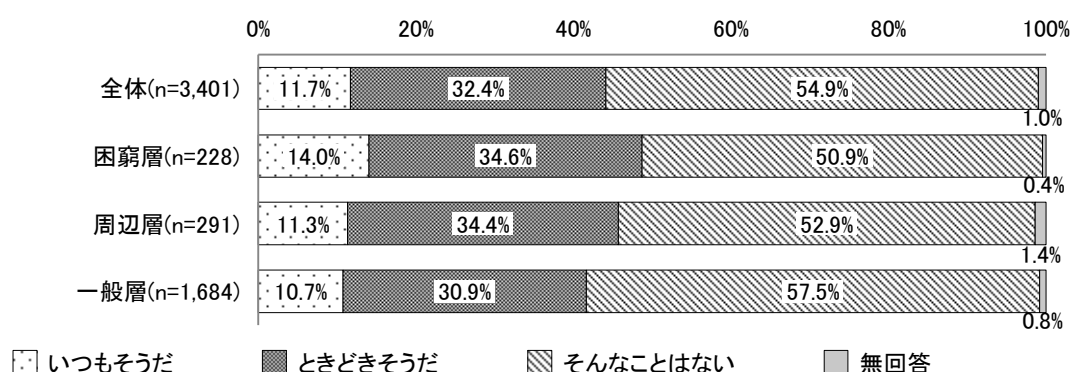
「困窮層」では、「そんなことはない」が50.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が52.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が57.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 341 逃げ出したいような気がする：単数回答（Q32E）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



8) おなかが痛くなることがある

小学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が48.6%でもっとも割合が高く、次いで「そんなことはない」が42.4%となっている。

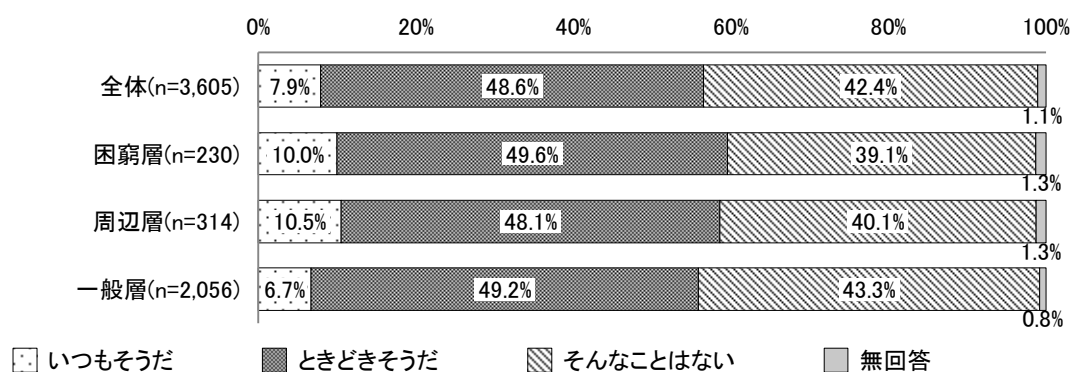
「困窮層」では、「ときどきそうだ」が49.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が48.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が49.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「そんなことはない」が40.5%となっている。

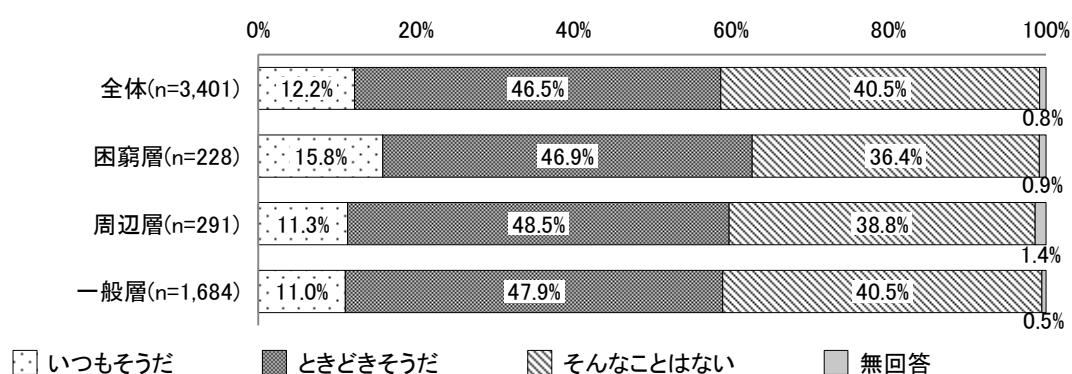
「困窮層」では、「ときどきそうだ」が46.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が48.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が47.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 342 おなかが痛くなることがある：単数回答（Q32F）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



9) 元気いっぱいだ

小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が72.4%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそう」が22.2%となっている。

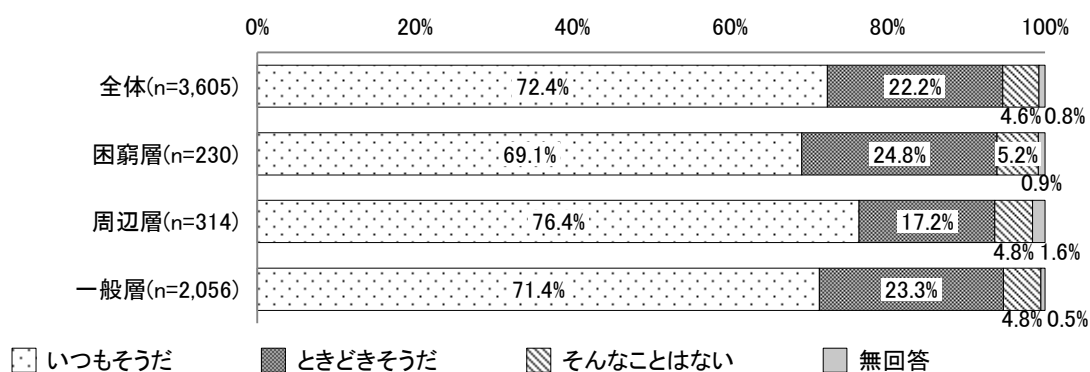
「困窮層」では、「いつもそうだ」が69.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が76.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が71.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いつもそうだ」が53.5%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそう」が34.6%となっている。

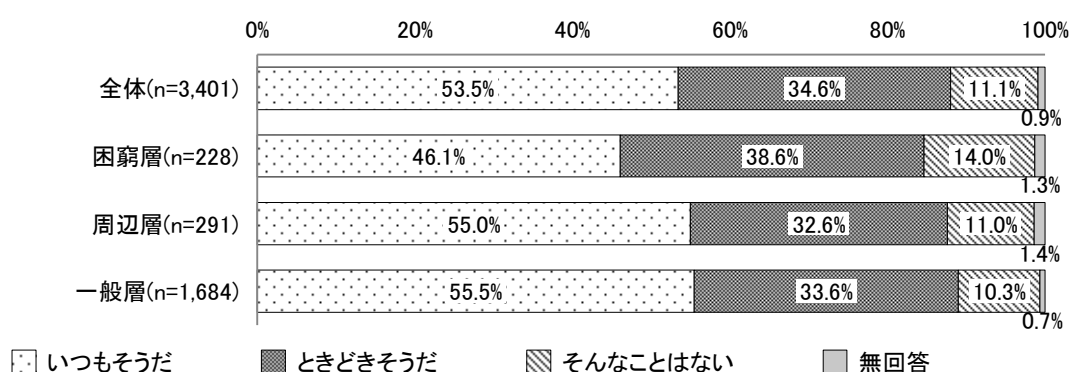
「困窮層」では、「いつもそうだ」が46.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が55.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が55.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 343 元気いっぱいだ：単数回答（Q32G）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



10) 食事が楽しい

小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が74.1%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が20.6%となっている。

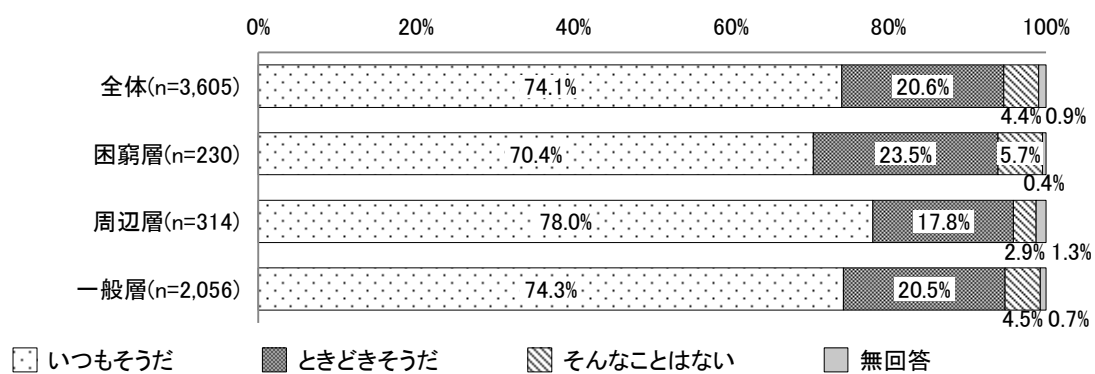
「困窮層」では、「いつもそうだ」が70.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が78.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が74.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いつもそうだ」が63.2%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が27.9%となっている。

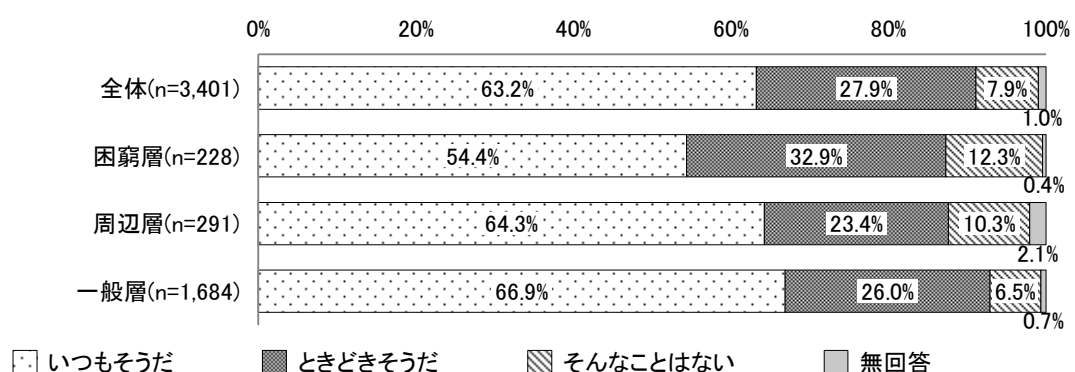
「困窮層」では、「いつもそうだ」が54.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が64.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が66.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 344 食事が楽しい：単数回答（Q32H）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（p<.01）



11) いじめられても自分で「やめて」と言える

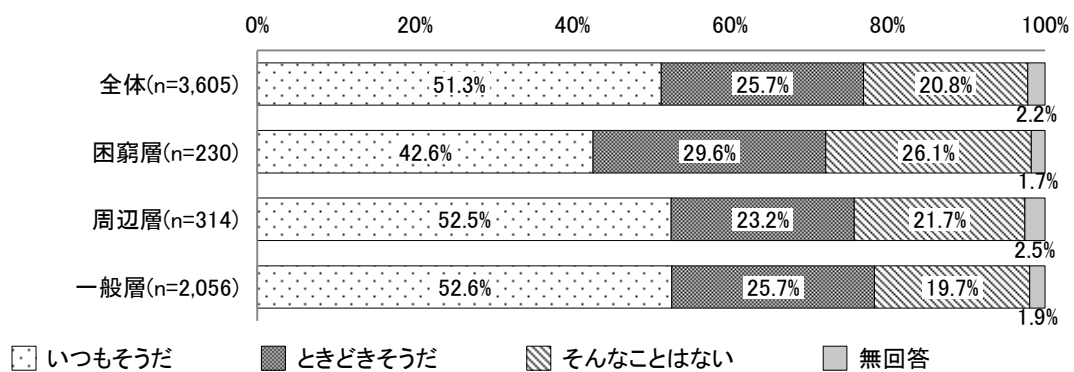
小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 51.3%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 25.7%となっている。

「困窮層」では、「いつもそうだ」が 42.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 52.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 52.6%でもっとも割合が高くなっている。

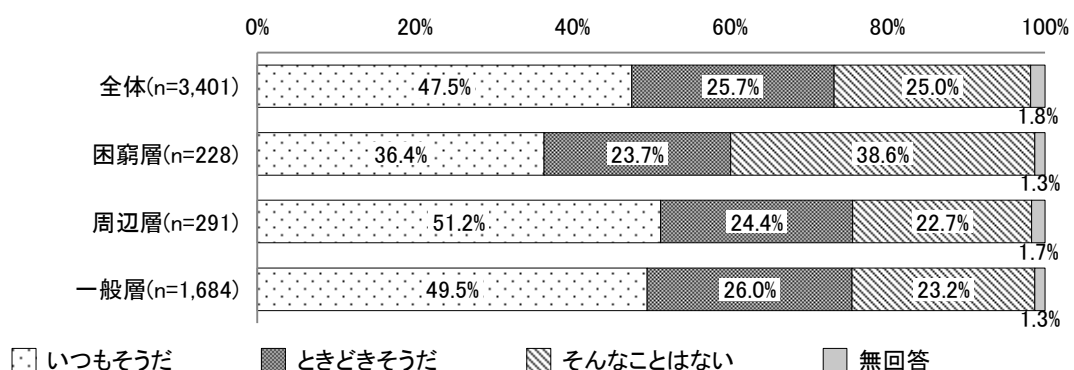
中学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 47.5%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 25.7%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が 38.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 51.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 49.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 345 いじめられても自分で「やめて」と言える：単数回答（Q32I）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



12) 生きていても仕方がないと思う

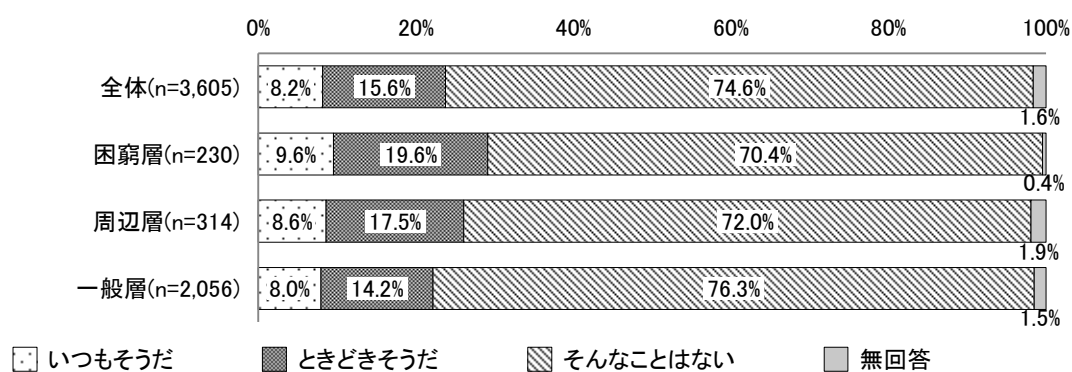
小学生の「全体」では、「そんなことはない」が74.6%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が15.6%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が70.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が72.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が76.3%でもっとも割合が高くなっている。

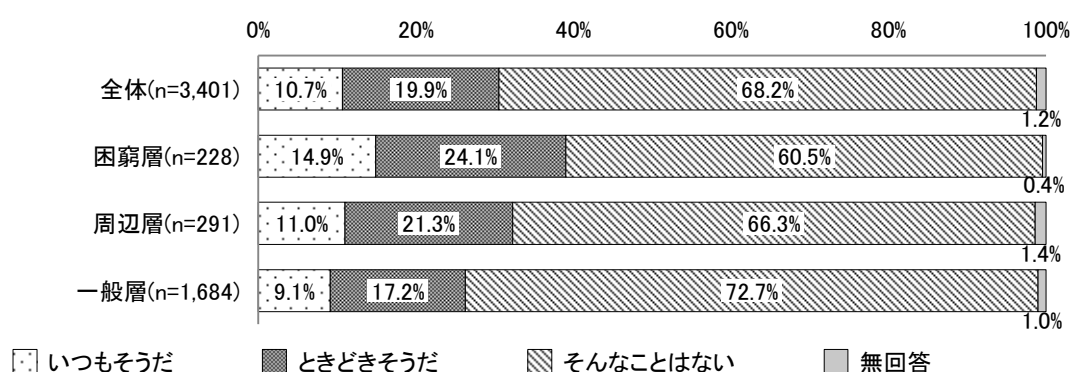
中学生の「全体」では、「そんなことはない」が68.2%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が19.9%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が60.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が66.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が72.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 346 生きていても仕方がないと思う：単数回答（Q32J）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（p<.01）



13) やろうと思ったことがうまくできる

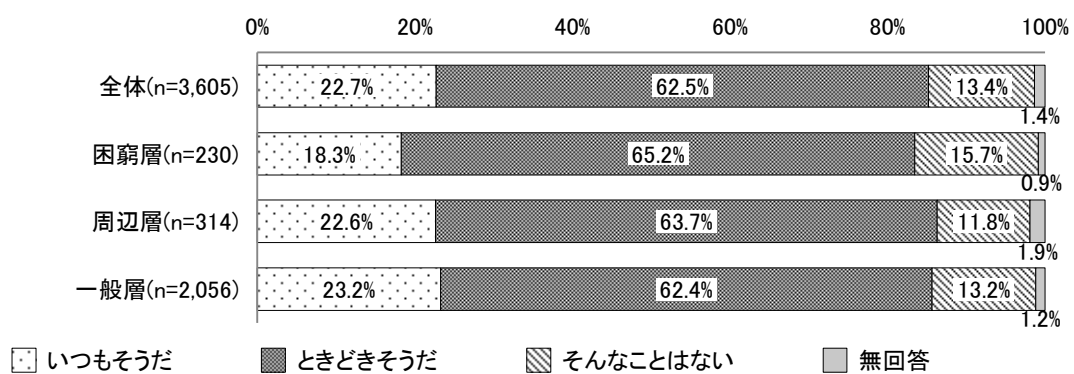
小学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が 62.5%でもっとも割合が高く、次いで「いつもそうだ」が 22.7%となっている。

「困窮層」では、「ときどきそうだ」が 65.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が 63.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が 62.4%でもっとも割合が高くなっている。

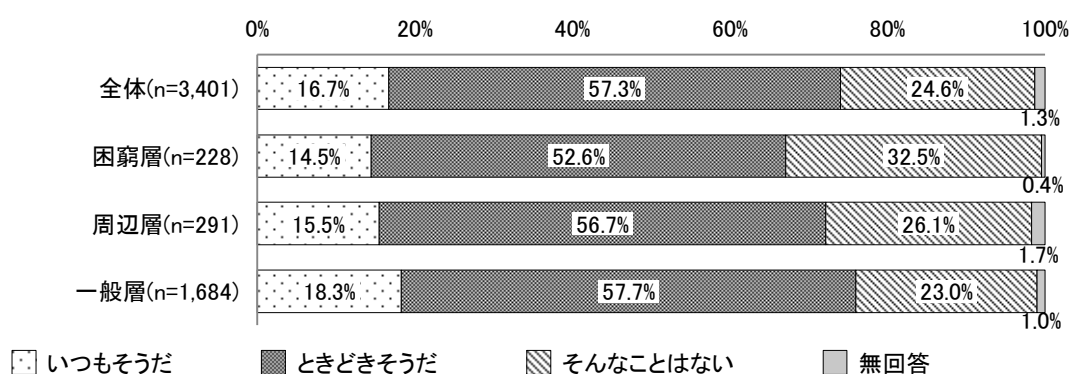
中学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が 57.3%でもっとも割合が高く、次いで「そんなことはない」が 24.6%となっている。

「困窮層」では、「ときどきそうだ」が 52.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が 56.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が 57.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 347 やろうと思ったことがうまくできる：単数回答（Q32K）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（ $p<.05$ ）



14) いつものように何をしてても楽しい

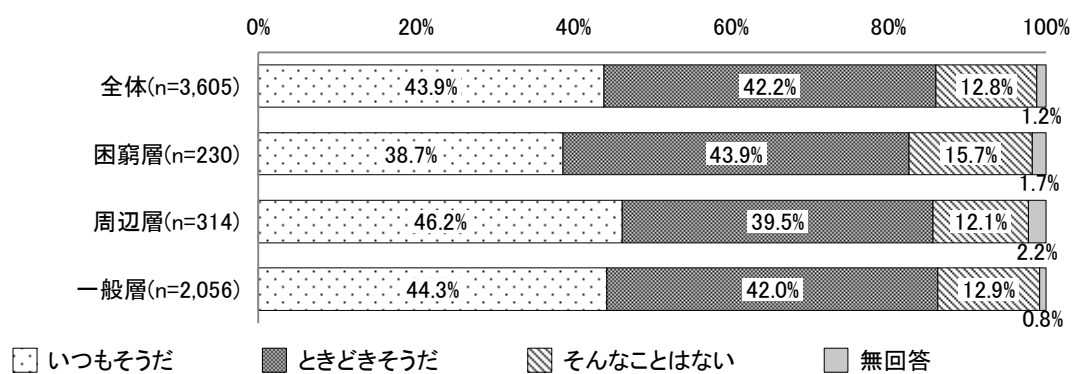
小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 43.9%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 42.2%となっている。

「困窮層」では、「ときどきそうだ」が 43.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 46.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 44.3%でもっとも割合が高くなっている。

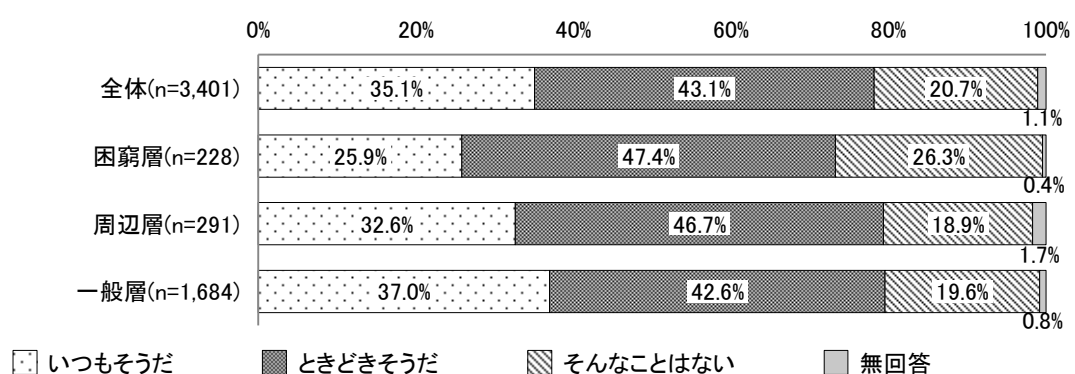
中学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が 43.1%でもっとも割合が高く、次いで「いつもそうだ」が 35.1%となっている。

「困窮層」では、「ときどきそうだ」が 47.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が 46.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が 42.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 348 いつものように何をしてても楽しい：単数回答（Q32L）（生活困難度別）
＜小学生＞（有意差なし）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



15) 家族と話すのが好きだ

小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 71.9%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 22.6%となっている。

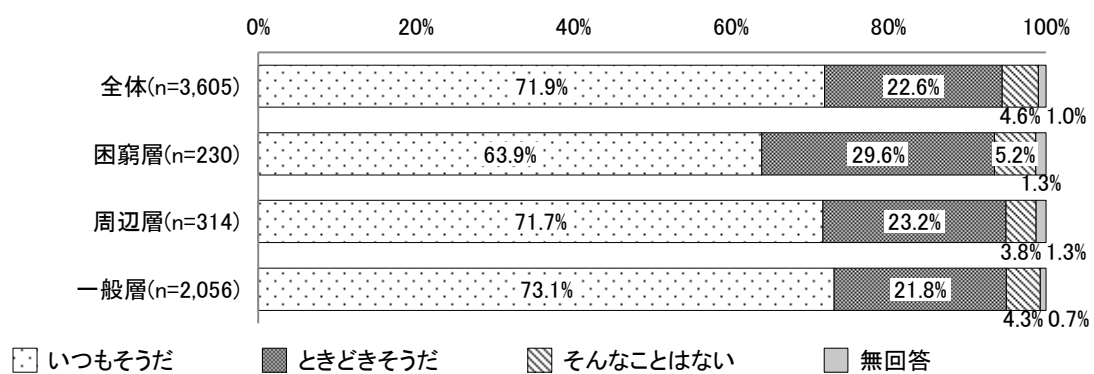
「困窮層」では、「いつもそうだ」が 63.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 71.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 73.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 52.7%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 36.9%となっている。

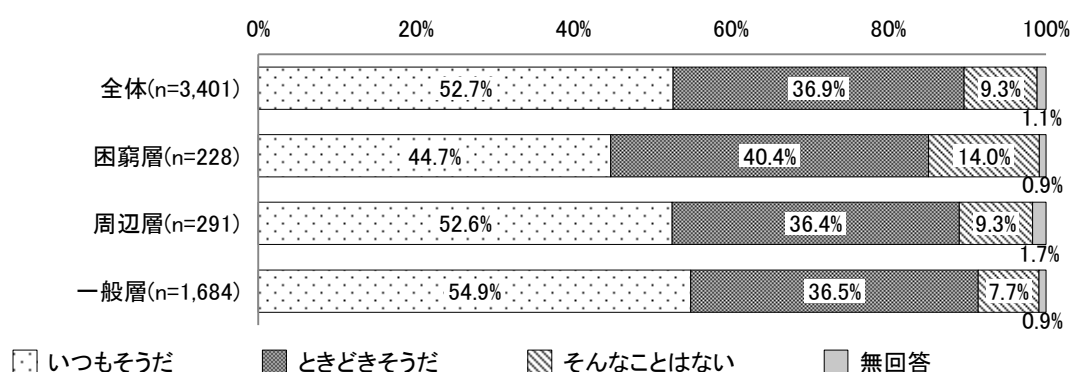
「困窮層」では、「いつもそうだ」が 44.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 52.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 54.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 349 家族と話すのが好きだ：単数回答（Q32M）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（p<.01）



16) こわい夢を見る

小学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が 50.0%でもっとも割合が高く、次いで「そんなことはない」が 41.8%となっている。

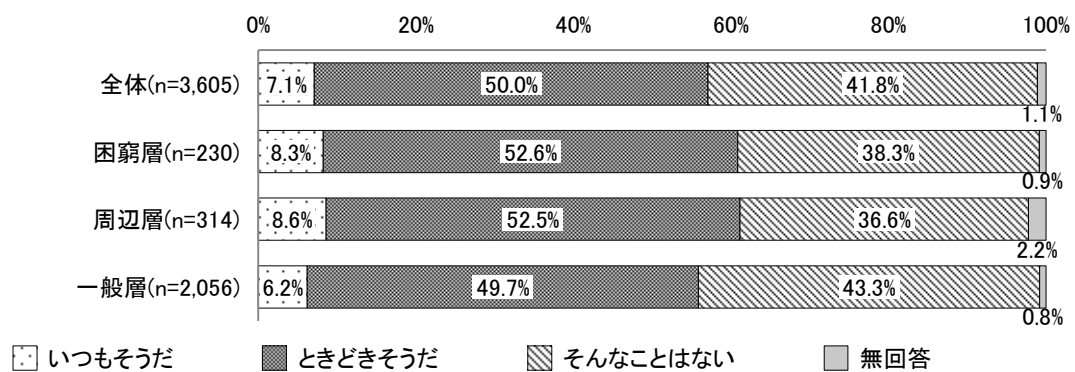
「困窮層」では、「ときどきそうだ」が 52.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が 52.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が 49.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「そんなことはない」が 58.8%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 34.5%となっている。

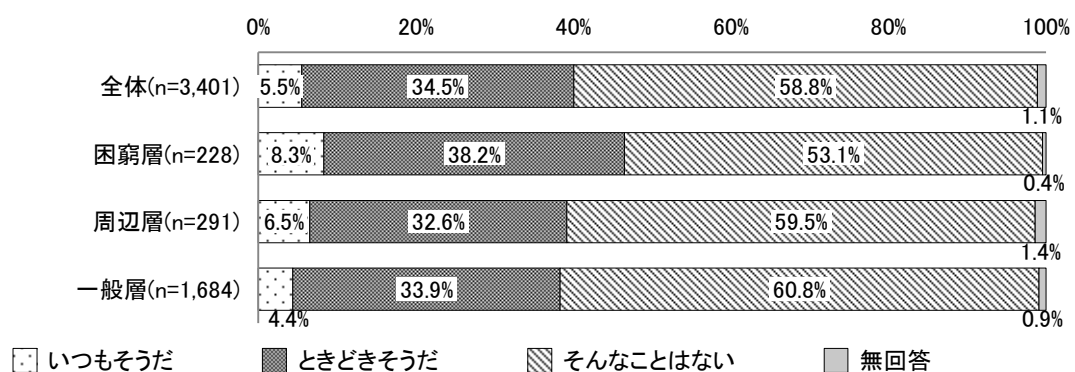
「困窮層」では、「そんなことはない」が 53.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が 59.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が 60.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 350 こわい夢を見る：単数回答（Q32N）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（ $p<.05$ ）



17) ひとりぼっちの気がする

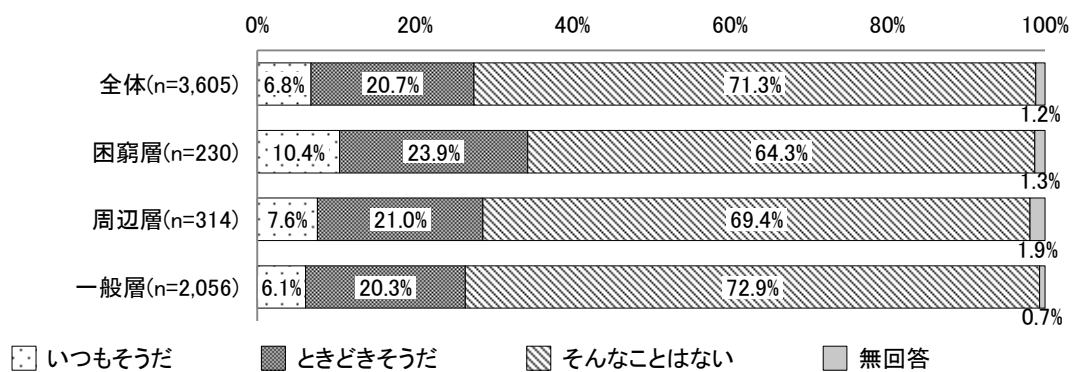
小学生の「全体」では、「そんなことはない」が71.3%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が20.7%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が64.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が69.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が72.9%でもっとも割合が高くなっている。

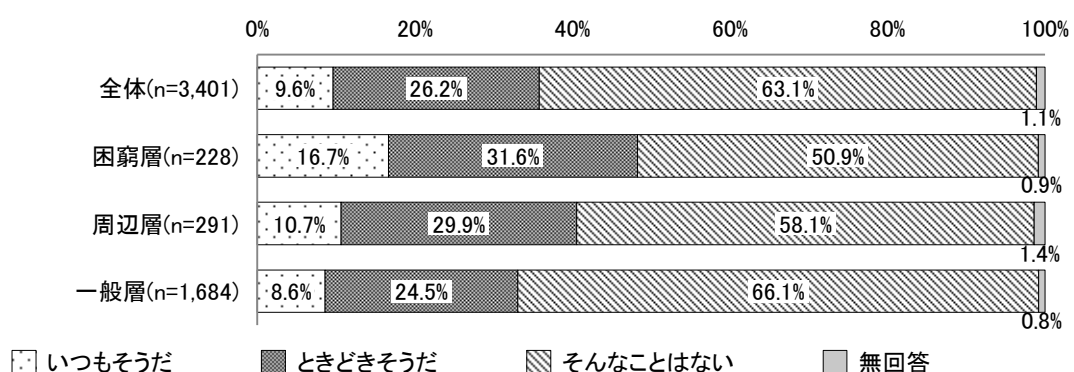
中学生の「全体」では、「そんなことはない」が63.1%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が26.2%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が50.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「そんなことはない」が58.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「そんなことはない」が66.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 351 ひとりぼっちの気がする：単数回答（Q320）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（ $p<.01$ ）



18) 落ち込んでいてもすぐに元気になる

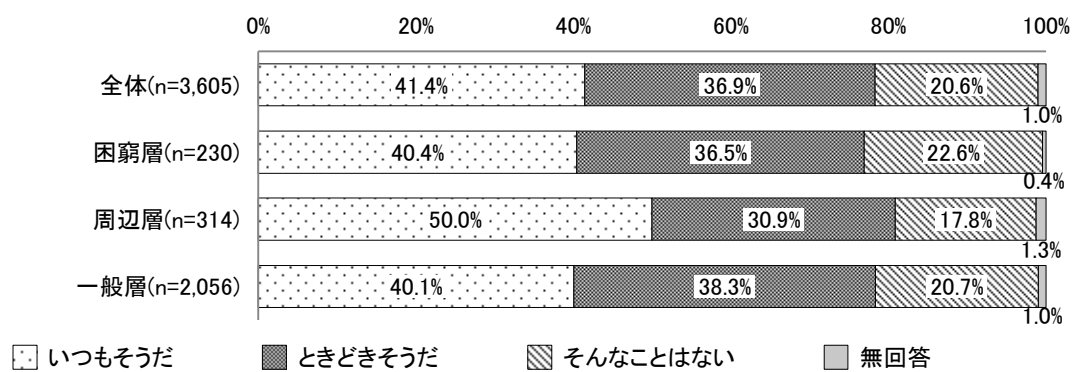
小学生の「全体」では、「いつもそうだ」が 41.4%でもっとも割合が高く、次いで「ときどきそうだ」が 36.9%となっている。

「困窮層」では、「いつもそうだ」が 40.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いつもそうだ」が 50.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いつもそうだ」が 40.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ときどきそうだ」が 36.3%でもっとも割合が高く、次いで「いつもそうだ」が 33.0%となっている。

「困窮層」では、「そんなことはない」が 35.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ときどきそうだ」が 36.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ときどきそうだ」が 36.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 352 落ち込んでいてもすぐに元気になる：単数回答（Q32P）（生活困難度別）
＜小学生＞（ $p<.05$ ）



＜中学生＞（有意差なし）

